

学 校 教 育

一関市学校教育の基本構想

日本国憲法

教育基本法 学校教育法 学習指導要領

いわて県民計画

- 「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現
- 「知・徳・体」を備え調和の取れた人間形成
 - ・児童生徒の学力向上
 - ・豊かな心を育む教育の推進
 - ・健やかな体を育む教育の推進
 - ・特別支援教育の充実
 - 家庭・地域との協働による学校経営の推進
 - 生涯を通じた学びの環境づくり
 - 高等教育の連携推進と機能の充実
 - 文化芸術の振興
 - 多様な文化の理解と交流
 - 豊かなスポーツライフの振興

一関市教育振興基本計画

- <基本目標>
学びの風土を礎に 心豊かにたくましく
郷土の誇りを未来につなぐ
一関の人づくり
- (施策の基本方向)
- 社会を生き抜く力を育む
学校教育の充実
 - ともに学び、まちとひとをつくる
社会教育の推進
 - 誇りと愛着を醸成する文化の継承

一関市学校教育基本方針

- 1 社会の変化に主体的に対応できる確かな学力を育成する。
- 2 たくましく心豊かに生きる幼児・児童・生徒を育成する。
- 3 幼児・児童・生徒の実態に即し、地域の環境や特性を生かした特色ある教育を創造する。

- 岩手県学校教育が目指すもの
(「これからの岩手の義務教育」「学校教育指導指針」)
- 「知・徳・体」を総合的に兼ね備えた、社会に適応する能力を育てる「人間形成」

- 一関市学校教育の課題
- 確かな学力を育む教育の推進
 - 豊かな心を育む教育の推進
 - 健やかな体を育む教育の推進
 - 社会の変化に対応した教育の推進
 - 自立して生きる力を支援する教育の推進

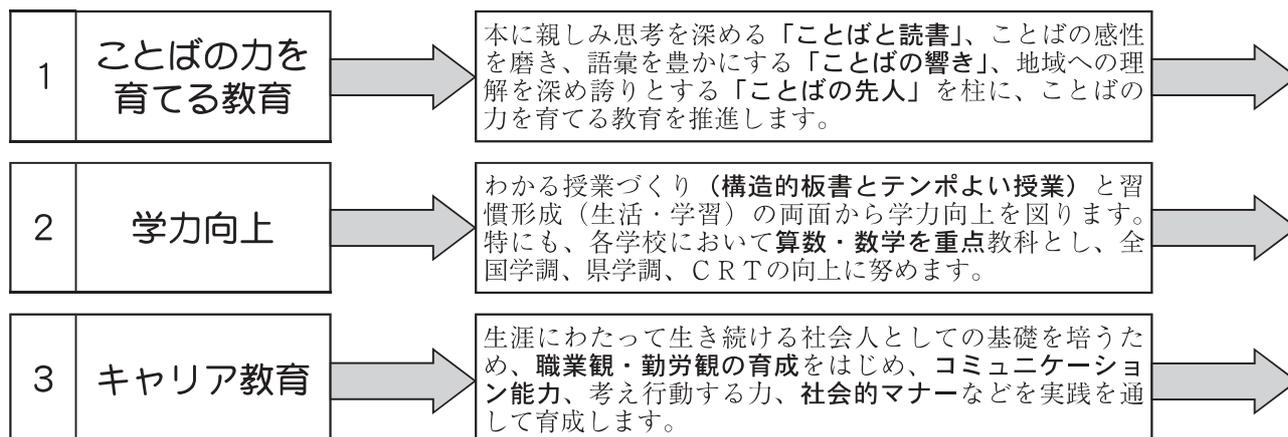
I 平成30年度 学校教育行政の方針及び指導の重点

教育振興の基本目標 「学びの風土を礎に 心豊かにたくましく 施策の基本方向

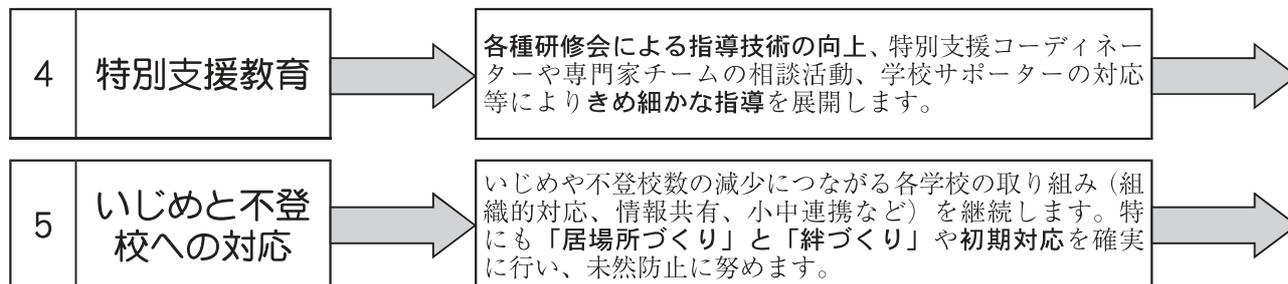
重点項目

重点の方向性

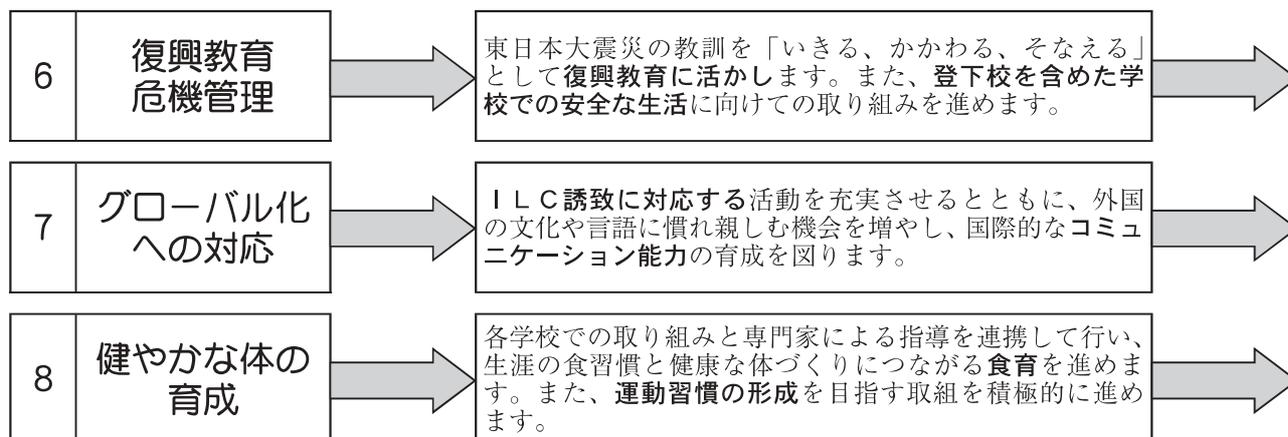
◇最重要な教育課題◇



◇恒常的な教育課題◇



◇当面する教育課題◇



働き方改革

長時間勤務の是正（業務内容の見直しや勤務時間を

郷土の誇りを未来につなぐ 一関の人づくり」 H28～H37

「社会を生き抜く力を育む学校教育の充実」

キーワード・具体策・新規事業等

一関市学校教育 基本方針

- ・読書普及員の配置と学校図書館の充実、市立図書館との連携、読書 Week の実施
- ・全小学校におけることばのテキスト「言海」を使用した「ことばの時間」の実施
- ・全幼稚園、こども園、保育園における「ことばの時間」の実施
- ・ことばの先人出前講座の実施とことばのテキスト「言海」の先人ページの活用

- ・日本学校教育学会の支援を受けた算数・数学の研修会の実施
- ・授業改善パンフレットやリーフレットを活用した「わかる授業」の推進
- ・学習支援員等による数学の添削指導、個別指導、補充指導（中学校）
- ・指導主事や学習指導専門員の訪問指導や拡大校内研による授業力の向上

- ・原則5日間の中学2年生社会体験学習の実施（平成32年度には全中学校で5日間）
- ・社会体験リーフレットの作成とキャリア教育シンポジウムの開催
- ・中学生最先端科学体験研修事業
- ・市立博物館等の活用と地域学習

- ・特別支援に関する各種研修会の開催（相談会と講演会）
- ・市特別支援コーディネーター、専門家チームの学校訪問
- ・幼児期ことばの教室（3教室） ・きめ細かな指導支援員配置（幼稚園へ）
- ・学校サポーターの配置（小中学校）へ

- ・いじめ防止基本方針の見直しと早期発見・早期対応に向けた組織対応の強化
- ・いじめや不登校の未然防止に向けた「居場所づくり」と「絆づくり」の取組の促進
- ・適応支援教室TANPOPO広場の活用 ・適応支援相談員の配置（6名）
- ・関係機関との積極的な連携、教育相談員による訪問指導

- ・復興教育を取り入れた教育課程の編成
- ・いわての復興教育に関する研修会への参加と防災教育の推進
- ・学校防災チェックリストの活用と危機管理マニュアルの見直し
- ・命をつなぐプロジェクト事業の推進（普通救命講習会等）

- ・各幼稚園・こども園、各小中学校への13名のALTの派遣、活用
- ・小学校外国語活動・外国語移行期間への対応 ・ALTニュースの発行
- ・英語の森キャンプの実施（いきがづくり課）
- ・中学生最先端科学体験研修事業（再掲）ILCに係る研修機会の提供（ILC推進課）

- ・食育担当者の研修会、食育講演会の開催
- ・栄養教諭、栄養職員と連携した指導の推進（食育計画の見直し）
- ・郷土の食文化（和食文化）への理解と食に関する情報発信
- ・児童・生徒の運動習慣形成に向けた校内取組の促進

〇〇〇
 児童・生徒の実態に即し、地域の環境や特性を生かした特色ある教育を創造する。
 たくましく心豊かに生きる児童・生徒を育成する。
 社会の変化に主体的に対応できる確かな学力を育成する。

意識した働き方)で、いきいき仕事に向かう教職員



II 幼稚園教育の方針及び重点

1 方針

一関市幼稚園教育基本方針

家庭及び地域との連携を密にしながら、幼児一人一人を大切にする幼児教育を進め、「生きる力」の基礎や小学校以降の学校教育の基盤を培う幼稚園教育の推進に努める。

2 重点

創造的な幼稚園経営

- 園目標の設定と具体化
- 特色ある幼稚園づくり
 - ☆ 創意ある教育課程の編成

- ◇ 幼児や地域の現状や課題を捉えた教育目標を設定し、全職員の共通理解のもとその具体化に努める。
- ◇ 幼稚園教育要領の趣旨を踏まえ、園の特色を明示し、創意工夫に基づく教育活動の充実を図る。
- ◇ 教育課程の意義を的確に捉え、幼児の心身の発達と特性に即した創意ある教育課程を編成する。

小学校教育との連携

- 小学校教育との円滑な接続
 - ☆ 「育ってほしい姿」の共有
- きめ細やかな指導
- 環境構成と教材の工夫

- ◇ 小学校教育との関連を考慮し、「幼児期の終わりにまで育ってほしい姿」を共有しながら、幼児が小学校教育に円滑に移行できるよう連携を図る。
- ◇ 教師と幼児の人間の触れ合いを大切にし、一人一人の個性や能力を生かしたきめ細やかな指導の工夫や改善に努める。
- ◇ 幼児の主体的活動を促す運動や表現などの環境の構成と教材の工夫を図る。

ことばの力を育てる教育の推進

- ことばと読書
 - ☆ 読み聞かせ
- ことばの響き
 - ☆ 「ことばの時間」
 - ☆ 立腰

- ◇ 絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わう活動の充実を図る。また、市立図書館の活用を図る。
- ◇ 「ことばの時間」を4歳・5歳児を中心に設定し、新しいことばや表現に触れ、ことば遊びなどを通してことばの響きやリズムを感性として取り込む活動を推進する。
- ◇ 「ことばの時間」に腰骨を立てる活動（立腰）を位置付け、集中力や耐性の機会をつくり、自立心の育成を図る。

開かれた園づくり

- 家庭・地域との連携
 - ☆ 開かれた園づくり
- 園評価

- ◇ 幼稚園・家庭・地域それぞれの教育機能を明確にし、相互理解を図りながらその役割を果たせるよう連携に努める。
- ◇ 保護者や地域の協力を得たり、幼稚園の教育についてHPなどで説明したりするなど、園運営の状況等について保護者・地域との相互理解に努める。

保育ニーズへの対応と認定こども園への移行

- 保育ニーズへの対応
- 認定こども園移行に向けた検討

- ◇ 保護者の要望や園の実情に応じて、預かり保育サービスや特別な支援を要する幼児の保育など、様々な保育ニーズへの対応に努める。
- ◇ 保護者の需要や施設の配置状況、待機児童解消の効果などを的確に捉えたうえで、地域の実情踏まえ、認定こども園への移行を図る。

Ⅲ 学校教育関係事業

1 重点課題・事業等について

(1) 児童生徒の学力向上

- ① 諸調査に基づいた検証改善サイクルの構築
 - ・職員による課題の洗い出しと焦点化した目標の設定
 - ・校内体制整備と授業改善
- ア 知能検査（小2、小5、中1） 4月9日～4月20日
- イ CRT（小1～小6の国・算、中1・中2の国、数、英） 12月3日～12月14日
- ウ 全国学力学習状況調査（小6、中3の国、算・数、理、質問紙） 4月17日
- エ 中学校新入生学習状況調査（中1の国数、質問紙） 4月17日
- オ 県学習定着度状況調査（小5の国社算理、中2の国社数理、質問紙） 10月3日
- カ 英検I B A（中2の英） 標準検査日 10月3日
(10月4日～10月10日のうち学校が定める1日も可)
- キ 岩手県中学1年生英語確認調査（CAN-DOテスト）（中1の英語） 1月22日～1月29日
- ② わかる授業づくりの取り組み
7つの授業改善の要素に基づき、授業づくりや授業検証に取り組む。
- ③ 生活習慣及び学習習慣の形成に向けた取り組み
授業と連動した家庭学習の徹底と家庭学習時間の確保に努める。
- ④ 学習支援員等による添削指導、補充指導、個別指導

(2) ことばの力を育てる教育の推進

- ① ことばと読書
 - ・学校図書館の充実と市立図書館（8館）との連携などにより、読書推進活動を充実させ、思考力・想像力などを豊かにする。
 - ア 「読書普及員」の活用と読書環境の充実
 - イ 読書推進活動の充実
- ② ことばの響き
 - ・音読・素読などの取組を通して語いを豊かにし、ことばの感性を磨く。
 - ア 音読・素読などのことばの響きやリズムを楽しむ取組の推進の充実
 - イ ことばの時間の実施
 - ウ 全小学校、全幼稚園・こども園・保育園における「ことばの時間（約10分間）」の実施
- ③ ことばの先人
 - ・ことばを通して人々に影響を与えた先人について学ぶことを通して、地域への誇りと愛着心を育む。
 - ア 小・中学校における「ことばの先人出前講座」の開催 実施予定校（7校）

(3) キャリア教育の推進

- ① 中学生の社会体験学習
 - ・市内の中学2年生全員を対象とした、原則5日間の社会体験（事業所等での活動）
- ② 一関市キャリア教育シンポジウム
 - ・事例発表、講演・パネルディスカッション等 平成31年2月1日（金）
- ③ 中学生最先端科学研修
 - ・市内中学校の第3学年在学生徒62名を茨城県つくば市の高エネルギー加速器研究機構等へ派遣
 - ・事前研（7月21日）、最先端研修（8月6日～8日）、事後研（9月7日）

(4) 特別支援教育の充実

① 特別支援教育

- ・一関市特別支援コーディネーターによる巡回・教育相談、専門家チームによる調査及び指導助言、学校サポーターの配置による各校の取組支援
- ・特別支援教育講演会、特別支援に係る各種研修会の開催

② 就学支援

- ・就学予定者及び児童生徒の特性に応じた適切な教育が受けられる就学支援
- ア 校内就学支援委員会での状況確認、保護者との就学相談
- イ 市就学支援委員会、市就学支援調査員会議による協議、就学意見のまとめ

(5) いじめと不登校への対応

① いじめの防止－未然防止・早期発見・早期対応－

- ・いのちを大切にす教育に取り組むとともに、児童生徒一人ひとりの自己存在感や自己肯定感を高め、お互いを尊重し合う姿勢をつくり、いじめを許さない環境づくりを進める。
- ・「学校いじめ防止基本方針」（H30.4改定）に基づく組織的な対応と教員の対応能力の向上を図る。
- ・いじめの積極的認知を推進するとともに、いじめ解決の要件に基づく確認の徹底を図る。

② いじめ問題対策連絡協議会の開催

- ・いじめに関して関係機関と情報を共有し、いじめの早期発見、未然防止に努める。

③ 不登校対応の充実

- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、教育相談員、適応支援相談員を配置するとともに、適応支援教室「TANPOPO広場」を市内2か所に設置し、不登校対応や適応支援の充実を図る。

(6) 復興教育・防災教育の推進

① 学校防災アドバイザー派遣事業

5月10日～2月8日

- ・防災に関する専門家による、「学校危機管理マニュアル」や避難訓練など学校の防災体制に対する助言をはじめ、学校と家庭・地域の連携体制の構築への助言、安全教育のあり方への指導・助言

② 防災教育の推進

- ア 防災教育に係る学校訪問（「学校防災チェックリスト」の活用と危機管理マニュアルの見直し）
- イ 学校安全総合支援事業（いわての復興教育スクール〈内陸〉）大原中学校指定

③ 一関市通学路安全推進連絡協議会「通学路交通安全プログラム」の実施

- ・要対策箇所における進捗状況の確認及び追加案件の確認
- ・工事・安全指導等による対策の実施

(7) グローバル化への対応

① 国際理解教育・英語教育の充実に向けたALTの活用

- ・外国語指導助手学校訪問事業（直接雇用3名、派遣契約10名での学校訪問配置）
- ・スーパーバイザーALTの配置（ALT NEWSの発行、外国語教育に係る研修の計画と実施）

② 授業力向上に向けて

- ・小学校外国語活動中核教員による校内研修の推進
- ・ALT研修会の実施（7月19日）

(8) 食育の推進

① 研修会・講習会の実施

- ・食育担当者研修会（6月1日）、食育講演会（7月12日）の実施

- ② 学校における食に関する指導
 - ・食に関する指導の全体計画の見直しと改善
 - ・全小中学校における栄養教諭・学校栄養職員と連携した食に関する指導の充実
 - ・家庭・地域・関係機関との連携による望ましい食習慣形成の推進

2 市教育委員会指定研究校等について

(1) 平成30年度学校公開園、公開校

- ① 真滝幼稚園 ○平成30年度（幼稚園教育） 公開日 10月16日（火）
- ② 黄海小学校 ○平成29・30年度（算数） 公開日 10月10日（水）
- ③ 花泉小学校 ○平成29・30年度（算数） 公開日 10月24日（水）
- ④ 東山中学校 ○平成29・30年度（教育課程一般） 公開日 11月6日（火）

(2) 平成30・31年度指定校

中里小学校（算数） 猿沢小学校（算数） 桜町中学校（道徳）

3 総合訪問

(1) 訪問の趣旨

一関市学校教育基本方針、学校教育活動の現状や課題を相互に理解し、教育課程の実施及び管理上の問題や課題解決について意見交換を図り、その解決に努めるとともに、市の教育の向上に資する。

(2) 訪問の視点

- ① 教育課程の編成と実施状況に関すること
- ② 校内研究・校内研修、生徒指導の充実に関すること
- ③ 庶務関係の処理状況に関すること

(3) 訪問園・校及び期日

- ① 巖美幼稚園 10月25日（木）
- ② 永井小学校 7月6日（金）
- ③ 藤沢小学校 11月26日（月）
- ④ 萩荘中学校 11月15日（木）

4 一関市幼・小・中・高・特・高専・大 学校運営推進協議会

一関市内に設置されている公立市立幼稚園から大学までの学校園長が一堂に会し、それぞれの諸問題について情報交換を行うとともに、共通の課題を明らかにし、その解決方策と将来展望を研究協議することにより、幼・小・中・高・特・高専・大学の一貫した望ましい学校教育の推進体制を明らかにする。

- (1) 第1回運営推進協議会（会場：修紅短期大学） 7月10日（火）
・授業参観（学校紹介）・話題提供「キャリア教育」巖美幼、川崎小、川崎中、一関学院高
- (2) 第2回運営推進協議会（講演会） 予定：12月18日（火）
- (3) 運営委員会 第1回 5月29日（火） 第2回 9月11日（火）

5 文部科学省・県教委、県研究団体等

- (1) 各種調査結果を活用した学力保障の取組先進実践校 南小学校
- (2) いわたの復興教育スクール実践校 大原中学校

IV 市内各学校（園）の概況

1 児童生徒数・学級数・教職員数

〈小・中学校〉

学校名	へき地級地	学級数	児童・生徒数						特学(再掲)		教職員計	県費教職員							市職員 用務員	
			計	1	2	3	4	5	6	学級数		児童生徒数	校長	副校長	教諭等	養護教諭	栄養教諭	学校栄養職員等		事務職員等
一関小学校		22	634	109	102	100	94	108	121	4	18	41	1	1	27	1	0	2	7	2
山目小学校		23	529	90	81	90	82	92	94	5	34	41	1	1	32	1	0	1	3	2
赤荻小学校		14	309	53	55	55	49	48	49	2	7	22	1	1	16	1	0	1	1	1
中里小学校		10	202	20	35	29	46	26	46	2	7	16	1	1	10	1	0	1	1	1
滝沢小学校		8	150	17	25	33	23	27	25	2	4	15	1	1	10	1	0	1	0	1
南小学校		18	437	60	77	65	71	79	85	3	22	31	1	1	24	1	0	1	1	2
弥栄小学校		5	41	2	10	8	9	8	4	0	0	10	1	1	4	1	0	1	1	1
萩荘小学校		15	375	61	64	62	67	61	60	3	16	26	1	1	17	1	2	1	2	1
巖美小学校		8	131	16	16	26	30	22	21	2	4	15	1	1	9	1	0	1	1	1
舞川小学校		8	99	20	22	11	19	11	16	2	4	14	1	1	8	1	0	1	1	1
永井小学校		8	106	12	21	25	16	14	18	2	6	14	1	1	9	1	0	1	0	1
涌津小学校		8	122	21	25	19	19	23	15	2	7	16	1	1	10	1	0	1	1	1
油島小学校		8	53	5	8	8	8	12	12	3	3	13	1	1	7	1	0	1	1	1
花泉小学校		8	147	22	27	23	21	27	27	2	4	14	1	1	9	1	0	1	0	1
老松小学校		8	95	19	14	17	13	19	13	2	7	14	1	1	8	1	0	1	1	1
金沢小学校		8	108	12	17	17	25	13	24	2	5	14	1	1	9	1	0	1	0	1
大原小学校		8	131	25	14	18	22	29	23	2	4	15	1	1	10	1	0	1	0	1
大東小学校		15	257	38	39	40	59	39	42	4	13	24	1	1	16	1	0	1	3	1
興田小学校	準	9	100	10	13	16	21	21	19	3	6	15	1	1	10	1	0	1	0	1
猿沢小学校		8	63	10	10	8	11	13	11	2	2	14	1	1	8	1	0	1	1	1
千厩小学校		19	480	73	78	70	73	90	96	2	13	32	1	1	26	1	0	1	1	1
東山小学校		14	264	41	41	45	51	48	38	3	16	24	1	1	16	1	0	1	3	1
室根東小学校		8	77	9	6	13	13	17	19	2	3	15	1	1	9	1	0	1	1	1
室根西小学校		6	109	13	14	21	20	20	21	0	0	12	1	1	7	1	0	1	0	1
川崎小学校		8	118	23	18	17	24	18	18	2	6	14	1	1	8	1	0	1	1	1
藤沢小学校		10	193	29	27	36	35	32	34	4	9	19	1	1	12	2	0	1	1	1
黄海小学校		8	91	17	15	16	13	15	15	2	4	14	1	1	8	1	0	1	1	1
新沼小学校		5	26	5	4	1	7	6	3	1	1	10	1	1	4	1	0	1	1	1
小学校計		297	5,447	832	878	889	941	938	969	65	225	524	28	28	343	29	2	29	34	31

学校名	へき地級地数	学級数	児童・生徒数						特学(再掲)		教職員計	県費教職員							市職員 用務員	
			計	1	2	3	4	5	6	学級数		児童生徒数	校長	副校長	教諭等	養護教諭	栄養教諭	学校栄養職員等		事務職員等
一関中学校		11	243	76	80	87				2	7	24	1	1	17	1	0	2	1	1
磐井中学校		17	489	156	151	182				2	14	38	1	1	29	1	0	1	3	2
一関東中学校		5	93	37	27	29				2	5	14	1	1	8	1	1	1	0	1
桜町中学校		11	298	105	96	97				2	5	24	1	1	18	1	0	1	1	1
萩荘中学校		8	191	61	58	72				2	7	19	1	1	13	1	1	1	0	1
巖美中学校		4	97	33	27	37				0	0	13	1	1	7	1	0	1	1	1
舞川中学校		4	44	13	18	13				1	1	13	1	1	6	1	0	1	2	1
花泉中学校		14	314	102	101	111				4	13	30	1	1	21	1	3	1	1	1
大原中学校		4	77	28	24	25				1	1	13	1	1	8	1	0	1	0	1
大東中学校		8	172	63	53	56				2	4	20	1	1	14	1	1	1	0	1
興田中学校	準	4	66	20	23	23				1	1	12	1	1	7	1	0	1	0	1
千厩中学校		11	289	94	93	102				2	11	25	1	1	17	1	2	1	1	1
東山中学校		8	159	42	51	66				2	9	19	1	1	13	1	0	1	1	1
室根中学校		6	103	28	36	39				2	3	14	1	1	9	1	0	1	0	1
川崎中学校		5	87	24	37	26				2	4	13	1	1	8	1	0	1	0	1
藤沢中学校		9	176	51	65	60				3	10	20	1	1	14	1	0	1	1	1
中学校計		129	2,898	933	940	1,025				30	95	311	16	16	209	16	8	17	12	17
一関第一高等学校 附属中学校		6	239	80	79	80				0	0	20	1	1	16	1	0	1	0	0

- ※ 養護教諭等には養護助教諭を含む。
- ※ 事務職員には加配を含む。
- ※ 栄養教諭・学校栄養職員等には臨時職員を含む。

〈高等学校〉

学校名	本務教員数				科	学級数	生徒数	1年	2年	3年	4年	男	女
(県立) 一関第一 高等学校	校長、副校長、教諭	51	事務	4	普通科	10	392		197	195		166	226
	養護教諭	2	実習教諭	3	理数科	2	79		40	39		38	41
	講師	2	その他	2	普通・理数科	6	244	244				109	135
	計	55	計	9	計	18	715	244	237	234		313	402
(県立) 一関第二 高等学校	校長、副校長、教諭	47	事務	5	総合学科	17	644	200	213	231		225	419
	養護教諭	1	実習教諭	4									
	講師	3	その他	3									
計	51	計	12	合計	17	644	200	213	231		225	419	
(県立) 一関工業 高等学校	校長、副校長、教諭	32	事務	3	電気科	3	102	37	27	38		102	0
	養護教諭	1	実習教諭	8	電子科	3	108	39	29	40		94	14
	講師	6	その他	2	電子機械科	3	109	38	31	40		101	8
					土木科	3	105	37	28	40		96	9
計	39	計	13	合計	12	424	151	115	158		393	31	
(県立) 花 泉 高等学校	校長、副校長、教諭	12	事務	2	普通科	6	112	40	34	38		52	60
	養護教諭	1	実習教諭	0									
	講師	1	その他	1									
計	14	計	3	合計	6	112	40	34	38		52	60	
(県立) 大 東 高等学校	校長、副校長、教諭	34	事務	4	普通科	9	252	82	76	94		112	140
	養護教諭	1	実習教諭	1	情報ビジネス科	3	81	21	25	35		42	39
	講師	3	その他	0									
計	38	計	5	合計	12	333	103	101	129		154	179	
(県立) 千 厩 高等学校	校長、副校長、教諭	44	事務	4	普通科	9	321	110	100	111		122	199
	養護教諭	1	実習教諭	4	生産技術科	3	115	38	39	38		39	76
	講師	4	その他	2	産業技術科	3	93	31	33	29		93	0
	計	49	計	10	合計	15	529	179	172	178		254	275
(私立) 一関学院 高等学校	校長、副校長、教諭	24	事務	4	普通科	12	310	119	84	107		184	126
	養護教諭	1	実習教諭	1	計	12	310	119	84	107		184	126
	講師	3	その他	1	(通信制課程)	11	109	24	48	27	10	46	63
	計	28	計	6									
(私立) 一関修紅 高等学校	校長、副校長、教諭	28	事務	4	普通科	13	375	135	140	100		168	207
	養護教諭	0	実習教諭	0	生活教養科	2	26		11	15		0	26
	講師	0	その他	2									
	計	28	計	6	合計	15	401	135	151	115		168	233

〈高等専門学校〉

学校名	本務教職員数	科	学級数	生徒数	1年	2年	3年	4年	5年	専攻科		男	女
										1	2		
(独立行政 法人国立 高等専門 学校機構) 一関工業 高等専門学校	校長、教授	25	未来創造工学科	8	321	162	159					256	65
	准教授	25	機械工学科	3	131		1	42	45	43		125	6
	講師	3	電気情報工学科	3	111			40	37	34		92	19
	助教	8	制御情報工学科	3	117		1	39	42	35		68	49
	事務	26	物質化学工学科	3	121		1	42	42	36		111	10
	技術技能 医療	13 1	専攻科	4	64						32 32	57	7
計	101	計	24	865	162	162	163	166	148	32	32	709	156

〈大 学〉

学校名	本務教職員数			学 科	学級数	生徒数	1年	2年	男	女	
(私立) 修紅短期 大学	学 長	1	講 師	2	幼児教育学科	4	99	51	48	12	87
	副学 長	0	助教	4	食物栄養学科	2	56	26	30	5	51
	教授	8	助 手	2							
	准教授	1	事務	7							
	計	10	計	25	計	6	155	77	78	17	138

〈特別支援学校〉

学校名	本務教員数	本務職員数	学 部	学級数	生徒数	幼	1年	2年	3年	4年	5年	6年	男	女		
(県立) 一関清明 支援学校	校 長	1	本 校 舎	幼稚部	1	3	3						2	1		
	副校長	3		小学部	5	12		2	3	1	2	3	1	2	10	
	指導教諭	1		中学部	7	24		6	7	11				14	10	
	養護教諭	95		高等部	16	87		24	36	27				57	30	
	養護助諭	2		山 目 校 舎	10	31		5	4	4	5	6	7	23	8	
	養護教諭	2		あ す な ろ 分 教 室	小学部	2	6		2	1	1	1	0	1	3	3
	養護助諭	2			中学部	1	2		0	0	2				1	1
	実習教員	1			高等部	3	11		4	4	3				4	7
	講 師	17		千 厩 分 教 室	小学部	5	11		3	0	1	1	3	3	10	1
				中学部	3	5		2	1	2					3	2
計	124	計	14	計	53	192	3	48	56	52	9	12	12	119	73	

〈幼 稚 園〉

幼稚園名	教職員数		収容園 児定数	学級数	園児数	男女別								
	園長	本務教員等				3歳未満児	3歳児	4歳児	5歳児	男	女			
(市立)														
舞川幼稚園	1	4	100	3	22		7	7	8	15	7			
真滝幼稚園	1	4	100	3	32		12	8	12	19	13			
巖美幼稚園	1	6	60	3	30		8	15	7	16	14			
赤萩幼稚園	1	5	90	3	48		15	15	18	28	20			
萩荘幼稚園	1	4	100	3	22		4	10	8	17	5			
狐禅寺幼稚園	1	3	70	2	20		10	3	7	12	8			
弥栄幼稚園	1	3	70	2	16		5	5	6	7	9			
いずみの森幼稚園	1	4	90	3	24		9	8	7	13	11			
摺沢幼稚園	1	4	105	3	34		10	12	12	20	14			
げいび幼稚園	1	4	80	3	14		3	6	5	5	9			
藤沢こども園	1	11	140	7	112	42	16	22	29	53	56			
上段:施設全体 下段:1号認定(旧幼稚園)			30	1	10		2	4	4	5	5			
黄海こども園	1	11	95	5	50	17	8	13	12	26	24			
上段:施設全体 下段:1号認定(旧幼稚園)			50	3	7		2	4	1	2	5			
室根こども園	1	13	110	6	93	28	21	22	22	49	44			
上段:施設全体 下段:1号認定(旧幼稚園)			30	3	2		0	0	2	1	1			
(私立)														
認定龍澤寺こども園	1	38	180	9	158	27	46	43	42	85	73			
上段:施設全体 下段:1号認定(旧幼稚園)			78	6	75		26	24	25	38	37			
愛心幼稚園	1	9	265	7	106	1	28	27	50	50	56			
認定こども園修紅短期大学附属幼稚園	1	34	240	9	233	51	57	61	64	121	111			
上段:施設全体 下段:1号認定(旧幼稚園)			77	6	76		26	26	24	39	37			
認定こども園一関幼稚園	1	36	200	9	197	43	54	50	50	96	101			
上段:施設全体 下段:1号認定(旧幼稚園)			120	6	113		37	38	38	53	60			
幼保連携認定こども園花泉こども園	1	20	90	6	85	25	21	18	21	42	43			
上段:施設全体 下段:1号認定(旧幼稚園)			45	3	10		4	3	3	8	2			
カトリック清心幼稚園	1	4	140	3	37	0	13	8	16	22	15			
認定こども園千厩小半幼稚園・千厩こひつじ園	1	14	117	7	90	32	21	16	21	52	38			
上段:施設全体 下段:1号認定(旧幼稚園)			30	3	9		2	4	3	3	6			
合 計	20	231	2,902	127	1,725	266	467	472	517	897	824			

2 学校紹介

(1) 小学校

<h1>一関小学校</h1>	〒021-0836 一関市宇鳴神33-1 TEL : 23-5016 FAX : 23-5615 E-mail : kansho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：吉野 新平 副校長：大竹 博行 教職員数：41名 児童数：634名 学級数：22
	<p>教育目標 「豊かな心をもち、たくましく生きる、心身ともに健康な子ども」</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) よく学び工夫する子ども 「かしこく」 (2) 健康である子ども 「あかるく」 (3) きまりを守り助け合う子ども 「なかよく」 (4) 責任をもちやりぬく子ども 「たくましく」 <p>研究主題 「確かな学力をはぐくむ学習指導のあり方」 ～学び合い活動の充実を通して～</p>	
<p>沿革 明治6年7月1日、田村藩校であった教成館の建物及び地所を使用して開校し、一関村立一関小学校となり、普通教育を始めた。 以来、一関尋常小学校、一関尋常高等小学校、一関国民小学校、一関小学校と校名を改めてきたが、校舎腐朽のため改築の必要にせまられて、昭和40年4月1日一関市立狐禅寺小学校と統合し、昭和43年4月1日、敷地を改め現在の校舎に移転した。 昭和48年10月21日には、創立記念事業として100周年記念式典が挙行され、記念事業として記念庭園造成や100年誌編纂等の事業を実施した。 その後、築後20年以上経過した校舎の老朽化に伴い、平成2年度から4か年にわたり大規模改修が行われ、平成6年3月に竣工した。平成19年度には耐震補強工事が行われた。 平成25年7月5日には、創立140周年記念行事として「いわてフィルハーモニーオーケストラ」と演奏会を開催した。平成27年度、給食がセンター化され、学校プールが完成した。平成30年4月に駐車場、5月に新しい遊具が完成した。</p>	<p>特色ある教育活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学力向上 学びフェストとその評価を生かした指導およびQ Uを活用した学びの基盤としての学級づくり 2. 体育・文化的活動の充実 陸上、卓球、合唱、マーチングバンドクラブの希望制による課外活動 3. 外国語活動・国際理解教育の充実 ALT講師とのTTによる授業の実践 4. 健全育成を図るPTA活動 「愛の一声運動（ワッペン）の全校児童配布」の実践 5. 地域連携 図書館ボランティア、学校支援地域本部事業の活用および地域行事へのマーチングバンドの参加。 	

<h1>山目小学校</h1>	〒021-0024 一関市幸町2-47 TEL : 23-2257 FAX : 23-7627 E-mail : yamasho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：千田 智明 副校長：及川 登志彦 教職員数：41名 児童数：529名 学級数：23
	<p>教育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○よく学び、よく考える子ども（かしこく） <ul style="list-style-type: none"> ・めあてをもち、課題解決を目指して進んで学習に励むことができる。 ・よく聞き、自分の考えを相手にわかりやすく話すことができる。 ・物事をよく見つめ、考えて、正しく判断できる。 ・自分を反省し、考えて、よりよい行動ができる。 ・より高い目標（将来への夢や希望）に向かって努力することができる。 ○ゆたかな心で、助け合う子ども（なかよく） <ul style="list-style-type: none"> ・いつでも、どこでも、誰とでもあいさつをすることができる。 ・温かく、思いやりのある言葉で、仲良く助け合うことができる。 ・美しいもの、崇高なものに感動することができる。 ・公共物を大切に、みんなのために役立つと奉仕することができる。 ・郷土をこよなく愛することができる。 ○健康で、ねばり強い子ども（たくましく） <ul style="list-style-type: none"> ・健康や安全、災害について理解し、たくましく生き抜く意志を持つことができる。 ・学習や仕事、運動に打ち込み、ねばり強くやり抜くことができる。 ・勤労の尊さを知り、共に支え合い、喜んで働くことができる。 	
<p>沿革 明治7年、蘭梅山麓に開校、公立山目小学校と称す。明治28年、山目尋常高等小学校と改称。昭和22年、学制改革により一関市立山目小学校と改称する。昭和32年、養護学校級を設置。昭和28年、特殊学級を設置。昭和48年、ことばの教室を設置。昭和50年創立100周年式典挙行。同年、一関市立笹谷小学校と統合。昭和52年から平成5年までNHK全国音楽コンクールに連続出場。昭和63年、幼児ことばの教室開設。昭和62年から平成9年まで県南マーチングフェスティバルに連続出場。平成16年創立130周年記念式典挙行。平成20年度LD等通級指導教室開設。平成20年度体育館新築。平成26年北校舎解体。同年、12月新校舎完成。平成28年7月、新プール完成。</p>	<p>特色ある教育活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 児童の学習状況を把握し、習熟度別学習・TT・家庭学習強化週間の取組などを通して、基礎・基本の確かな定着を目指し、指導方法や指導体制の改善に努めている。 2. 開放的な空間を利用しながら、学年集会や異年齢集団による縦割り活動、ALTとの協力指導による国際理解教育などの活動を通して、他者とのかわり方や望ましい人間関係の育成を経営の重点としてとらえている。 3. 山小「ノーベル賞」や「まめ博士」を設定し、児童に自由研究を推奨している。 4. 一関夏祭りや一関地区吹奏楽祭などに参加しているスクールバンド、毎年県大会出場を果たしている陸上競技など、課外活動においても文化・運動の両面で活躍している。 	

赤荻小学校

〒021-0041
一関市赤荻字桜町181-1
TEL : 25-2130 FAX : 25-4296
E-mail : akosho@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：佐藤 伸哉
副校長：金野 孝徳
教職員数：22名
児童数：309名 学級数：14



沿革

明治 5年 1月 公立学校赤荻小学校をおく
6年 7月 公立赤荻小学校創立
20年 赤荻簡易小学校と改称
22年 2月 赤荻尋常小学校と改称（4年制）
36年 4月 赤荻尋常高等小学校と改称
41年 4月 赤荻尋常小学校（6年制）と改称
大正 3年 校歌を制定
昭和16年 4月 赤荻国民学校と改称
21年 4月 山目村立赤荻小学校と改称
28年 4月 校章、校旗制定
42年11月 完全給食開始
47年10月 創立100周年記念式典
61年 7月 新校舎竣工
平成 6年 2月 創立120周年記念式典並びに祝賀会
13年 9月 県教委、市教委研究指定校開「総合的な学習」
19年 4月 特別支援学級「そらいろ学級」設置
20年 4月 特別支援学級「にじいろ学級」設置
27年 7月 「赤小図書ボランティア」創設
28年 9月 市教委研究指定校開「国語科」

教育目標

校訓「明るく、かしこく、たくましく」を基調に、調和のとれた人間性豊かな児童の育成を図る。

- ・自ら学ぶ かしこい子ども
- ・明るく 思いやりのある子ども
- ・根気よく たくましい子ども

研究主題

主体的に学び、思考・判断・表現する子どもの育成
～国語科、交流を通して～

研究内容

1. 主体的な学び、思考・判断・表現を促す授業づくり
(1)主体的な学びを促す単元構想 (2)思考・判断・表現を促す交流の在り方
2. 個の表現力（記述力）を高める日常実践
(1)100マス作文の取り組み (2)読書五七五の取り組み

特色ある教育活動

1. 人との関係を築く基なる「あいさつ」と「返事」の推進
人と親和できる最も簡単な方法が「あいさつ」と「返事」、そこで家庭や地域の協力、実践をお願いして、いつでも、どこでも、誰にでも、さわやかにできる子どもを目指しています。
2. 伝承芸能「鶏舞」と伝統の「金管委員会」活動の継続
地域の皆さんから愛され、指導者にも恵まれて取り組んでいる伝承芸能「鶏舞」、出演依頼が多く嬉しい悲鳴。一方、「自分が小学生時代、金管委員会で毎日練習し、吹奏楽祭で発表したことが懐かしい」とお話するお母さんがいるほど伝統ある金管委員会の吹奏楽。5年生になると「鶏舞」、「金管」どちらかに所属して活動しています。
3. 地域連携を生かした教育の推進
・スクールガード、赤荻地区防犯交通安全協議会、PTA 安全委員会、区長会と連携して安全教育、あいさつ運動を推進しています。
・区長会の協力を得て校報学区内回覧を実施しています。

中里小学校

〒021-0014
一関市蘭梅町7-1
TEL : 23-2231 FAX : 23-7919
E-mail : nakasho@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：谷村 晴子
副校長：小山 恵義
教職員数：16名
児童数：202名 学級数：10



沿革

明 6. 7. 1 公立中里小学校と称し民家をもって校舎とする
20. 4. 1 中里尋常小学校と改称する
昭 7. 5.14 中里村中里太平山5-1に本校改築移転する
22. 4. 1 一関市立中里小学校と改称する
48. 9.20 創立100周年記念式、祝典
平成 10. 1.28 全日本交通安全協会全国表彰
12. 3.30 プール改修工事完了
14. 9.10 大規模改修工事（水洗化）完了
17. 8.10 学校評議員設置
18. 1.11 岩手県学校歯科保健優良校表彰
21. 3. 2 校舎耐震補強及び防火設備等改修完了
23. 3.11 東日本大震災により体育館被災
25. 2.20 新体育館建設工事完了
25.11.18 岩手県交通安全功労者表彰
27. 3.31 自校給食終了
28. 4. 1 「ことばの力を育てる教育」実践指定

教育目標

◎「自ら学び、人間性豊かで心身ともにたくましい子どもの育成」

- よく考え、進んで勉強する子ども
- 思いやりをもち、助け合う子ども
- 体を鍛え、最後までがんばる子ども

研究主題

「学び高め合う子どもを育てるための学習指導」
～算数科における「見方・考え方」を豊かにする授業実践～

今年度のまなびフェスト

- 確かな学力をつける
- ① わかる授業をめざし、授業改善に努めます。
 - ② ことばの力を育む指導を工夫します。
 - ③ 学習内容の定着を図ります。
- 豊かな人間性を育てる
- ① 望ましい人間関係作りを促します。
 - ② よりよく生きる力の育成に努めます
 - ③ 地域を大切に作る心の育成に努めます。
- たくましい心と体をつくる
- ① 基本的な生活習慣の定着を促します。
 - ② 進んで外遊び、体力づくりに取り組むよう工夫します。
 - ③ 望ましい学習環境づくりに努めます。

<h1>滝沢小学校</h1>	〒029-0132 一関市滝沢字寺下46 TEL : 23-4090 FAX : 23-5229 E-mail : takisho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：及川美香子 副校長：阿部英司 教職員数：15名 児童数：150名 学級数：8
	教育目標 1. 基本目標 心豊かで学び続ける子どもの育成 2. 具体目標 確かな学力（知力）……わかるまで考える子 豊かな人間性（心情）……思いやりのある子 健やかな心身（体力）……元気で活動する子	
沿革 明治 6.7 寺院長寿寺に滝沢小学校として創設 16.6 公立滝沢小学校と称す 29.6 校舎を信託（寺下2、横5間、縦15間） 昭和27.10 真滝中学校独立新校舎に移転 平成 4.8 現在地に校舎新築供用開始 4.12 運動場供用開始 5.2 校舎・体育館落成式典挙行 10.6 特別養護ホーム（明生園）との 「里孫体験学習」開始 13.4 「豊かな心を育む教育」推進事業で 牧沢神楽の伝承活動開始 22.7 「小さな親切実行章」受賞 25.10 道徳教育学校公開研究会開催 （市教委指定）	研究主題 「確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ児童の育成」 ～算数科の指導を通して、学びに向かう力を高める～ 特色ある教育活動 1. 日課表の工夫で活気のある学校生活 ・朝学習 朝読書 ・集会活動 火曜日 （全校朝会 児童会） ・水曜昼読書タイム30分 毎日5校時前10分間ことばの時間 2. 地域との連携を図る教育活動 ・学区探検（1・2年生） ・里孫交流学习（特別養護老人ホームとの交流3・4年生） ・ふるさと学習（地域の祖父母との交流・全校児童） ・月1回登校時クリーン作戦（ボランティア活動・全校児童） ・鶏舞伝承活動（4年生以上） ・稲作体験（JA支援5年生） ・金管バンドによる吹奏楽祭への参加	

<h1>南小学校</h1>	〒021-0863 一関市南町3-3 TEL : 23-3218 FAX : 23-7942 E-mail : nansho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：小島正明 副校長：佐藤四十六 教職員数：31名 児童数：437名 学級数：18
	『吹け！南の風 豊かな未来へ』のスローガン達成に向けて 教育目標 たくましく生き、郷土と国際社会の未来を創造できる、知・徳・体の調和のとれた、人間性豊かな児童の育成をめざす。 1. 明るく思いやりのある子ども（あかるく） 2. 進んで学びよく考える子ども（かしこく） 3. 強い体で実行力のある子ども（たくましく） 研究主題 確かな学力を身につけ、主体的に学ぶ児童の育成 ～評価問題を明確にした振り返り活動の充実を通して～	
沿革 本校の前身は明治6年創立の真柴小学校である。校舎の老朽化と戦後の一関小学校児童の急増を考慮し、昭和32年10月、真柴小学校学区と萩荘小学校区、一関小学校区の一部を併合する形で、現在地に一関市立南小学校として開校した。 その後、昭和34年に6つの民区、43年には4つの民区と二度にわたり一関小学校学区の一部を加え、南小学校学区として現在に至る。 現校舎等の建設は平成9年～12年にかけて行われ、9年度新プール落成、11年度屋内運動場と校舎落成。13年度には県の事業で進められた吸川親水ゾーン「すいすい公園」が完成。14年度には第45回国語教育研究協議会一関大会の主会場となる。また、22年度には一関市教育委員会指定による学校公開を行っている。さらに24年度には若手県教育センターにて「キャリア教育」の実践発表を行っている。26、27年度には一関市教育委員会指定による「ことばの力を育む教育」に取り組み、28年度には「子どもの読書活動優秀実践校」として文部科学大臣賞を受賞した。平成29年10月1日に創立60周年を迎えた。	特色ある教育活動 「目に見える姿を変え、目に見えない力を育てよう」 1. 基礎・基本の確実な定着と表現力を育てる指導の工夫 2. 児童会行事・学校行事の活性化と思いやる心を育てる全校縦割り活動 3. 協力する心や態度を育む学年集会活動 4. 図書館の有効活用を通じた豊かな言葉の力を育てる教育の推進 5. 吹奏楽、陸上、水泳等、興味や能力に沿った創造的活動の取組 6. 三あ運動プラス1・1（挨拶・安全・後始末・歩いて登校・ノーメディア）の実践 7. 中学校と連携したキャリア教育、ノーメディアデーの取組 8. みんなで支える南小学校、学校支援地域本部事業の推進 9. 思いやりの心を育むボランティア活動 10. いきる、かかわる、そなえるに対応した復興教育の実践	

<h1>弥 栄 小 学 校</h1>	〒029-0211 一関市弥栄字大奈良33-4 T E L : 43-3129 F A X : 43-2928 E-mail : yasasho@city.ichinoseki.iwate.jp	校 長：小 林 京 子 副 校 長：佐々木 謙 二 教職員数：10名 児 童 数：41名 学級数：5
		<p>教育目標 進んで学び、心豊かでたくましい子どもの育成 学ぶ子ども (知) 助け合う子ども (徳) きたえる子ども (体)</p> <p>研究主題 「自分の考えを広げ、深める子どもの育成」 ～算数における「学び合い」の工夫を通して～</p> <p>特色ある教育活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 確かな学力の育成 <ol style="list-style-type: none"> (1) ユニバーサルデザインを取り入れたわかる授業の実践 (2) 思考力・表現力を育む学び合い活動の充実 (3) 基礎学力の定着を図ることばの時間や弥栄っ子テスト (4) 良質・適量の家庭学習 2 豊かな人間性の育成 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自他を大切にすることを育む道徳教育、教育相談 (2) 協力し合う心を育む縦割り班や異学年での活動 (3) 豊かな心を育む読書活動（昼読書、読み聞かせ、図書祭り） (4) 郷土を愛する心を育む地域学習（蚕学習、伝統芸能活動など） 3 たくましい心身の育成 <ol style="list-style-type: none"> (1) 年間を通じた体力作り（マラソン、縄跳び、サーキットトレーニング） (2) 元気な子どもの育成を目指した健康教育（保健指導、食育指導） (3) 自分の身を守る子どもの育成（防犯教室、防災教室など） 4 家庭・地域との連携 <ol style="list-style-type: none"> (1) 校報・学級通信・PTAだより・保健だより・HPによる発信 (2) 積極的なPTA活動（親子文集の発刊など）
<p>沿 革</p> <p>平成 2. 4 旧弥栄小学校、平沢小学校が学校統合 一関市立弥栄小学校として創立</p> <p>2. 9 プール新設</p> <p>3. 3 「いやさか太鼓」披露発表会</p> <p>5.10 文部省指定体力づくり公開研究会</p> <p>6.10 全国保健体育優良校文部省表彰</p> <p>11. 1 「よい歯の学校」県表彰</p> <p>11.10 学校給食優良校文部大臣表彰</p> <p>12. 2 開校10周年記念事業実施</p> <p>15. 5 日本善行賞（社会福祉部門）受賞</p> <p>18. 6 P T A、一関防犯協会より感謝状</p> <p>21. 1 一関こども文化祭「いやさか太鼓」 市長賞受賞</p> <p>22. 3 体力・運動能力一関教育事務所表彰</p> <p>23. 8 「小さな親切運動」受賞</p> <p>24. 8 校庭表土入れ替え</p> <p>26.12 プール改修</p> <p>28.11 「蚕を学ぶ奨励賞」受賞</p> <p>30. 6 「小さな親切運動」受賞</p>		

<h1>萩 荘 小 学 校</h1>	〒029-0902 一関市萩荘字境ノ神253 T E L : 24-2350 F A X : 24-3299 E-mail : hagisho@city.ichinoseki.iwate.jp	校 長：佐 藤 毅 副 校 長：門 田 徹 教職員数：26名 児 童 数：375名 学級数：15
		<p>教育目標</p> <p>◎相手を思いやり助け合う子（徳）→やさしい子 ・自己との違いを認め、他者を尊重する子ども ・弱者をいたわり、やさしく接する子ども ・自他の生命を尊重する子ども</p> <p>◎自ら学び自ら考える子（知）→かんがえる子 ・自分の考えを持ち、意欲的に学習に取り組む子ども ・目標を持ち、工夫しながら学習する子ども ・互いの良さを認め、友達の考えを大切にすることも</p> <p>◎健康でたくましい子（体）→たくましい子 ・正しい判断をし、行動する子ども ・がまん強く、最後までやりぬく子ども ・進んで体を動かし、鍛える子ども</p> <p>研究主題 コミュニケーション能力を育てる授業づくり ～外国語・外国語活動における言語活動の工夫を通して～</p> <p>特色ある教育活動</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域の素材をいかした環境教育 久保川・自鏡山、凍み豆腐作り等、生活科・理科・総合的な学習の時間等に活用 (2) 伝承活動としての神楽「鶏舞」 地域の教育力を活かした「鶏舞」の伝承
<p>沿 革</p> <p>平成17年4月、旧萩荘小学校と市野々小学校を統合し、一関市立萩荘小学校として創立。</p> <p>【校章】地区民から公募した代表作品をもとに、「萩荘を象徴している萩の葉と花で小学校を包み、萩荘地区の方々に見守られている学校であるように」という願いを込めてデザインをとりまとめ、制定。</p> <p>【校歌】「空飛ぶ教室」あんべ光俊作詞・作曲、太田代政男編曲</p> <p>平成17.12 スクールガード「はぎっ子サポートチーム」立ち上げ</p> <p>18. 2 プール建設工事竣工</p> <p>18. 3 敷地整備地、外構工事完了</p> <p>18. 8 (社)文教施設協会「教育環境の新設部門」協会賞受賞</p> <p>19. 7 日本スポーツ振興センター学校安全有料校表彰</p> <p>22.11 東北地区小学校特別活動研究協議会岩手大会会場校</p> <p>25.11 一関市教育委員会指定学校図書館公開</p> <p>26. 4 文部科学大臣「子どもの読書活動優秀実践校」表彰</p> <p>29. 9 一関市教育委員会指定学校公開研究会（道徳）</p> <p>29.11 東北特別支援教育研究大会授業会場（生活単元学習）</p>		

厳美小学校

〒021-0101
 一関市厳美町字上ノ台55-2
 TEL: 29-2114 FAX: 29-2115
 E-mail: gensho@city.ichinoseki.iwate.jp

校長: 門 間 健 一
 副校長: 沖 舘 玲 子
 教職員数: 15名
 児童数: 131名 学級数: 8



沿革

- 明治 6. 8 公立五串小学校と称し開校
- 大正12. 3 猪岡小学校と統合
- 13.12 現在地に新校舎が完成
- 昭和12.12 校章・胸章を制定
- 22.12 創立25周年を記念し校歌制定
- 30. 1 市町村合併により一関市立厳美小学校と改称
- 42.11 完全給食開始
- 49. 8 プールが完成
- 53.10 市教委指定学校公開研究会開催 (勤労体験学習)
- 54.10 市教委指定学校公開研究会開催 (図工科、特別活動)
- 55.12 本校舎三階建てが完成
- 57. 3 屋内運動場が完成
- 58. 9 厳美地区道徳教育研究共同推進校
- 平成14. 8 25年間継続の厳美溪畔清掃小さな親切実行賞受賞
- 15.11 県及び市教育委員会指定幼・小連携公開研究会開催
- 17. 4 山谷小学校と統合
- 23. 1 厳美溪畔清掃「小さな親切運動」実行賞受賞
- 23.10 市教委指定学校公開研究会開催 (算数科)
- 24. 4 厳美児童クラブ開設
- 25. 4 達古袋小学校と統合
- 30. 4 本寺小学校と統合

教育目標

知性を磨き、情操を豊かにし、健康でたくましく生きる子どもの育成

1. 進んで勉強をする子ども……知性を磨く子ども
2. 生き生きとして思いやりのある子ども
……情操を豊かにする子ども
3. 丈夫でたくましい子ども……健康でたくましい子ども

研究主題

「文章の内容を正確に読み取り、
 主体的に問題解決を図る児童の育成」
 ～「読むこと」の指導を通して～

特色ある教育活動

1. ぐんぐんタイム等による基礎・基本の定着と、個に応じた指導の推進を図り、確かな学力の育成を図っている。
2. 子どもたちの実践活動交流や教員の授業交流など、幼・小・中連携教育に力を入れて実践している。
3. ボランティア活動や福祉活動、縦割り活動、スポーツ・音楽活動を通じて、調和のとれた人間性豊かな児童の育成を図っている。
4. 40年続いている厳美溪畔清掃や巣箱かけの取り組みを通じて、自然愛護・環境美化に努めている。
5. 開かれた学校づくりを目指し、積極的に地域に情報を発信するとともに、様々な体験活動を企画・運営したり、地域の活動に積極的に参加したりするなどして、家庭や地域との連携を深めている。

舞川小学校

〒021-0221
 一関市舞川字館ノ越20-4
 TEL: 28-2121 FAX: 28-2122
 E-mail: maisho@city.ichinoseki.iwate.jp

校長: 村 上 亮
 副校長: 大 津 高 男
 教職員数: 14名
 児童数: 99名 学級数: 8



沿革

- 平成 7年 4月 舞草小学校と相川小学校が統合し、一関市立舞川小学校として創立
- 13年10月 学校給食文部科学大臣表彰受賞
- 17年 9月 創立10周年記念事業
- 18・19年 「我が国の伝統文化を尊重する教育に関するモデル事業」文部科学省指定
- 19年 7月 第9回全国子ども民俗芸能大会、第4回文化セミナーに鹿子踊り・鶏舞出演
- 24年10月 一関市指定研究学校公開 (算数)
- 27年11月 創立20周年記念事業

※一関市花いっぱいコンクールでは、学校花壇の部で平成7年から平成27年まで毎年のように、最優賞や優秀賞・優良賞・審査員特別賞等を受賞している。
 ※鶏舞と鹿子踊りの2つの伝承芸能に取り組んでいる。

教育目標

「郷土をこよなく愛し、たくましい実践力を持って、
 主体的・創造的に生きていく、心豊かな子」

- [ゆたかに] 心豊かで 助け合う子
- [かしこく] よく考え 学習に励む子
- [たくましく] 健康で 粘り強く頑張る子

研究主題

意欲的に学ぶ子どもの育成
 ～算数科における言語活動を通して～

特色ある教育活動

- どの子も参加しやすい授業、どの子にも居場所のある学校を目指し、きめ細やかな指導に取り組む。
- (1) 人権教育や特別支援教育の充実
 - ・ Q U等で学級生活での満足度を知り、経営に活かす。
 - ・ 個の状況を的確に把握し、課題の改善に努める。
 - (2) 基礎・基本の定着、学力の向上
 - ・ 算数科で協力指導体制を取り入れ、きめ細やかな指導に取り組む。
 - ・ 朝読書、図書館ボランティアによる読み聞かせや読書普及員のブックトークを通して、読書の楽しさを学ぶ。
 - ・ 保護者と連携して、家庭学習の充実に努める。
 - (3) 地域に根ざした学校
 - ・ 地域学習を通して地域文化や歴史を学ぶ。
 - ・ 鶏舞・鹿子踊の伝統芸能を継承する。
 - ・ 環境美化や栽培活動、花いっぱい運動を通して、世代間交流を図り、環境教育や福祉教育を推進する。
 - ・ 地区防犯協会や保護者と一緒に挨拶運動に取り組む。

永井小学校

〒029-3206
 一関市花泉町永井字岫前148-1
 TEL : 84-2230 FAX : 84-2804
 E-mail : nagaisho@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：菅原 恵理子
 副校長：大平 泰彦
 教職員数：14名
 児童数：106名 学級数：8



沿革

明治6年、東永井小学校、西永井小学校として創立。
 明治8年に薬師沢の医王寺に東永井小学校、寺前の瑞昌寺に西永井小学校が開校。
 昭和30年町村合併により東永井小学校が花泉町立高倉小学校、西永井小学校が花泉町立永井小学校となる。
 昭和39年、両小学校で創立90周年記念式典祝賀会が催される。
 昭和60年4月、高倉小学校と永井小学校が統合し「花泉町立永井小学校」となる。同時に現在地の岫前に新校舎が建ち、全13学級（特学1）編成となる。
 平成6年に永井小学校創立10周年記念式典、平成16年に創立20周年記念式典を挙げる。
 平成17年9月の市町村合併により、一関市立永井小学校と改称し、現在に至る。
 平成26年11月1日に永井小学校創立30周年記念式典を挙げる。

教育目標

- 自ら学び、自ら活動する子ども
- 1 進んで学習する子ども（知育）
 - 2 思いやりのある子ども（徳育）
 - 3 健康でねばり強い子ども（体育）

研究主題

筋道を立てて考え、表現する力を育てる授業の探究
 ～算数科における互いの考えを伝え合う授業を通して～

特色ある教育活動

1. 基礎的、基本的学習内容の定着と学習習慣の形成
 - ・各種調査結果の分析を生かした学習指導
 - ・家庭学習レベルアップ指導と担任外による家庭学習ノート指導
 - ・担任外と担任との協力指導の工夫
 - ・「永井っ子スタンダード」による好ましい学習・生活習慣の確立
2. 学校支援ボランティアによる体験学習のサポート体制の充実
 - ・学校農園での野菜栽培、餅米栽培
 - ・読み聞かせ読書活動の継続
 - ・地域の伝統芸能の鶏舞の継承
 - ・高倉地区振興協議会との連携による紅梅の植樹・世話等
3. 思いやりの心の育成
 - ・地域高齢者へのいたわりの手紙送付
 - ・祖父母との交流活動（ミズキ団子作り、しめ縄作り等）
 - ・陸前高田市小友地区との交流と現地での復興教育学習

涌津小学校

〒029-3205
 一関市花泉町涌津字松ノ坊26-1
 TEL : 82-3326 FAX : 82-5325
 E-mail : wakusho@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：村上 登勢子
 副校長：小野寺 清
 教職員数：16名
 児童数：122名 学級数：8



沿革

明治6年6月に涌津小学校として長禅寺に開校し、明治8年3月には高台道の住宅を借用して亥年小学校が開校した。
 昭和49年に涌津小学校の新築工事が行われ、昭和58年4月に涌津小学校と亥年小学校が統合し、花泉町立涌津小学校と称する。
 昭和60年4月にことばの教室が設置された。平成元年から平成2年にかけて行われた校舎大規模改修工事では、西側校舎増築、屋上防水、温水循環式暖房等の工事が施された。
 平成5年11月に統合10周年記念事業（式典・花壇整備）、平成15年9月に統合20周年記念事業（ふれあいコンサート）が行われた。
 平成17年9月の市町村合併により、一関市立涌津小学校と改称する。
 平成25年10月、11月、統合30周年記念事業（式典・祝賀会等）を行った。

教育目標

- 1 基本目標
 豊かな心をもち、たくましく未来を創造する、心身ともに健康な児童を育成する。
- 2 具体目標
 - (1) 進んで学ばしこい子ども（かしこく）
 - (2) 心豊かで正しい行いができる子ども（正しく）
 - (3) 健康でたくましい子ども（たくましく）

研究主題

確かな学力を育成する指導のあり方
 ～学びを実感する算数科の指導を通して～

特色ある教育活動

- 1 基礎・基本の定着
 全校漢字テスト・計算テストの実施と個別学習の時間「花タイム」の工夫により望ましい学習習慣の形成と基礎・基本の定着を目指している。
- 2 情操教育の充実
 学校美術館の設置と読書活動、川柳づくりを通し、感性を養うと共に、豊かな心を育てる取り組みを実施している。
- 3 特別支援教育の充実
 特別支援コーディネーターと担任外教員が中心となり、特別支援学級だけでなく、通常学級における個別支援の充実を目指している。
- 4 地域連携
 鶏舞指導（伝統芸能伝承）、わくわく広場（放課後子ども教室）、GT活用等、地域との繋がりを大切にしている。

油島小学校

〒029-3207
一関市花泉町油島字上築道34-1
TEL: 82-3328 FAX: 82-5326
E-mail: yushisho@city.ichinoseki.iwate.jp

校長: 遠藤 芳幸
副校長: 伊藤 雅江
教職員数: 13名
児童数: 53名 学級数: 8



沿革

本校は、明治8年、及川安兵衛氏宅に油島小学校を創設し、同年、貝島貝塚に程近い満昌寺に蝦島小学校が創設された。その後両校とも、所在地を移しながら時代が流れた。

その後130余年の間に五つの小学校を統廃合しながら、平成4年油島小学校と蝦島小学校が統合し、新生「油島小学校」として現在に至っている。

環境美化教育に力を入れ、花いっぱいコンクールに応募し、平成29年度は一関市奨励賞を受賞した。また、歯科保健優良校として児童の健康維持を促進し、平成22年岩手県歯科医師会より歯科保健優良校として17度目の表彰を受けている。

教育目標

- (1) 基本目標
◎心豊かで、たくましく生きる子ども
- (2) 具体目標
○よく考え進んで学習する子ども
○思いやりの心で仲良くする子ども
○健康で体をきたえる子ども

研究主題

「自分の思いや考えをもち豊かに表現できる子どもの育成」
～自分の言葉で伝えるための言語活動の工夫を通して～

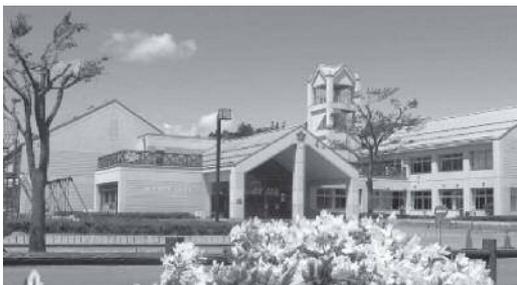
特色ある教育活動

- 1 各教科、体験活動、読書を通し、習得したことや考えを自分の言葉で表現できる力を培う。
- 2 思いやりの心を持ち、ことば遣いに気を付けた「ことばのキャッチボール」、気持ちのよい、明るいあいさつや返事の向上を図る。
- 3 1日60分以上の運動の習慣化と基本的生活習慣を定着させ、健康で体をきたえる児童の育成を図ると共に、防災教育の充実を目指す。
- 4 約20年にわたり詩吟に取り組んでいる。昨年度から、ことばのテキスト「言海」から漢詩や古文を吟題に取り入れ練習している。油島小の伝承活動となっている。

花泉小学校

〒029-3101
一関市花泉町花泉字天王沢沖90
TEL: 82-3322 FAX: 82-5338
E-mail: hanasho@city.ichinoseki.iwate.jp

校長: 太田 孝之
副校長: 佐藤 潔
教職員数: 14名
児童数: 147名 学級数: 8



沿革

明治6年7月、清水・中村・奈良坂の各村に学校が設立。明治20年ごろ統合され花泉小学校として発足した。その後児童数の増加、戦後の学制改革による中学校発足等により校舎移転、増改新築を重ねてきた。

現校舎は平成元年7月にオープンスペースや各種ホールを備えた校舎として完成した。

教育目標

「自ら進んで学び、たくましく生きる、心豊かな子どもの育成」
(生きる力の育成)
◇ 考える子 ◇ 助け合う子 ◇ 元気な子

研究主題

基礎的・基本的な知識・技能を習得し、主体的に学ぶ子どもの育成
～算数科における指導過程と学び合いの工夫を通して～

特色ある教育活動

- 1 学習の基盤となる朝活動の充実
・ことばの時間、朝読書、読み聞かせ(教職員・保護者・地域住民)
・花小テスト(漢字・計算)、表現朝会
- 2 豊かな心を育てるふれあい班活動
・縦割り班による清掃・集会活動
- 3 鶴舞伝承活動
・昭和46年より継続し学校行事や地域行事での披露
- 4 『元気な挨拶・きれいな学校』に向けた取組
・児童・教職員・保護者・地域住民・行政職員によるあいさつ運動
・縦割り班清掃と学級花壇等の整備
- 5 家庭・地域の教育力との連携
ア 花小に行ってみようデー(教育振興運動)
イ 家庭読書週間と読書・読み聞かせ通帳(教育振興運動)
ウ 読み聞かせボランティア「おはなし列車」※H28設立
エ 保育園・老人福祉施設との交流

老松小学校

〒029-3103
 一関市花泉町老松字藤田215
 TEL : 82-3325 FAX : 82-5339
 E-mail : oisho@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：庄 司 善 行
 副校長：高 橋 玲 子
 教職員数：14名
 児童数：95名 学級数：8



沿革

明治6年大祥寺を借用し公立峠小学校創立。明治8年道慶寺を借用し男沢小学校創立。以後両校は、老松尋常高等小学校と男沢尋常小学校となる。昭和6年には老松尋常小学校となり名目統合。町村合併により、昭和30年9月花泉町立老松小学校と改称。平成17年9月一関市立老松小学校となり、現在に至っている。

昭和52年に新校舎、翌年プールと屋内体育館竣工。平成5年11月には120周年記念行事と事業を実施。平成10年に校舎の大規模改修工事を竣工。

平成23年度に特別支援学級（ひまわり学級）開設。平成25年には創立140周年を迎え、児童、教職員、地域住民あげての記念行事を行う。

平成26年度に特別支援学級（あすなろ学級）が新設される。

平成27年4月に一関市立日形小学校と統合し、新一関市立老松小学校となる。

教育目標

- 自ら学ぶ子ども（勉強する子）
- 心の豊かな子ども（やさしい子）
- 心身ともに健康な子ども（元気な子）

研究主題

思いや考えを伝える子どもの育成
 ～国語科を中心とした学習指導における話す活動を通して～

特色ある教育活動

1. 勤労体験学習
 - ・地域の方から学ぶ米作り（総合的な学習の取組）
 - ・親子ふれあい農園（PTA活動との連携）
2. ボランティア活動
 - ・地域の方との交流（学校行事への招待、いきいきサロン、感謝の手紙等）
 - ・地区子ども会ボランティア活動（ゴミ拾い、集落公民館掃除等）
 - ・募金活動と古切手収集 ・資源回収
3. 環境美化活動
 - ・学校花壇作り（PTA活動との連携）
4. 縦割り班活動
 - ・地区登校班での登校
 - ・児童会縦割り班での清掃活動や集会活動

金沢小学校

〒029-3102
 一関市花泉町金沢字下寺袋1
 TEL : 82-3323 FAX : 82-5351
 E-mail : kazasho@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：佐 藤 健
 副校長：高 橋 一 彦
 教職員数：14名
 児童数：108名 学級数：8



沿革

昭和57年4月、旧金沢小学校と刈生沢小学校統合、「花泉町立金沢小学校」が開校。同7月に校舎、屋内運動場新築落成式を行う。昭和63年8月より新宿区立市谷小学校との交流が始まる。平成11年校庭拡張工事が完了。平成13年本校PTAが文部科学大臣表彰を受賞。平成17年6月第46次日本南極地域観測隊との衛星による「南極授業」実施。同9月合併により、一関市立金沢小学校となる。平成23年11月創立30周年記念式典挙行。平成26年7月から平成27年2月にかけて校舎の大規模改修工事。平成28年1月一関市教育委員会指定「ことばの力を育てる教育」発表。平成29年4月少年交通指導隊が岩手県警察本部長表彰される。平成29年7月市谷小・金沢小交流30周年。平成30年7月26日花泉町金沢自然愛護少年団結成20周年で県表彰される。

教育目標

- 「心身ともにたくましく健康であり、自立に向かって努力する金沢っ子の育成」
- (1) 自ら学習に励む子ども（かしこい子）
 - (2) 思いやりのある子ども（やさしい子）
 - (3) たくましく活力のある子ども（たくましい子）

研究主題

「考えたことを明確にし、説明できる児童の育成」
 ～算数科における学び合う活動を通して～

特色ある教育活動

1. ことばの力を育てる教育
 - 「朝日の時間」による美しいことばに触れる活動、読書習慣の確立と読書環境の整備、子供も教師も「あたたかな聴き方・話し方」をする活動等を通して、ことばの感性やよりよい人間関係の育成を推進している。
2. 東京都新宿区立市谷小学校との交流
 - 昭和63年から継続して交流している。現在は4・5年生を対象に2泊3日で年2回、夏は市谷小の児童が金沢へホームステイし、春には市谷へホームステイしている。今年度は31年目となる。
3. 鶏舞の継承
 - 創立当時より5・6年による鶏舞活動を実施。運動会、大名行列等で地域に披露。3学期には引継式を行い、4年生に代々継承している。
4. 家庭・地域との連携
 - お話ポケット、図書館ボランティアによる図書館教育の充実、学校安全ボランティアによる安全環境の確保、金沢生産森林組合との連携による体験学習の充実、積極的な地域行事への参加（大名行列・あったか弁当の宅配等）による地域の人々とのふれあいを充実させている。

<h1>大原小学校</h1>	〒029-0711 一関市大東町大原字七切63-1 TEL : 72-2132 FAX : 72-3931 E-mail : oharasho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：佛川 恒明 副校長：金澤 充枝 教職員数：15名 児童数：131名 学級数：8
		<p>教育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 考える子 ○ きたえる子 ○ 思いやる子 <p>研究主題 「わかる、できる、楽しい」授業づくり ～算数科授業の学び合う活動の工夫をとおして～</p> <p>特色ある教育活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 確かな学力 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の確実な定着（漢字大会、算数大会の実施） ・家庭学習の習慣化（学びの手引きの活用、授業との連動） ・ことばの力を育てる教育（ことばの時間、読書貯金箱、暗唱検定） 2. 健やかな身体 <ul style="list-style-type: none"> ・継続的な体力づくり（マラソン、縄跳び） ・安全指導の徹底（登下校、校内外の安全） ・健康管理能力の育成（肥満率減少、むし歯のない比率向上） 3. 豊かな心 <ul style="list-style-type: none"> ・明るいあいさつが響く学校（あいさつ運動） ・異年齢交流活動の推進（縦割り班清掃、なかよし集会） ・温かい人間関係づくり（学級経営の充実、児童アンケート） 4. 家庭や地域との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・学校・親子で取り組むがんばり週間 ・地域素材の活用（鉄づくり、だるま祭り、水かけ祭り） ・情報発信（校報の全戸回覧、学級通信等の発行） ・地域団体との連携（市民センター、保育園、中学校）
<p>沿革</p> <p>平成22. 4. 1 一関市立大原小学校創立 一関市立大原小学校と一関市立内野小学校を統合し、大原字七切地内に新校舎を建設、開校する。</p> <p>24. 7 落成式</p> <p>25. 4 一関市教育委員会指定研究校（25～26年度 算数）</p> <p>26.10 一関市教育委員会指定学校公開～数学的な表現力を育てる指導～</p> <p>29. 4 一関市ことばの力を育てる教育実践指定校</p>		

<h1>大東小学校</h1>	〒029-0523 一関市大東町摺沢字上堺ノ沢70 TEL : 75-2234 FAX : 75-2667 E-mail : daisho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：芦 宏 副校長：藤原 正克 教職員数：24名 児童数：257名 学級数：15
		<p>教育目標</p> <p>薫り高い歴史と文化を育んできた室蓬讓水の里に誇りをもち、明日への夢や希望に向かって、逞しく挑戦する児童の育成をめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○かしこく（学び合う子） ○ゆたかに（助け合う子） ○たくましく（鍛え合う子） <p>研究主題 主体的に学習し、数学的に思考・表現できる児童の育成 ～自ら考え、共に学び合う活動の工夫を通して～</p> <p>特色ある教育活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎基本の確実な定着 <ul style="list-style-type: none"> ・授業、朝学習、家庭学習と連動した学習の工夫 2 読書活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・学年に応じた目標冊数の設定と朝読書、家庭読書毎日10分以上 ・図書館ボランティアの協力による読み聞かせや環境づくり 3 体力づくりの奨励 <ul style="list-style-type: none"> ・体育、業間時における計画的な継続運動（60運動の推進） 4 生徒指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムの定着（朝の時間の重視、合唱指導の重視） ・人との関わりを意識した指導の徹底（挨拶・清掃・集団行動） 5 安全指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・安全教室、防災訓練の計画的な実施
<p>沿革</p> <p>平成25年4月1日、一関市大東町摺沢字上堺ノ沢地内に新校舎を建設し、開校。 平成26年4月、校庭、プール、外構、駐車場等完成。 平成26年12月、外倉庫完成。 平成27年11月20日、学校公開研究会（理科・生活科） 平成29年4月、大東児童クラブが校舎の一部に開設 <開校の精神より> この地に育つ子供達は、「教え伝えて学びあう・決まりを守り温かく・身体を鍛え健やかに」の地域の願いを集めた大東地域の未来を担う子供達である。 よって、本校で学ぶ子供達・教職員・保護者・地域民は互いに切磋琢磨する中で、「和合・譲り合いの精神」を持ちながら、「共に学び共に歩み共に育つ」ことを基軸に、豊かな人間社会の構築に貢献し、「室蓬讓水の里」を更に飛躍・発展させるべく使命感をもって努めなければならないことを本学「開校の精神」とする。</p>		

<h1>興田小学校</h1>	〒029-0602 一関市大東町鳥海字鞭柳104-1 TEL : 74-2514 FAX : 74-2855 E-mail : okitasho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：石橋 多賀子 副校長：高橋 渉 教職員数：15名 児童数：100名 学級数：9
		<p>教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 基本目標 豊かな心と自ら学ぶ力を持ち、たくましく生きる子どもの育成 めざす子ども像 思いやりのある子ども (徳) 進んで学ぶ子ども (知) 健康でたくましい子ども (体)
<p>沿革</p> <p>本校は、興田地区内の興田、天狗田、中川、京津畑、丑石の小学校を統合し、鳥海字鞭柳地区内に新校舎を建設し、平成18年4月1日に開校、一関市立興田小学校と称す。同年8月に落成式、祝賀会を開催する。平成19年3月31日、校庭及び外倉庫が完了する。平成20年4月1日、特別支援学級（さわやか学級）が設置される。平成21年4月23日、読書活動実践優秀校文部科学大臣表彰を受ける。同年11月6日、県学校図書館教育研究大会を本校会場に開催する。平成24年度より2年間、市教委より「ことば」の力を育てる研究指定を受け、平成25年11月22日学校図書館公開を開催する。平成26年4月1日、特別支援学級（すこやか学級、きこえの学級）が設置される。平成28年10月22日、創立10周年記念式典・祝賀会を開催する。</p>	<p>研究主題</p> <p>確かに分かり、表現できる子どもを育てる算数科の指導</p> <p>特色ある教育活動</p> <ol style="list-style-type: none"> まなびフェストによる徳知体、調和のとれた児童の育成 基礎・基本の習得と活用力を育成するための授業の充実 朝読書、隙間読書、家庭読書による読書好きな児童の育成と音読活動を通した「ことばの力」の育成 豊かな人間性を育てる異学年交流活動（縦割り掃除、縦割り行事など） スクールボランティア（学習・読書・環境）等地域人材の活用 	

<h1>猿沢小学校</h1>	〒029-0431 一関市大東町猿沢字上ノ洞12-1 TEL : 76-2022 FAX : 76-2767 E-mail : sarusho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：白石 拓夫 副校長：青沼 徹 教職員数：14名 児童数：63名 学級数：8
		<p>教育目標</p> <p>「かしこく やさしく たくましく」 (かしこく) すすんで学ぶ子 (やさしく) 思いやりのある子 (たくましく) 心も体も健康な子</p> <p>研究主題</p> <p>どの子も「わかる」「できる」を実感できる授業の創造 ～算数科を中心にユニバーサルデザイン化を通して～</p> <p>特色ある教育活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 基礎学力定着のための取組 <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジテスト ・音読検定 ・家庭と連携した家庭学習「がんばる子カード」の取組 豊かな心の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・「相手に伝わるあいさつ」「くつをそろえる」 ・地域と連携した「ふれあい学級」参観日 ・図書まつり 健康教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に運動に取り組むための体育授業 ・業間体育 ・ロードレース大会 ・なわとび集会
<p>沿革</p> <p>明治6年3月31日、上ノ洞金氏所有の一屋を借用し、町方に公立猿沢小学校創立。下猿沢、新渡戸、峠の3分校設置。明治16年下猿沢、新渡戸両分校を本校に合併。昭和30年町村合併により大東町立猿沢小学校と改称。昭和46年峠分校を廃止し本校に統合。昭和61年現校舎新築移転。平成6年屋内運動場完成、平成7年プール完成。平成17年9月、合併により一関市立猿沢小学校となる。平成21年11月、全国体育研究会より研究優良校を受賞。平成23年11月1日、一関市教育委員会指定による体育科の学校公開研究会を実施する。24年3月、県南教育事務所長表彰を受賞する。25年4月特別支援学級（知的）を開設する。30年4月特別支援学級（情緒）を開設する。</p>		

<h1>千 厩 小 学 校</h1>	〒029-0803 一関市千厩町千厩字上駒場10-2 T E L : 34-5102 F A X : 34-5103 E-mail : sensho@city.ichinoseki.iwate.jp	校 長：皆 上 聖 一 副 校 長：藤 野 弘 子 教職員数：32名 児 童 数：480名 学級数：19
	 <p>沿 革 平成30年4月1日 千厩地域内の千厩、小梨、清田、奥玉、磐清水の5つの小学校が統合し、一関市立千厩小学校創立。 千厩町千厩字上駒場地内に新校舎を建設し開校する。</p>	<p>教育目標 自ら学び新しい時代を拓き心豊かにたくましく生きる児童の育成 ○ 心かよい合う子（徳育） ○ まなび合う子（知育） ○ きたえ合う子（体育）</p> <p>研究主題 「生き生きと学び合う児童の育成」 ～数学的に表現し伝え合う活動を通して～</p> <p>特色ある教育活動 1 豊かな人間性の育成をめざした、心かよい合う学級経営と生徒指導 (1) 明るい生活をする子の育成 (2) 思いやりの気持ちを持つ子の育成 (3) 責任をもって活動に取り組む子の育成 2 分かる授業づくりに努め、共に学び合う姿勢の育成と確かな学力の定着 (1) 話をよく聞き、ことばを大切にする子の育成 (2) 基礎的・基本的学力を身につける子の育成 (3) 学習習慣を身につける子の育成 3 目標をもって心と身体をきたえ合い、健康で安全に生活する意識の育成 (1) 安全な生活を心がける子の育成 (2) 健康な身体をつくる子の育成 (3) 共に明るく生活する子の育成 4 特別支援教育の充実と一関清明支援学校千厩分教室小学部「ハビきら」学級との交流や共同学習の充実 5 地域に開かれた学校づくり、家庭や地域から信頼される学校づくり</p>

<h1>東 山 小 学 校</h1>	〒029-0302 一関市東山町長坂字東本町12 T E L : 47-2144 F A X : 47-2119 E-mail : higasho@city.ichinoseki.iwate.jp	校 長：佐 藤 謙 司 副 校 長：澤 田 祐 子 教職員数：24名 児 童 数：264名 学級数：14
	 <p>沿 革 平成26年4月に、長坂・田河津・松川の3小学校を統合し「一関市立東山小学校」として発足した。 平成30年4月 LD等通級指導教室設置</p>	<p>教育目標 ・豊かな心をもち 思いやりのある子ども ・自ら考え 進んで学ぶ子ども ・たくましく 健康な子ども</p> <p>研究主題 「確かに分かる子どもの育成をめざして」 ～算数科における授業展開の工夫を通して～</p> <p>特色ある教育活動 1 心豊かで希望と笑顔にあふれる児童の育成 ・一人一人のよさや可能性を伸ばす学級経営 ・縦割りのよさを生かした児童会活動 ・心を育て、一人一人を大切に特別支援教育の充実 2 学習指導の充実と学力向上 ・わかる授業の創造と基礎学力や学習規律の定着 ・ことばの力を育み、学力向上を図る校内体制の構築 3 体力向上と健康・安全への取組の充実 ・基礎体力づくりの推進（業間マラソン、縄跳び） 4 家庭・地域・異校種間の連携 ・「ファミチャンウィーク」等 PTA と連携した実践 ・地域や幼・保・児童館・中学校との連携強化 5 施設・設備・教育環境の整備充実 ・校舎改修・仮設校舎に関わる情報共有、整備</p>

<h1>室根東小学校</h1>	〒029-1201 一関市室根町折壁字中谷地82-1 TEL: 64-2103 FAX: 64-3764 E-mail: murohigashisho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長: 高橋 澄夫 副校長: 佐藤 弘幸 教職員数: 15名 児童数: 77名 学級数: 8
	教育目標 豊かな心でやりぬく室根の子 ・ 明るい子 (にこにこ) ・ 考える子 (きらきら) ・ 強い子 (ぐんぐん)	
沿革 平成21年4月7日 一関市立折壁小学校、同浜横沢小学校の統合により一関市立室根東小学校創立 平成21年9月16日 一関市長によるサテライト授業実施 平成22年11月14日 水生生物調査感謝状受賞 (県知事より) 平成26年11月13日 緑の少年団制服贈呈・復興記念樹桜の贈呈 平成27年3月12日 県南教育事務所長表彰「学力向上の取組に対して」 平成27年4月 一関市教育委員会研究指定「教育課程一般」となる 平成28年11月 一関市教育委員会研究指定「教育課程一般」学校公開実施	研究主題 筋道を立てて考え学びあい表現する子どもの育成 ～算数科の授業改善と学力向上の取組を通して～ 特色ある教育活動 1 学習指導の充実と学力向上 ・ 授業の充実 (「わかる授業」の工夫・実践) ・ 新学習指導要領移行措置への対応 ・ ことばの時間 (毎日昼10分) の充実 ・ 年3回のチャレンジテスト、年3回の家庭学習強化週間の実施 ・ 授業と連動した家庭学習の計画的な取組 2 心の教育の充実 ・ 「あかるく」「いつでも」「さきに」「つづけて」を意識した挨拶 ・ 目標冊数と読書内容を意識した読書活動 (朝読書、読み聞かせ) ・ 縦割り班活動 (清掃・全校遊び・室根山自然体験学習) ・ お互いを認め合える学級づくり 3 開かれた学校づくり ・ 室根山自然愛護少年団活動 (室根山山開き・クリーン作戦等) ・ 地域・家庭への情報発信 (校報・ホームページ・学年通信等)	

<h1>室根西小学校</h1>	〒029-1202 一関市室根町矢越字千刈田77 TEL: 64-2106 FAX: 64-3738 E-mail: muronishisho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長: 澤田 章弘 副校長: 及川 隆志 教職員数: 12名 児童数: 109名 学級数: 6
	教育目標 「豊かな心でやりぬく室根西の子」 < 努力・思いやり・考える > 「めざす子ども像」 考える子 明るい子 強い子	
沿革 平成21年4月、室根地域の旧上折壁小学校区、旧釘子小学校区、旧津谷川小学校区が統合したもので、室根町の西部から南部に位置し、行政区の11区から20区を範囲とする。この学区は、旧矢越村と旧大津保村の一部で構成され、2級河川の大川と津谷川流域の県道18号室根本吉線沿いに南北に伸びている。「森は海の恋人」植木活動の矢越山、つつじの美しい大森山をシンボルとする穏やかな農山村である。 保護者は会社員、団体職員、公務員が多く、ほとんどの家族が三世同居である。学校教育に対しては、関心が高く、学校行事やPTA活動に大変協力的である。	研究主題 「ことば」の力を育てる指導のあり方 ～国語科における言語活動の充実を目指して～ 特色ある教育活動 (1) 学びの力をつける ・ 日々の授業の充実 ・ 学習訓練、学び方の徹底 ・ 家庭学習の徹底 ・ 体験的な学習の推進 (2) 心の力をつける ・ あいさつ運動の徹底 ・ 復興指導の推進 ・ 読書活動の推進 ・ 道徳指導の推進 (3) 暮らしの力をつける ・ 防災教育の充実 ・ 安全指導の徹底 ・ 体力づくりの推進 ・ 食育指導の推進	

<h1>川崎小学校</h1>	〒029-0202 一関市川崎町薄衣字泉台50 TEL : 43-3113 FAX : 43-3398 E-mail : kawasakisho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：藤野 清 貴 副校長：菅野 美保子 教職員数：14名 児童数：118名 学級数：8
	<p>教育目標 「かしこく やさしく たくましく」 ～ふるさとを愛し、未来を創る川崎の子～</p> <p>研究主題 自分の考えを広げ、深める子どもの育成 ～「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を通して～</p> <p>特色ある教育活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 確かな学力 授業力の向上（わかる授業の創造、授業公開） 基礎基本の徹底（国語・算数テストの実施、CRT等の活用） 家庭学習の習慣化（家庭学習ガイドの活用、強化月間の設定） 言葉を大切に学習指導（読書に親しむ、言語活動を充実させる授業づくり） 「ことばの力を育てる教育」の推進（ことばのテキストを活用し、感性を養う） 2. 豊かな心 あいさつの励行（あかるく・いつでも・さきに・つづけて） 望ましい人間関係づくり（個を生かす学級経営、QU調査と教育相談） 思いやりや協力・感謝の気持ちを育む（道徳の時間の充実、体験活動、行事を通しての感動体験、縦割班活動） 3. 健やかな体 基礎体力の向上（マラソン・なわとび、外遊びの励行、教科体育の充実） 健康教育の推進（望ましい生活習慣の啓発、むし歯予防と肥満対策、食育指導） 安全教育の推進（交通安全指導、防災・防犯学習） 月1回、ノーメディアdayの取り組み（自己の規律力・抑制力の育成） 	
<p>沿革</p> <p>平成25.3 一関市立薄衣小学校閉校 一関市立門崎小学校閉校</p> <p>25.4 一関市立薄衣小学校・門崎小学校統合により一関市立川崎小学校開校 旧薄衣小学校校舎使用</p> <p>26.4 復興教育推進校として県から指定を受ける</p> <p>28.4 市から2年間の研究指定を受ける</p> <p>29.10 学校公開研究会（算数）</p>		

<h1>藤沢小学校</h1>	〒029-3405 一関市藤沢町藤沢字仁郷50-1 TEL : 63-2011 FAX : 63-2018 E-mail : fujisho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：須藤 壽 弘 副校長：横田 千賀子 教職員数：19名 児童数：193名 学級数：10
	<p>教育目標 「明るい笑顔」と「学ぶ喜び」にあふれた学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 課題を追究する子ども ○ 思いやりの心をもつ子ども ○ 体と心をきたえる子ども <p>研究主題 子どもが楽しく進んで参加する授業の在り方 ～ユニバーサルデザインの授業づくりと環境設定を通して～</p> <p>特色ある教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎学力向上 <ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた指導（TT指導・少人数指導）の取り組み ・漢字・計算等の定着に向けた「はばたきテスト」の実施 ・小中連携による家庭学習強化週間の取り組み ◎児童主体の児童会行事 <ul style="list-style-type: none"> ・1年生を迎える会 6年生を送る会 ・児童総会 ◎縦割り班による異学年交流 <ul style="list-style-type: none"> ・縦割り弁当 ・なわとび集会 ◎お年寄りや地域の方々との交流 <ul style="list-style-type: none"> ・祖父母学級 ・運動会・学習発表会への招待 	
<p>沿革</p> <p>平成21年4月1日 旧藤沢・徳田・保呂羽・大籠の4つの小学校が統合し、新「藤沢町立藤沢小学校」として開校する。</p> <p>平成23年3月11日 東日本大震災により校舎が損傷し、3階が使用不能となる。</p> <p>平成23年9月26日 市町合併により「一関市立藤沢小学校」となる。</p> <p>平成24年3月 校舎の復旧工事が終了する。</p> <p>平成25年10月22日 一関市教育委員会指定学校公開研究会を開催する。</p> <p>平成27年4月1日 聴覚障がい特別支援学級が開設される。</p> <p>平成29年4月1日 肢体不自由特別支援学級が開設される。</p>		

黄 海 小 学 校

〒029-3311
一関市藤沢町黄海字天堤11-1
T E L : 63-2017 F A X : 63-3430
E-mail : kinosho@city.ichinoseki.iwate.jp

校 長：和 田 敦 子
副 校 長：菅 原 秀 文
教職員数：14名
児 童 数：91名 学級数：8



沿 革

明治6年長昌寺本堂を借用し公立黄海小学校創立。昭和22年黄海村立黄海小学校となる。昭和30年町村合併により藤沢町立黄海小学校、昭和48年に曲田小学校が黄海小学校と統合、平成23年には市町合併により一関市立黄海小学校と改称し現在に至っている。

昭和49年創立100周年記念式典挙行。昭和50年に新校舎、平成2年屋内体育館竣工。平成23年東日本大震災により校舎、体育館が被害を受け改修。

平成3年には博報賞並びに文部大臣奨励賞を受賞している。

教育目標

心身ともに健康で 【よく考える子ども】
自主的精神に満ちた 【助け合う子ども】
人間性豊かな児童の育成 【たくましい子ども】

研究主題

主体的に学び、確かな学力を身につけていく子どもの育成
～「わかった」「できた」「もっと学びたい」を
実感させる授業をめざして～

特色ある教育活動

1. 勤労体験学習（キャリア教育の一環として）
「ぴかぴか田んぼ」における稲作体験と高齢者との交流活動
並びに学校園における畑作体験活動
2. 挨拶の響き合う学校
P T A、地域と連携した挨拶運動の推進
3. 地域との絆活動（餅文化を中心とした食育教育の一環として）
地域の方々を招き、感謝の気持ちを伝える収穫祭の実施
4. ボランティア活動
児童会ボランティア活動（ごみ拾い、ガードレール清掃等）
ベルマーク収集活動
5. 縦割り班活動
児童会縦割り班での清掃活動や集会活動、奉仕活動の実施
6. 環境美化活動
学校花壇作りを中心とした花いっぱい学校づくり
7. 伝統的文化活動の取組
鶏舞支援隊から学ぶ鶏舞の伝承

新 沼 小 学 校

〒029-3402
一関市藤沢町新沼字関田51-2
T E L : 63-2016 F A X : 63-2185
E-mail : niisho@city.ichinoseki.iwate.jp

校 長：佐 藤 紹 栄
副 校 長：岩 淵 計
教職員数：10名
児 童 数：26名 学級数：5



沿 革

明治6年に第7大学区第20中学区新沼小学として創立。明治24年に八沢村新沼尋常小学校と改称、明治44年に新沼尋常高等小学校となる。昭和22年4月に八沢村立新沼小学校と改称し、市町村合併により昭和30年4月藤沢町立新沼小学校、平成23年9月一関市立新沼小学校となり現在に至っている。

昭和48年の創立百周年に合わせてプールが完成、昭和61年に特別教室棟落成、平成元年に屋内体育館竣工。平成14年2月には木造二階建ての新校舎(管理・普通教室棟)が落成している。

昭和43年より地域の方の指導を受けながら、俳句づくりに取り組んでいる。各種俳句大会等に応募・入賞するなど、地域民と児童が楽しみながら活動を続けている。

教育目標

「夢のつぼみは光に燃えて、さあ挑戦！」
に 人間性豊かで
い 命を大切にし (体)
ぬ ぬくもりあふれる心と (徳)
ま 学びの力をもつ子ども (知)

研究主題

楽しんで友達と関わり合い、自分を表現する子どもの育成
～外国語（活動）を通して～

特色ある教育活動

1. 学力向上
・「わかる授業」の展開
・個に応じた指導の工夫、複式指導
・音読、詩の暗唱、俳句作りへの全校での取組
2. 豊かな心の育成
・あいさつ運動の推進
・読書活動、音楽芸術活動の推進
・伝統芸能（鶏舞）への取組
・高齢者との交流や地域を知る体験活動の推進
・異年齢交流（縦割り清掃活動、地区別集団登校等）の取組
3. 開かれた学校づくり
・地域民との交流（体験活動、運動会等）
・地域人材の活用と連携
・校報の全戸配布

(2) 中学校

<h1 style="text-align: center;">一関中学校</h1>	〒021-0901 一関市真柴字中田18 TEL : 23-5120 FAX : 23-4864 E-mail : kanchu@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：福井 信夫 副校長：佐々木 哲 教職員数：24名 生徒数：243名 学級数：11
		<p>教育目標 自ら求めて知性を磨き、心身を鍛え、心豊かに生きる生徒の育成を期す。 目指す生徒像 (1)「知」…知性豊かな生徒 (2)「徳」…心の温かい生徒 (3)「体」…体力のみなぎる生徒 (4)「気」…気力あふれる生徒</p> <p>研究主題 「考える力」を身に付けた生徒の育成 ～思考を揺さぶる場の工夫を通して～</p> <p>特色ある教育活動</p> <p>(1) 安全・安心な学校づくりの推進 安全バッジ・ヒヤリマップの活用、関中安全宣言等による安全意識の高揚 いじめ防止基本方針・思いやり宣言に基づく安心な学校づくり</p> <p>(2) 学力向上 課題解決学習を基本とした「わかる授業」の実践 表現を通しての考える力の育成、寺子屋タイム（数学）の活用 授業と連動した家庭学習・補充学習の強化</p> <p>(3) 学校適応の工夫 生活リズム、人間関係形成能力、社会的スキルの醸成 カウンセリングマインドを基盤とした生徒指導・学級づくり 支援体制の構築、家庭への啓発と関係機関との連携</p> <p>(4) キャリア教育の推進 基本的な生活習慣、コミュニケーション能力、勤労観、職業観、将来設計力の醸成 1年「フィールドワーク」、2年「5日間の社会体験学習」 3年「キャリアリサーチ」、夢出前授業、ノーメディアデー</p> <p>(5) 復興教育の推進 「命と心」…「安全・安心な学校づくり」の推進、道徳教育、思いやり宣言 「人と地域」…「キャリア教育」の地域貢献 「防災と安全」…自然災害の理解、非常時に生き抜く力の習得、安全宣言</p>
<p>沿革</p> <p>昭22.4.1 学制改革により一関町立一関中学校創立 23.4.1 市制施行で一関市立一関中学校と改称 27.7.11 旧校舎に新築移転 42.10.9 創立20周年記念事業を実施 56.1.16 新校舎竣工し、移転 平6.3.16 屋内運動場改築竣工 16.7.29 第51回県中総体軟式野球優勝 20.3.22 文部科学省英語教育優良校受賞 20.7.1 第57回読書教育賞外国語教育部門最優秀賞 21.4.1 文部科学省キャリア教育支援事業指定校 23.3.25 武道場・新部室完成 23.8.10 第41回東北中総体男子バスケットボール部第3位 25.9.15 全日本吹奏楽コンクール東北大会銅賞 26.9.27 全日本合唱コンクール東北支部大会銅賞 27.9.26 全日本合唱コンクール東北支部大会銅賞 28.9.24 全日本合唱コンクール東北支部大会優良賞 29.9.30 全日本合唱コンクール東北支部大会優良賞 29.11.27 一関市教育委員会指定学校公開研究会 29.12.9 創立70周年記念式典開催</p>		

<h1 style="text-align: center;">磐井中学校</h1>	〒021-0061 一関市山目字館46-1 TEL : 23-5233 FAX : 23-7957 E-mail : iwaichu@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：皆川 啓 副校長：高橋 健 教職員数：38名 生徒数：489名 学級数：17
		<p>教育目標 豊かな心と創造性を持ち、心身共に逞しく自己を鍛える生徒の育成 (1) 磨く知性…自ら求めて学び、未来を拓く生徒 (2) 豊かな感性…自他を敬愛し、思いやりのある生徒 (3) 鍛える身体…自ら心身を鍛え、健康な生徒</p> <p>研究主題 とともに高め合う学習集団の育成 ～ユニバーサルデザイン化による授業づくりを通して～ 研究内容と方法は以下の通り (1) 校内研究会の実施（全体研を年に3回、1人1回研究授業） (2) 指導・授業実践 「授業のユニバーサルデザイン化」の具体化 (3) 「ととともに高め合う学習集団の育成」についての研究 研究主題に迫るための「教材開発」・「単元のデザイン」・「評価」</p> <p>特色ある教育活動</p> <p>(1) 学力の向上と進路指導の充実 授業改善を進めることで授業力を高め、学びを実感できる授業を実践する。授業規律の充実と家庭学習の定着を目指し、「学びの習慣」を図る。英数を中心に、少人数やTT等協働による指導を充実する。</p> <p>(2) 学校生活の基盤の構築を目指した凡事徹底の6項目 ①挨拶・礼儀 ②時間を守った行動、整然とした集合・整列 ③正しい服装、身だしなみ ④学習規律、家庭学習の習慣化 ⑤清掃、整理・整頓 ⑥元気の校歌、歌声</p> <p>(3) 豊かな心を育む教育の充実 感動する心、正義感・公平さ、生命や人権を尊重する倫理観、共生や寛容など、豊かな道徳的価値を備えた人間性をはぐくむ、道徳教育の推進。</p>
<p>沿革</p> <p>南校舎（平成27年完成） 平成27年3月末をもって、一関市立山目中学校と一関市立中里中学校を閉校し、平成27年4月に、統合校として、山目中学校校地内に新設。 平成27年度1学期 南校舎使用開始 平成27年度3学期 北校舎使用開始 平成28年度8月 体育館屋根改修工事終了 平成28年度末 テニスコート完成</p> <p>1年生5学級、2年生5学級、3年生5学級、特別支援教育学級2学級の計17学級である。 平成29年度は運動部の活躍が目覚ましく、東北大会や全国大会（水泳・柔道）に出場した。また、東日本合唱祭では参加団体との合唱交流を行い、全校をあげて合唱のレベルアップが図られた。</p>		

一関東中学校

〒029-0132
 一関市滝沢字寺田下81-2
 TEL : 23-3411 FAX : 23-5430
 E-mail : higashichu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：狩原 雅裕
 副校長：勝部 孝行
 教職員数：14名
 生徒数：93名 学級数：5



沿革

平成20年4月1日
 一関市立真滝中学校、同弥栄中学校の統合により創立。校舎は真滝中学校敷地内に設立。
 平成20年4月5日
 開校式
 平成20年4月26日
 一関東中学校PTA結成総会
 平成21年5月
 校庭造成・部室棟完成
 平成21年12月6日
 落成式
 平成22年4月19日
 学校給食開始
 平成27年3月
 一関市立一関東中学校同窓会設立



校訓

「識己研能」(己を識り能を研く)

教育目標

- ・ 知の研鑽「自ら求め、研学する生徒」
- ・ 清澄な心「自ら求め、心を耕す生徒」
- ・ 壮健な体「自ら求め、身体を鍛える生徒」

今年度の重点

- (1) 実効性ある「まなびフェスト」の徹底
 - 1 「わかる授業」に向けた研修の充実
 - 2 いじめ防止基本方針に基づく未然防止
 - 3 自治的な生徒会活動の支援
 - 4 体力向上や運動に親しむ環境づくり
 - 5 学校評価の適切な運用
- (2) 学校における「働き方改革」の積極的な試行
 - 1 出勤時刻、退庁時刻の把握(タイムレコーダー)
 - 2 週休日等の出勤に対する振替休日の確実な取得
 - 3 月曜日の生徒下校時間を15:30に設定
 - 4 多忙化解消のための教育活動及び業務の改善

研究主題

自ら学び続ける生徒の育成
 ～わかる授業におけるお互いの大切さを認め合える活動の工夫を通して～

特色ある教育活動

統合10年目を迎える。真滝、弥栄両地区に伝わる郷土芸能「鶏舞」に、伝承活動の一つとして全校生徒で取り組んでいる。今年度は、学校における「働き方改革」の積極的な試行に取り組んでいる。

桜町中学校

〒021-0821
 一関市三関字桜町39-2
 TEL : 23-5249 FAX : 23-8023
 E-mail : ochu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：小野寺 孝
 副校長：高瀬 哲敏
 教職員数：24名
 生徒数：298名 学級数：11



沿革

昭和26.11 一関市立桜町中学校創立
 34.4 学区変更により上の橋以北を編入
 58.3 新校舎落成
 59.3 保健体育優良校全国表彰
 平成 5.8 新体育館完成
 10.10 第51回全日本合唱コンクール全国大会銅賞
 11.10 第52回全日本合唱コンクール全国大会銅賞
 12.10 第53回全日本合唱コンクール全国大会銀賞
 13.11 創立50周年記念式典
 14.10 第55回全日本合唱コンクール全国大会銀賞
 15.7 岩手県中学校総合体育大会バスケットボール男子優勝
 15.11 全日本合唱コンクール全国大会銅賞
 16.9 N.H.K.学校音楽コンクール東北ブロック大会奨励賞
 16.9 全日本合唱コンクール東北大会銀賞
 18.2 岩手県中学校バスケットボール選抜大会男子優勝
 18.8 全国中学校サッカー大会出場
 20.10 第61回全日本合唱コンクール全国大会金賞
 21.10 第62回全日本合唱コンクール全国大会金賞
 21.11 岩手県教育表彰(音楽活動)
 22.7 岩手県中学校総合体育大会女子ソフトテニス優勝
 22.8 N.H.K.学校音楽コンクール岩手県大会金賞
 22.9 第62回全日本合唱コンクール東北大会銀賞
 23.9 第63回全日本合唱コンクール東北大会銅賞
 23.11 創立60周年記念行事の開催
 24.2 岩手県中学校バスケットボール選抜大会男子優勝
 25.8 全国中学校バスケットボール大会出場(男子)
 26.11 岩手県新人ソフトボール大会準優勝
 27.7 岩手県新人レジャーボール大会準優勝
 27.10 トボール大会3位(女子)
 28.2 特別教室棟完成
 29.1 岩手県合唱小アンサンブルコンテスト 金賞
 29.9 第69回全日本合唱コンクール東北支部大会 優良賞

教育目標

知育・徳育・体育の調和ある発達を図り、心身共に健全で人間性豊かな行動力のある生徒を育成する。

- (1) 思慮深く創造性のある生徒(知育)
- (2) 心豊かで思いやりのある生徒(徳育)
- (3) 健康で明るく気力のある生徒(体育)
- (4) 規律を重んじ協力して実践する生徒(行動力)

研究主題

「豊かな心を育む生徒の育成」
 ～道徳的価値の自覚を深める指導方法の工夫を通して～

特色ある教育活動

- 確かな学力をつける学習指導
 - ・ 学習の基本の徹底…3分前学習で心の準備、チャイムで授業開始
 - ・ 授業改善の取組…「数」「英」で少人数指導、わかりやすい授業の研究
 - ・ 家庭学習の取組…「若葉ノート」「青葉ノート」「桜ノート」
 - ・ 朝読書の取組…「朝読書のまとめ」の記入
 - ・ 各種検定の奨励…漢検・英検・数検・歴検・理検・P検
- 豊かな心を育てる活動
 - ・ 生徒会活動の活発化…「挨拶」「思いやり」「行事」「委員会」「部活動」(PTA等とタイアップしたあいさつ運動等)
 - ・ 道徳教育の充実
 - ・ 師弟同行の清掃
 - ・ 教育相談…スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーとの連携
 - ・ 合唱交流会に向けた合唱の日常化…終学活時の合唱タイム等
- 健やかな体を育てる活動
 - ・ 生徒と共に短時間でも集中して行う部活指導
 - ・ 交通安全教室、登下校時の安全指導、危険箇所の点検
 - ・ 生活リズムのチェック…「生活リズム調査」を活用した保健指導
 - ・ 食の授業、薬物乱用防止講話、生と性の授業、救命救急講習、メディアとの上手なつきあい方

<h1>萩 荘 中 学 校</h1>	〒021-0902 一関市萩荘字境ノ神240 T E L : 24-2324 F A X : 24-3294 E-mail : hagichu@city.ichinoseki.iwate.jp	校 長：今 野 利 昭 副 校 長：佐々木 工 教職員数：19名 生 徒 数：191名 学級数：8
	<p>教育目標 中学生としての誇りと責任をもち、調和のとれた人間性豊かな生徒の育成に努める。</p> <p>具体目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 明るく 心豊かな生徒…………… (誠実) 2. 意欲に燃え 学習にひたむきな生徒…………… (探究) 3. 気力に満ち 体力のある生徒…………… (健強) <p>研究主題 主体性を育む学習指導の在り方 ～「自分の考えを持ち、深める」場面の工夫を通して～</p> <p>特色ある教育活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 郷土芸能伝承活動（鶏舞） 郷土芸能委員会を中心に練習や衣装管理を行い、毎年運動会で生徒全員による鶏舞を披露している。 2. 親子ふれあい共同奉仕作業 毎年、春と秋の2回、親子による校地内の環境整備作業を行っている。また、秋には親子で資源回収作業に取り組んでいる。 3. 地域との連携 萩荘祭りや野焼祭りへの参加、老人クラブの方々を講師に招いてのしめ縄作りなど、地域との連携に力を入れている。 	
<p>沿 革</p> <p>昭和45.4 一関市立萩荘第一中学校、同第二中学校合併統合中学校創立、一関市立萩荘中学校と称す。</p> <p>46.7 新校舎、プール竣工</p> <p>57.8 奈良県での全国大会に鶏舞出演</p> <p>平成元.7 岩手県中学校総合体育大会籠球女子5連覇達成</p> <p>12.11 統合30周年記念式典挙行</p> <p>13.7 大規模改修工事完成</p> <p>18.8 岩手県中学校総合体育大会ソフトテニス男子団体・個人優勝、東北中学校ソフトテニス大会男子個人優勝</p> <p>19.7 岩手県中学校総合体育大会ソフトテニス男子個人優勝</p> <p>20.7 岩手県中学校総合体育大会ソフトテニス男子個人優勝</p> <p>21.8 全国中学校ソフトテニス大会男子団体第5位</p> <p>21.9 岩手県中学校英語弁論大会第3位、全国大会に出場</p> <p>23.3 体育館完成</p> <p>24.9 平成24年「わたしの主張」一関地区大会最優秀賞</p> <p>25.3 ソフトテニスコート3面整備</p> <p>26.11 岩手県新人大会卓球男子団体 準優勝</p> <p>27.7 岩手県中学校総合体育大会卓球男子団体優勝</p> <p>28.7 岩手県中学校総合体育大会卓球男子団体優勝</p> <p>女子個人優勝、全国大会に出場</p> <p>29.7 岩手県中学校総合体育大会卓球女子個人3位</p>		

<h1>厳 美 中 学 校</h1>	〒021-0101 一関市厳美町字上ノ台45-1 T E L : 29-2016 F A X : 29-3190 E-mail : genchu@city.ichinoseki.iwate.jp	校 長：鈴 木 利 典 副 校 長：菅 原 宰 喜 教職員数：13名 生 徒 数：97名 学級数：4
	<p>教育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理想に燃え、たくましい生徒 ・よく学びよく考える生徒 ・明るく、心豊かな生徒 <p>めざす生徒像 理想に燃え、仲間と共に励ましあい、自己を磨く生徒</p> <p>研究主題 学習意欲を高め、基礎・基本の定着を図る学習活動のあり方 ～わかる授業作りと学習の基礎・基本を意識した指導を通して～</p> <p>特色ある教育活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心身共に健康な生徒の育成 望ましい人間関係、自主的な判断と行動を実践活動を通し育成 2. 確かな学力の定着 進んで学ぶ意欲を育てる授業の創造 3. 復興教育の推進 命を大切に生き抜く力、自らの在り方、生き方を考えさせるための復興教育の推進 4. 本寺中学校との統合推進 本寺中学校との統合を学校経営活性化会に生かす 	
<p>沿 革</p> <p>昭和49年 旧厳美・山谷・達古袋の中学校が統合し、新設の厳美中学校として開校、学校給食開始（市内唯一）</p> <p>50年 校章、校歌制定・校旗樹立式</p> <p>58年 統合10周年記念式典挙行</p> <p>平成5年 統合20周年記念式典挙行</p> <p>8年 新校舎完成・移転完了</p> <p>9年 体育館完成・新校舎落成記念式典</p> <p>15年 学校評議員設置 統合30周年記念式典挙行</p> <p>22年 県中文祭鶏舞舞台発表</p> <p>29年 男子卓球全国大会出場</p> <p>30年 本寺中学校を統合</p>		

舞川中学校

〒021-0221
一関市舞川字中入92-8
TEL : 28-2823 FAX : 28-2118
E-mail : maichu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：佐藤 学
副校長：和賀 達也
教職員数：13名
生徒数：44名 学級数：4



沿革

昭和22年 4月 1日 舞川村字相川中入110番地、舞川青年学校内に舞川村立舞川中学校を創設
27年 8月 16日 舞川村字相川中入108番地21に舞川中学校新校舎が完成
30年 1月 1日 市町村合併により一関市に編入、一関市立舞川中学校と改称
42年 3月 10日 県立一関高等学校校定時制舞川分校の閉校に伴い本校校舎に移管使用
53年 9月 19日 本校創立30周年記念式典挙行
62年 3月 22日 新屋内体育館落成
平成 8年 9月 4日 プール設置
9年 11月 30日 創立50周年式典挙行
13年 2～3月 技術室・資料館解体工事
15年 2月 職員トイレ簡易水洗化改修
17年 8月 校舎外壁改修工事（正面完了）
18年 8月 校舎外壁改修工事・窓枠サッシ改修（廊下側）
19年 8月 校舎外壁改修完了、音楽室・美術室・屋根補修
20年 9月 体育館屋根補修
21年 9月 音楽室・図書室改修
22年 3月 配膳室新設、特別支援学級・相談室改修
23年 4月 図書室・技術室耐震工事完了
24年 12月 水道切替工事完了
25年 3月 校長室・会議室耐震工事完了
26年 1月 保健室耐震工事完了
27年 2月 校舎内バリアフリー工事
28年 4月 創立70周年目を迎える
29年 11月 創立70周年記念行事開催

教育目標

1. 基本目標
「心豊かで、知性を磨き、たくましく実行力のある生徒」
2. 具体目標
(1) 豊かな心を持ち、互いに励まし合う生徒
(2) 深く考え、進んで学習に取り組む生徒
(3) 心身共に健康で、進んで奉仕する生徒

研究主題

1. 研究主題
「意欲的・主体的に学習に取り組む生徒の育成」
～道徳の授業実践を通して～
2. 研究内容
(1) 道徳の時間の授業改善
(2) 新しい学習指導要領に沿った道徳教育全体計画・年間指導計画の見直しと作成
(3) 道徳の評価の客観性を高めるための工夫

特色ある教育活動

1. 愛郷心、思いやりの心の育成
2. 花と緑に包まれた花いっぱい運動の実践
3. 地域にも働きかける 530（ゴミゼロ）運動の推進
4. 地域体験、郷土に伝わる文化の伝承
5. 勤労、責任、礼儀を学ぶ中でふれあいを深める体験学習

花泉中学校

〒029-3105
一関市花泉町涌津字古川8番地
TEL : 82-5411 FAX : 36-1072
E-mail : hanachu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：横田 一平
副校長：高橋 弘寿
教職員数：30名
生徒数：314名 学級数：14



沿革

平成17年 4月 1日、花泉南中学校と花泉北中学校が統合し、町内唯一の中学校として開校した。町内6つの小学校（永井、涌津、油島、花泉、老松、金沢）の児童が本校へ進学しており、学校に対する地域住民の関心も高く本校の教育活動への期待が大きい。
「文武両道・花と歌」を合い言葉に教育活動を展開している。特に合唱活動では合唱部が全日本合唱コンクール東北大会へ6年連続出場するなど実績を重ねており、あいさつ運動と合わせ本校の伝統として脈々と引き継がれている。また、最近では女子卓球団体や剣道女子団体で東北中総体出場を飾るなど運動部の活動も活発で、これまで多くの部が各種大会で成果を挙げている。特に、平成29年度は、ソフトボール部が県中総体優勝、東北大会準優勝、全国大会出場、県新人大会準優勝と輝かしい成績を残した。

教育目標

- 人間性豊かな心を持ち、たくましい実践力のある生徒の育成
- 1 自ら考え、進んで学ぶ生徒
 - 2 礼節を重んじ、勤労と奉仕に励む生徒
 - 3 心身を鍛え、向上意欲に燃える生徒

こんな生徒を育てたい

- 基本的な生活習慣が身についている生徒
- 基本的な学習習慣が身についている生徒
- 読書の習慣が定着している生徒
- 高い志を持ち、目標に向かって努力できる生徒
- 自分に厳しく他人に優しくできる、心豊かで思いやりに満ちた生徒
- 働くことをいとわず、進んで仕事をする生徒
- 命の大切さを理解し、健康や安全に気を配る生徒
- 地域を知り、地域の一員として自覚を持って行動する生徒

校内研究

- 一人一人が自ら学び続ける学習集団づくり
～基礎・基本を身につける指導の工夫～

合い言葉

ひたむきに 確実に

重点施策

- 1 生徒理解を基にした指導に努める。
- 2 自分の考えを相手に伝え、相手の考えをよく聞く指導に努める。
- 3 いじめや暴力を許さず、さわやかな良い人間関係を築くことのできる生徒を育成する。
- 4 安全な学校生活と、自他の生命を守り抜く防災教育・安全教育の充実を努める。
- 5 花中生としての誇りを持ち、未来を担う地域の人材としての生徒の育成に努める。
- 6 特別支援学級における特性に応じたきめ細かな指導と、通常の学級における特別な支援を要する生徒への支援の在り方を工夫し、教職員間での情報共有と共通実践に努める。
- 7 生徒の主体的な生活設計と実践、家族と共に過ごす時間の確保、教職員のワークライフバランスの保証のための取組を行う。
(情報モラル学習の充実、部活動休養日の遵守など)

大原中学校

〒029-0711
 一関市大東町大原字大明神25
 TEL : 72-2239 FAX : 72-3332
 E-mail : oharachu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：及川 賢一
 副校長：佐々木 匡人
 教職員数：13名
 生徒数：77名 学級数：4



沿革

- 昭22. 4. 1 大原町立大原中学校創立
- 23. 1. 1 内野分校（1・2年）開校
- 27.10.15 大原中学校本校舎新築完成（川内）
- 30. 4. 1 大東町立大原中学校に校名変更(町村合併)
- 44. 4. 1 曾慶中、本校に一部統合
大原、内野、曾慶各校舎設置
- 46. 4. 1 実質統合、新校舎完成（上ノ洞）
- 51. 9.29 岩手県算数・数学教育研究会
- 平元.11. 9 岩手県理科教育研究大会
- 5. 4. 1 平5・6中高教育課程研究指定
- 6.11.16 教育課程（進路）研究公開（県）
- 9. 9.29 県教育表彰「はばたき賞」受賞
- 11.11.20 統合30周年記念式典
- 13. 6.20 職場体験推進指定（文部科学省）
- 15.11.21 岩手県道徳教育研究大会
- 17. 1. 1 曾慶全域、学区外となる
- 17. 9.20 一関市立大原中学校に校名変更
（市町村合併）
- 19. 4. 1 前大原商業高等学校校舎に移転(大明神)

教育目標

人間尊重の精神に支えられた、民主的で創造豊かな、心身共に健全で意欲的な生徒の育成を期し、「考え、交わり、鍛え合う」生徒を育む。

具体的に

- 1 広く、深く考え（学力）
- 2 固く、親しく交わり（豊かな心）
- 3 強く、逞しく鍛え合う（気力・体力）

研究主題

確かな学力を育む指導のあり方

～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりを通して～

特色ある教育活動

本校の歴史と伝統及び生徒・地域の実態を踏まえ、生徒の「生きる力」を育成し地域を愛し貢献する教育活動の創造に努める。

- ① 「心の通う挨拶 心を磨く清掃 心に響く合唱のできる学校」をめざす「知る・感じる・考える・伝える」活動を進める。
 ア 体験活動…社会体験学習、環境整備
 イ 進路学習…親子進路学習会、先輩と語る会、全校進路学習会
 ウ 地域連携活動…地域行事参加、地域団体との協力、ボランティア活動
 エ 朝読書の推進…年間読書量の目標設定
- ② 東日本大震災からの学び
 ア 被災地との関わり…ボランティア活動、いわての復興教育
 イ 防災教育の推進…地域と連携した全校防災学習、緊急集合訓練

大東中学校

〒029-0523
 一関市大東町摺沢字上堺ノ沢21-1
 TEL : 75-2227 FAX : 75-2593
 E-mail : daichu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：藤原 良治
 副校長：小野 吉誉
 教職員数：20名
 生徒数：172名 学級数：8



沿革

- 昭32. 4. 1 摺沢中・渋民中を統合。大東町立大東中学校開校
- 44. 4 曾慶中、本校に一部統合
- 45.10 県指定国語教育研究会
- 47～48 文部省指定国語教育研究会
- 53.10 県図書館教育研究大会
- 56.10 県道徳教育研究大会
- 62.10 創立30周年記念事業
- 63.11 県指定特別活動研究公開
- 平 4.10 県図書館教育研究大会
- 5.11 県性教育研究大会
- 13.12 新校舎完成
- 14. 1.22 新校舎入校式
- 15. 6 校庭工事完了
- 15.10 フェール完成
- 15.11.22 校舎等落成式
- 17. 1. 1 曾慶全域、本校学区となる
- 17. 9.20 一関市立大東中学校に校名変更（市町村合併）
- 19.11.11 創立50周年記念事業
- 21. 4 特別支援情緒学級開設
- 25.12 毎日カップ体力づくり全国優良賞
- 26. 4. 1 摺沢中学校を統合
- 26. 8 全国中学校卓球大会徳島大会男子卓球部団体出場
- 27.11 全日本学校歯科保健優良校文部科学大臣賞受賞
- 28. 8 全国中学校卓球大会富山大会女子卓球部団体出場
- 29. 8 全国中学校卓球大会大分大会女子卓球部団体・個人出場
- 30. 3 全国中学校選抜卓球大会京都大会女子卓球部団体ベスト8

教育目標

- 英知 ○学習習慣が確立し、意欲的に学習に取り組み、知性・能力を高める生徒
 ○豊かな創造力で、自ら生活の向上に努める生徒
- 健体 ○心身ともに健康で体力・気力の充実した生徒
 ○生命を大切にし、心身ともに健全な言動ができる生徒
- 鉄志 ○強い意志とたくましい実践力を身につけ継続できる生徒
 ○将来の希望・目標をもち、自ら進路を開拓しようとする生徒
- 玉情 ○人間・自然・文化を愛し、心豊かな生活ができる生徒
 ○お互いのよさを認め合い、向上し合える人間関係づくりができる生徒

研究主題

- (1) 研究主題
『確かな学力を育成するための学習指導のあり方』
～自立的な学習をひきだす手立ての工夫～

- (2) 研究の内容
 - ① 授業改善
 - ② 短期シラバスの活用
 - ③ 学年の特性を考慮した取組
 - ④ 自己マネジメント
 - ⑤ 各種調査結果を活用した教育実践法

特色ある教育活動

- 1 行事によっても生徒を育てる観点から6期制による教育活動の展開を行う。1年を6つに分けて、それぞれにテーマを設定し、学習・生活両面にわたり充実を期して指導を行う。
 〈テーマ〉年間テーマ「自分への挑戦」
 第1期 新しい出発 第4期 連帯の喜び
 第2期 目標への挑戦 第5期 自己表現への飛躍
 第3期 自立の生活 第6期 誇りある大東中
- 2 体験学習の充実
 社会体験学習（大東地域内で） 校外体験学習
- 3 活発な生徒会活動
 - (1) 集団規律の高揚
 - (2) 委員会活動による生活の質の向上
 - (3) ボランティア、福祉・奉仕活動、学区内の地域行事への参加・協力

興田中学校

〒029-0602
 一関市大東町鳥海字小山14-5
 TEL: 74-2018 FAX: 74-3424
 E-mail: okichu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長: 伊東 孝 志
 副校長: 蒲生 正 光
 教職員数: 12名
 生徒数: 66名 学級数: 4



教育目標

豊かな人間性と進取の気性を持ち、主体的に社会の発展に寄与する「生きる力」を身につけた生徒の育成
 めざす生徒像

- ① 主体的に学び、深く考える生徒
- ② 思いやりをもち、互いに認め合える生徒
- ③ 自らを鍛え、健康でたくましい生徒

研究主題

主体的・対話的に学びあう学習集団の育成
 ～聞く・書く・話す活動を通して～

特色ある教育活動

- ①について (学力向上)
 - ・「わかりたい、認められたい」という生徒の願いに応える教育の推進
 - ・授業と日常生活両面からの学習習慣形成
 - ・平均値だけでなく生徒個々の特質に焦点を当てた諸検査の分析
 - ・読書活動と「なたもた作文」を両輪とした表現力の育成
- ②について (生徒会活動)
 - ・活発なあいさつ運動
 - ・互いを認め合う活動や日常を振り返る活動の活発化
 - ・デイサービスセンター等の福祉施設との交流
 - ・合同奉仕活動や合唱交流を通して小中連携
- ③について (健やかな体を育む活動)
 - ・生徒が安全にのびのびと活動できる環境づくり
 - ・部活動、特設陸上部の積極的な活動の推進
 - ・体力向上のための「自主トレ」の勧め
 - ・地域・家庭・小学校と連携した健康づくり

沿革

- 昭和22. 4 興田村立興田中学校創立
 (中川、天狗田、丑石の3分室を設置)
 22. 5 興田村立興田中学校開校式
 25. 8 新校舎落成移転、分室の廃止
 30. 4 大東町立興田中学校と改称
 51. 4 新校舎(現校舎)落成
 55. 8 県中バレーボール男子優勝、全国大会出場
 平成元. 7 県中野球準優勝
 4.11 文部省指定「道徳教育」研究公開
 17. 9 一関市立興田中学校と改称
 19. 4 読書活動優秀実践校「文科大臣表彰」
 23. 3 第60回全国中学校新聞コンクール
 「新聞教育研究協議会賞」2年連続受賞
 23. 5 岩手県中文連「栄光賞」受賞
 25. 1 小さな親切「実行章」受賞
 25. 7 NHK放送コンテスト県大会最優秀賞
 26. 9 県中文祭標語の部最優秀賞
 27. 7 県中卓球男子団体準優勝、東北大会出場

千厩中学校

〒029-0803
 一関市千厩町千厩字上駒場195-5
 TEL: 53-2146 FAX: 53-2301
 E-mail: senchu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長: 鈴木 秀 行
 副校長: 吉田 均
 教職員数: 25名
 生徒数: 289名 学級数: 11



教育目標

東山の雄としての誇りを持ち、豊かな人間性に支えられた、よりよい中学校生活を目指し、知恵と心と体を鍛える生徒を育成する。

研究主題

学んだことを表現することができる生徒の育成
 ～学習活動における場の設定を通して～

特色ある教育活動

- (1) 確かな学力の定着と教科指導の充実
 - ・ひとりひとりの学習意欲を引き出す教科指導の工夫
 - ・教科指導における基礎・基本の定着
 - ・個に応じた指導と自学自習の習慣化
 - ・校内研修の充実
- (2) 信頼を深め、心の豊かさを育てる生徒指導
 - ・生徒ひとりひとりを大切に生徒指導
 - ・生徒の自主性を伸ばす生徒会活動の推進
 - ・復興教育の充実～社会体験活動、ボランティア活動
 - ・あいさつ教育の充実
 - ・一関清明支援学校千厩分教室との連携
 - ・インクルーシブ教育を通して生徒の心を育てる。
- (3) 健やかな体作りをめざして
 - ・安全な学校生活
 - ・地域と連携した部活動指導
- (4) 家庭や地域との連携
 - ・情報発信の工夫～校報、学年・学級通信の発行
 - ・開かれた学校～学校評議員、PTA地区集会

沿革

- 平成12年 4月 統合千厩中学校開校
 8月 ソフトボール部県大会、東北大会優勝 全国大会出場
 14年11月 校舎等落成式
 15年4月 学力向上フロンティアスクール県指定 (2年間)
 16年4月 少人数学級指定
 8月 ソフトボール部県大会、東北大会優勝、全国大会出場
 17年3月 校舎南側校庭整備
 9月 新市誕生、一関市立千厩中学校に改名
 18年4月 数学教科研究・市教委指定
 19年8月 ソフトボール部県大会優勝、全国大会出場
 21年4月 岩手県立清明支援学校千厩分教室設置
 22年4月 教育課程一般市教委指定(2年間)
 23年10月 学校公開研究会(教育課程一般)
 24年7月 通信陸上県大会低学年女子4×100mリレー1位
 25年8月 太陽光発電パネル工事着工(26年2月稼働)
 26年8月 ソフトボール・バドミントン男子ダブルス県大会優勝 東北大会出場
 26年9月 県新聞教育研究大会
 27年7月 ソフトボール部県大会優勝
 28年11月 県新人大会男子バドミントン部優勝
 29年6月 バドミントン部県中学校総合体育大会男子団体優勝
 11月 バドミントン部県新人大会 男子団体
 男子シングルス・ダブルス 優勝

<h1>東山中学校</h1>	〒029-0302 一関市東山町長坂字北山谷46 T E L : 47-2108 E-mail : higachu@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：鈴木 俊行 副校長：平野 純一 教職員数：19名 生徒数：159名 学級数：8
		教育目標 (1) 確かめる学習 「知育」 (2) 豊かな心 「徳育」 (3) 逞しい体 「体育」 (4) 節度ある生活 「規律」 研究主題 「自分の思いや考えを豊かに表現できる生徒の育成」 ～話し合い活動を通して～
沿革 昭43. 4 長坂、田河津、松川の三中学校を統合（名目）し、東山中学校創立。 44.12 校歌制定。（鈴木林蔵氏作詞、作曲） 45. 4 実質統合東山中学校発足。生徒数626名 48.10 県「道徳」講習会公開研究会開催。 49.10 県「理科」公開研究会開催。 53.10 文部省指定「生徒指導」公開研究会開催。 55.10 文部省指定「道徳」公開研究会開催。 62.11 創立20周年記念式典挙行。 平 2.11 県指定「教育課程」公開研究会開催。 9.11 創立30周年記念式典挙行。 17. 9 一関市との合併により一関市立東山中学校となる。 21. 3 第一体育館及びクラブハウス改築工事完了。 24.11 仮設校舎竣工。 25. 3 教室棟解体。 26. 3 新校舎完成。 27. 9 大規模改修等工事完了 29.10 創立50周年記念式典挙行	特色ある教育活動 1 読書活動の推進 ・師弟同行による全校朝の10分間読書の実施 2 ボランティア活動の推進 ・全校生徒による通学路美化、清掃活動 ・生徒会主催による資源回収を、PTAとの連携のもとに実施 ・生徒会が中心となった社会福祉施設との交流活動 ・年間を通じた書き損じはがきの回収 ・被災地支援のための募金活動 3 地域行事への生徒の積極的な参加 ・毎年開催の「唐梅館絵巻」祭に3年生が参加 ・各地区毎町民運動会に補助員として参加 4 総合的な学習における地域学習 ・1学年「東山を知る」～調査、研究活動 ・2学年「生き方を学ぶ」～地域内社会体験学習 ・3学年「生き方を考える」～課題研究と提言	

<h1>室根中学校</h1>	〒029-1202 一関市室根町矢越字五反田73-1 T E L : 64-2131 F A X : 64-3934 E-mail : murochu@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：熊谷 佳美 副校長：菅原 正浩 教職員数：14名 生徒数：103名 学級数：6
		教育目標 心身共に健康で、自ら行動できる人間性豊かな生徒の育成 (1) 意欲をもち、主体的に学ぶ生徒 (2) 心豊かで、思いやりのある生徒 (3) 体を鍛え、最後までやり抜く生徒 研究主題 学ぶ楽しさを実感できる生徒の育成 ～生徒が相互に関わりながら学び合う学習活動を通して～
沿革 昭46. 4. 1 統合室根中学校創立 48. 1.30 新校舎落成 48. 4. 1 実質統合中学校として発足 48. 8.13 屋内体育館完成 57.11.28 統合10周年記念式典 58. 1.12 柔剣道場完成 平 4.12. 5 統合20周年記念式典 9.10.24 文部省指定生徒指導総合推進校学校公開 10.11.30 クラブハウス完成 14.11.30 統合30周年記念式典 17. 9.20 一関市立室根中学校改称 17.12.18 全国中学校駅伝大会出場（男子） 19.12. 9 岩手県学校歯科保健最優秀校受賞 21.11.16 校舎耐震補強（建築）工事竣工 25. 4.21 盛岡一周継走大会優勝（女子） 25.10.10 一関市教育委員会指定学校公開 27.10. 4 東北PTA連絡協議会長表彰受賞	特色ある教育活動 (1) 学力向上を目指し、生徒個々の能力の伸長を図る学習の展開 (2) 信頼を深め、心の豊かさを育てる生徒指導 ・生徒理解に努め、温かい人間関係の基に展開される生徒指導 ・挨拶・歌声の響く学校、美しい学校を目指し、充実感・存在感がもてる活動の展開（合唱集会、生徒集会、花壇整備） (3) 自主的・積極的に実践する態度を育てる特別活動 ・喜び・充実感を味わえる2大行事（体育祭、文化祭）の実施 ・自主性を育て、連帯感を高める宿泊研修の実施（1、3年） ・生き方指導に根差した進路指導の充実（2年生：社会体験、3年生：先輩に学ぶ会）	

川崎中学校

〒029-0202
 一関市川崎町薄衣字上段1
 TEL : 43-3115 FAX : 43-3608
 E-mail : kawachu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：中嶋 真理
 副校長：宮川 琢夫
 教職員数：13名
 生徒数：87名 学級数：5



沿革

- 昭22. 4. 1 薄衣村立薄衣中学校、門崎村立門崎中学校開校
- 37. 4. 1 両校統合し、川崎村立川崎中学校と改称
- 40. 4. 1 川崎村立川崎中学校校舎落成
- 41. 2. 1 川崎中学校校歌制定
- 平 3.10.16 文部省指定 武道指導推進校学校公開
- 8.11. 1 文部省指定 道徳教育推進校道徳教育研究発表会
- 9. 6.18 環境省水質保全局 水環境賞受賞
- 14.10.25 創立40周年記念式典開催
- 15. 4. 1 岩手県内初の二学期制開始
- 17. 1.13 岩手県学校歯科保健最優秀校受賞
- 17. 9.20 市町村合併により一関市立川崎中学校と改称
- 21. 1.27 新グラウンド完成
- 21. 4.23 県内初の沖縄学習旅行
- 23.11. 9 新校舎落成
- 24. 3. 9 新体育館落成
- 24.11.10 落成式・創立50周年記念事業開催
- 25. 3.22 外構工事完了
- 26. 1.23 テニスコート完成
- 27.11. 6 一関市教育委員会指定学校公開研究会開催

教育目標

人づくり=幸せな学校

- ・よく学びとる生徒
- ・よく思いやる生徒
- ・よく鍛えみがく生徒

今年度の重点

- ① 「まなびフェスト」の徹底（目標達成型の学校経営）
- ② 家庭や地域との連携・協働（情報の発信と共有・開かれた学校）

研究主題

意欲的・主体的に学習に取り組む生徒の育成
 ～考えを交流する活動の工夫～

特色ある教育活動

- ① 家庭や地域と連携・協働した教育活動の展開
 - ・防災センターとの協働によるEポート大会への出場
 - ・子ども会育成会連合会との連携によるボランティア活動など、地域の様々なボランティア活動への積極的参加
 - ・消防署や防災センターと連携した防災教育
 - ・保育園・小学校と連携したノーメディアデーの実施
 - ・図書館と連携した読書活動の推進
- ② 将来を見つめ自己の生き方を考えるキャリア教育の実践
 - ・縦割り班での活動によるコミュニケーション力の育成
 - ・上級学校見学や職場体験を通じた人生設計のイメージ化
 - ・生徒会三大伝統などの実践による主体的な生活態度の育成
 - ・校内の温かい人間関係づくりと失敗を恐れない意識の醸成

藤沢中学校

〒029-3405
 一関市藤沢町藤沢字狩野40-3
 TEL : 63-2323 FAX : 63-2611
 E-mail : fujichu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：瀧野 澤 徹
 副校長：後藤 康
 教職員数：20名
 生徒数：176名 学級数：9



沿革

- 平16. 4. 1 旧藤沢・黄海の2中学校が統合し、藤沢町立藤沢中学校創立
- 11. 8 技術棟改修工事完了
- 17. 4.12 自転車マナーアップ指定
- 20. 8. 3 校舎移転
- 仁郷から藤沢字狩野40-3への校舎移転
- 22. 1.15 明るい選挙ポスター岩手県表彰
- 23. 9.26 合併により一関市立藤沢中学校となる
- 24. 3. 7 東日本大震災災害復旧工事完了
- 25. 7.10 創立10周年記念講演会実施
- 26. 8.18 屋内運動場耐震改修工事完成
- 30. 4. 1 難聴学級新設

教育目標

人間尊重の精神に徹し、豊かな人間性と創造性に富み、最後までやりとげるたくましい生徒を育成する。

	東皐の書より	目指す生徒像
知育	為己…己のために為す	学習に意欲的に取り組み自己実現を図る生徒
徳育	遂志…志を遂げる	目標を持って努力する生徒
体育	躍清…清々しく躍る	心豊かでたくましい生徒

研究主題

主体的に学び、考える生徒の育成
 ～言語活動を活かした授業改善を通して～

特色ある教育活動

- (1) まなびフェストの取組を通して、「知・徳・体」の調和のとれた生徒の育成、「生きる力」を育む教育課程の展開を図る。
- (2) 教職員が課題意識を持ち、連携して学校力向上（生徒の力をつける指導）を図る。
- (3) 家庭・地域と連携し、協力を得ながら相互交流の指導を行う。
 - ・野焼祭への参加（作品制作、セレモニーへの参加）
 - ・マーチング
 - ・オーストラリア・セントラルハイランズ市やベトナム・ホーチミン市の高校生・大学生との交流
 - ・藤沢町住民自治協議会「次世代プロジェクト事業」への参加

**県立
一関第一高等学校附属中学校**

URL : <http://www2.iwate-ed.jp/ic1-h/index.html>

〒021-0894
一関市磐井町9-1
TEL : 23-4411 FAX : 23-4413
E-mail : ic-h@iwate-ed.jp

校長：遠藤 可奈子
副校長：千田 幸喜
教職員数：20名
生徒数：239名 学級数：6



沿革

平成21年4月1日
岩手県立一関第一高等学校附属中学校創立
平成21年4月7日
開校式、入学式
平成21年4月25日
PTA結成総会
平成24年3月18日
第一回卒業式

教育理念

中高一貫教育のもと、特色ある教育活動を展開し、豊かな人間性と高い知性を合わせ持ち、社会の進歩と発展に貢献する次世代のリーダーを育成する。

教育目標

- (1) 豊かな感性と高い知性を持ち、心身ともに健康で明朗な生徒の育成
- (2) 高い志を抱き、自らの可能性に真摯に挑戦しようとする生徒の育成
- (3) 社会に貢献し、よりよい未来を切り拓くリーダーとなる生徒の育成
- (4) 自主自立の気概を持ち、創造性と進取の気象に富んだ生徒の育成

特色ある教育活動

- (1) チャレンジタイムの設定
 - ・国語・数学・英語において標準よりも多い授業数を設定している。
 - ・学習成果のまとめや発表を通して、情報処理能力、プレゼンテーション能力を育てている。
- (2) 高志プログラムの実施
 - ・次世代のリーダーを育成するために、中高一貫して人間性を高めるプログラム（高志プログラム）を実施している。
- (3) 附中タイムの設定
 - ・言語感覚を磨き、豊かな心を育成するために附中タイムを設定している。
- (4) 中高合同による行事
 - ・豊かな人間性を育むために、中高合同による学校行事や生徒会活動を実施している。
- (5) 学習相談や進路指導相談などの充実
 - ・個々の生徒が進路目標を達成できるよう、能力や適性に合った、6年間にわたる学習相談や進路相談などを実施している。

(3) 高等学校

**県立
一関第一高等学校**

URL : <http://www2.iwate-ed.jp/ic1-h/>

〒021-0894
一関市磐井町9-1
TEL : 23-4311 FAX : 23-4661

校長：遠藤 可奈子
副校長：木村 雅之(全日制)
 今野 雅之(定時制)
教職員数：全日制47名 定時制8名
職員数：9名
生徒数：全日制715名 定時制17名
学級数：全日制18 定時制4



沿革

本校は、明治31（西暦1898）年に岩手県一関尋常中学校として創設された。現在の校名に改称され、定時制課程が併設されたのは昭和23年であった。昭和25年には商業科が設置されたが、47年に同科の募集は停止となり、新たに理数科が設置され現在に至っている。
平成16年には、選抜高等学校野球大会で「21世紀枠」に選ばれ、木村正太投手を擁し49年ぶりに甲子園大会出場を果たした。
平成19年には県内に誇る最新式設備を備えた新校舎が完成した。
また、平成21年には、県内初の併設型中高一貫校となり、同じ敷地内で高校生と中学生がともに学んでいる。

教育目標

中高一貫教育を通じて豊かな人間性と高い学力を身につかせ、21世紀の社会を導くリーダーとなる。
・人間としての生き方を考え、生涯にわたり真摯に学び続ける意欲を育てる
・豊かな感性を持ち、他者を尊重しながら自己実現を目指すところを育てる
・自主自立の気概を持ち、進取の気性を持って社会に貢献する力を育てる

特色ある教育活動

〈全日制〉

1. 1年生は普通・理数科として募集しているが、2年生からは生徒の多様な進路に対応するため、2つの学科（普通科・理数科）と、普通科の中に3つのコース制（文Ⅰ・文Ⅱ・理系）を設けている。
2. 「文武両道」を具現化するため、50分7校時授業を実施し、授業時間の確保と、部活動・委員会活動等の充実を図っている。また、生徒会主催の行事についても、多様な行事を企画・実施している。
3. 創立百周年を機に、海外派遣、講演会などの人材育成事業を行っている。

〈定時制〉

1. 『生きる力』を育むため、「総合的な学習の時間」に学校と地域社会を結ぶ様々な体験学習を年10回程度実施している。
2. 45分授業を実施し、放課後に「バドミントン」「文化」等の部活動を実施している。

県立 一関第二高等学校 URL : http://www2.iwate-ed.jp/ic2-h/	〒021-0041 一関市赤荻字野中23-1 TEL : 25-2241 FAX : 25-5432	校長：中崎 ゆかり 副校長：菊池 俊昌 教職員数：63名 生徒数：644名 学級数：17
		

沿革

明治40年5月、郡立西磐井女子職業学校として創立。その後大正8年に県に移管され、一関実科高等女学校となり、その後一関高等女学校と改称される。昭和23年には一関第二高等学校となり普通科、農業科、土木科の学科を持つ総合高校として男女共学でスタート。昭和43年に農業科、生活科が一関農業高等学校として分離独立。さらに昭和53年には土木科が分離し、一関工業高校へ移管になる。

平成2年になり福祉教養科が新設される。平成16年に旧一関農業高校と統合し、総合学科が新設され、総合学科高校として新一関第二高校が開校する。平成29年に創立110周年を迎えた。

教育目標

教育基本法及び学校教育法の精神に則り、平和で民主的な国家及び社会の形成者として、真理と正義を愛し、自主的精神と強い意志を持ち、豊かな創造力に富む人間の育成をめざす。

- (1) 個性の尊重と調和
心身の健全な発達をはかり、個性を磨くとともに、社会の一員として調和のとれたたくましい人間を育成する。
- (2) 自主と自立
主体的、意欲的に学習する態度を身につけ、真理を探究し、社会に貢献できる人間を育成する。
- (3) 豊かな感性と創造力
豊かな感性と創造力に富んだ、意欲あふれる人間を育成する。

特色ある教育活動

- (1) 学習活動
総合学科高校として13年目を迎えて、より一層進路に応じた各系列の整備を推進し、多様な進路目標の実現を可能にする学習活動を展開。また、旧農業高校の流れを汲んだ「田植え」「稲刈り」「毛刈り」「収穫祭」等の行事や福祉教養化の流れを汲んだ「施設学習」も学習活動の一環として継続している。
- (2) 多彩な学校行事
クラスマッチや二高祭、関西方面・九州方面・シンガポールへの修学旅行と多彩。また卒業式における全校生徒による「第九」合唱は、合唱の町「一関」を象徴する伝統として継承されている。
- (3) 盛んな部活動
フェンシング部・卓球部をはじめ活発な運動部、音楽部、吹奏楽部等実力のある文化部、ともに活動が盛んである。

県立 一関工業高等学校 URL : http://www2.iwate-ed.jp/ict-h/	〒021-0902 一関市萩荘字釜ヶ淵50 TEL : 24-2331 FAX : 24-4540 E-mail : ict-h@iwate-ed.jp	校長：藤原 修 副校長：池田 明親 教職員数：52名 生徒数：424名 学級数：12
		

沿革

昭和34年、一関市立工業高等学校として電気科と電気通信科の2学科で開校、昭和49年には岩手県立一関工業高等学校となり、昭和53年には一関第二高等学校から土木科が移管、昭和62年には電子機械科が設置され、電気科・電子科・電子機械科・土木科の4学科の工業高校として現在に至っている。

同窓生は9千人を超え、両磐地区は及ばず広く県内外に有為の人材を輩出し、まさに工業立国日本を支えてきた学校である。

教育目標

スペシャリストとしての基礎力（学力・人間力）を充実させる。生徒の「知・徳・体」をバランスよく育み、将来、社会人としてたくましく生きていくことができる総合的な人間力を育成する。

- (1) 自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する能力。
- (2) 自らを律しつつ、他人と強調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性。
- (3) たくましく生きるための健康・体力。

特色ある教育活動

専門を生かした地元企業への就職をはじめ、県外大手企業、国家・地方公務員、四年制大学を始めとする上級学校への進学など、「高い学力を誇る工業高校」として県内のみならず全国的にも知られている。昨今、「有能なものづくり人材の育成」が求められる中、これに応えるべく、産・学・官の連携によるものづくり教育を推進し、技能士などの資格取得へ向けた取り組みを強化している。具体的には、アイデア・ロボットの製作、ものづくりコンテスト、いわて車いすフレンズ（壊れた車椅子を修理して海外に贈る）、保育園でのボランティア（園庭づくり、玩具づくり）など、専門を生かした幅広い活動を行い、一関市社会福祉協議会のボランティア指定も受けている。

県立 花泉高等学校 URL : http://www2.iwate-ed.jp/han-h/	〒029-3101 一関市花泉町花泉字林の沢17-9 TEL : 82-3363 FAX : 82-5448	校長：千葉 治 副校長：高橋 克壽 教職員数：17名 生徒数：112名 学級数：6
	教育目標 1 幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を育成する。 2 豊かな情操と道徳心を養うとともに、心身ともに調和のとれた人間を育成する。 3 勤労を重んじ、主体的に社会に寄与する人間を育成する。 4 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する人間を育成する。	
沿革 昭和23年 県立一関第一高等学校定時制課程普通科流れ分校発足 24年 県立花泉高等学校となる。開校式 26年 校舎落成記念式典 47年 商業科新設 51年 新体育館竣工 52年 創立30周年記念式典 62年 創立40周年記念式典・第二校舎落成 平成元年 情報処理科新設 9年 創立50周年記念式典 12年 セミナーハウス竣工 18年 商業科閉科 19年 創立60周年記念式典 29年 創立70周年記念式典	目指す学校像 1 学力向上に向けて積極的に努力する学校 2 規律ある生活態度、責任感と品位を重んじる学校 3 生徒の社会性の育成と多様な進路希望を実現できる学校 4 生徒の安全安心を確保し、保護者や地域から信頼される学校 特色ある教育活動 1 各学年1学級の募集定員であるが、一人ひとりに手をかけ、目をかけ、丁寧に指導を行うために各学年2学級の編成にしている。数学・英語では習熟度による授業を行ったり、学校設定科目「ベーシック」では進路別に細やかな指導を行ったりと、生徒の学力向上に成果をあげている。 2 「地域に根ざし、地域を支える存在」として、PTAや地域と連携し様々な行事に参加したり、ボランティア活動に積極的に参加したり、生徒はいきいきと活動している。地域の方々を講師に「地域学」を開講し、新たな発見と郷土愛を膨らませている。 3 進路においても就職希望者内定率100%達成はもとより、進学面においても四年制大学に5名の合格者を出すなど、充実した成果をあげました。今年度本校は「小規模を力にかえてやるぜ！花高！」をスローガンに、生徒自らが考え行動する機会をさらに増やして、昨年を上回る活動や実績を目指していきます。	

県立 大東高等学校 URL : http://www2.iwate-ed.jp/dai-h/	〒029-0523 一関市大東町摺沢字堀河ノ沢34-4 TEL : 75-3369 FAX : 75-3117	校長：鈴木 勝博 副校長：菅野 誠二 教職員数：43名 生徒数：333名 学級数：12
	目指す学校像 1. 「この学校に入ってよかった」「この学校に入学させてよかった」「この学校で働いてよかった」と思える学校 2. 自己実現に向けて常に可能性に挑戦し、生徒が切磋琢磨する学校 3. 復興・防災教育に取り組み、持続可能な社会を担う人材を育成する学校 4. 地域に発信し、地域から信頼される学校	
沿革 大正15年 市立摺沢家政女学校として設立 昭和23年 組合立摺沢高等学校と改称 県立移管、岩手県立摺沢高等学校となる 定時制課程大原分校（夜間制普通科）設置 39年 岩手県立大東高等学校（全日制課程・普通科）と改称 大原分校（全日制課程・商業科）と改称 48年 大原分校が岩手県立大原商業高等学校校として開校 平成10年 大原商業高校創立50周年記念式典挙行 17年 大東高校創立80周年記念式典挙行 18年 新岩手県立大東高等学校開校 27年 大東高校創立90周年記念式典挙行	特色ある教育活動 1. 普通科各学年3学級、情報ビジネス科各学年1学級の12学級編成により、生徒の多様な進路目標の実現に対応しています。一関地区唯一の商業に関する学科を持つ県立高校です。 2. 「文武両道」を目標として日々切磋琢磨し、進路実績は岩手大学等の国公立大学をはじめ、私立大学、短大、専修学校等への進学とともに、就職内定率も毎年ほぼ100%で推移し、公務員・販売・製造等多岐にわたって就職しています。 部活動は、運動部でソフトボール部・野球部・卓球部が県内上位の活躍をしています。文化部では、23年度鹿踊部の全国高総文祭出場、26、27、28年度ワープロ部の3年連続全国大会出場など、各部にめざましい活躍があります。	

県立 千厩高等学校

URL : <http://www2.iwate-ed.jp/sen-h/>

〒029-0803

一関市千厩町千厩字石堂45-2

TEL : 53-2091 FAX : 52-3170

E-mail : sen-h@iwate-ed.jp

校長：茂庭隆彦

副校長：熊谷渉・及川秀明

教職員数：59名

生徒数：529名 学級数：15



沿革

明治34年、県南の千厩の地に県下2番目の農学校（蚕業学校）として創設され、今年で創立116年を迎える伝統校です。昭和49年の普通科独立を契機に、千厩高校と千厩農業高校に分離。その後、千厩農業高校に工業系学科である産業技術科が設置され、校名を千厩東高校に改めました。

平成14年、県の新高校再編計画に伴い、千厩高校と千厩東高校が統合し、県内唯一の普通専門併置校としてスタートしました。さらに、平成20年度には藤沢高校と完全統合し、地域に根ざした学校として有為な人材の育成に力を入れています。

教育目標

自主・自律の精神に富み、生涯にわたり学ぶ意欲と国際的視野を持った心身ともに健康でたくましい人間を育成する。

めざす学校像

- (1) 生徒一人ひとりを大事にする学校を目指します。
- (2) 普通科・生産技術科・産業技術科の特徴を活かした学校を目指します。
- (3) 生徒・保護者・地域から信頼される学校を目指します。

特色ある教育活動

- (1) 普通科3クラス、生産技術科（農業系）1クラス、産業技術科（工業系）1クラスの5学級編成です。2年次からは、普通科が文系と理系に、生産技術科が農業を主とする生産科学コースと、家庭・福祉を主とする生活科学コースに分かれます。産業技術科は、機械・電気・電子を総合的に学習します。
- (2) 「質実剛健」、「文武両道」の校訓のもと、学習と部活動に真摯に取り組み、毎年着実に成果をあげています。国公立大学希望者等の進学率も高く、就職内定率も毎年100%です。部活動では、ソフトボール部・ボクシング部・弓道部・陸上部・箏曲部・写真部などが東北大会や全国大会に出場しています。
- (3) 地域に根ざした学校です。千厩地区のひな祭りでの箏曲部の演奏会や茶道部のお茶会、町振興会・菓子店とコラボレーションしたスイーツ開発、町内の老人ホームを訪問してミニコンサートをを行う「クリスマス企画」など、多くの方々と異世代交流を深めています。

学校法人 一関学院 一関学院高等学校

URL : <http://www.ichinoseki-gakuin.jp>

〒021-0871

一関市八幡町5-24

TEL : 23-4240 FAX : 23-4245

E-mail : info@ichinoseki-gakuin.jp

校長：佐伯幸雄

副校長：小野寺啓一

教職員数：34名

全日制生徒数：310名 学級数：12

通信制生徒数：109名 学級数：11



沿革

- 昭和13年 一関夜間中学校創立・初代校長 芳川顕雄
- 16年 一関商業学校認可
- 23年 財団法人岩手県開城高等学校と改称認可
- 26年 学校法人一関学院と改称
- 34年 開城高等学校（夜間）、一関商業高等学校（昼間）と改称
- 38年 一関商業高等学校に電気通信科を併設、夜間部を開城工業高等学校と改称
- 55年 外国人ALITによる英会話授業開始
- 57年 コンピュータによる授業開始
- 59年 第2校舎落成式
- 62年 情報処理科を新設
- 63年 創立50周年式典・森林公園グラウンド完成・制度を改定
- 平成 5年 情報ビジネス科を新設（商業科を募集停止）
- 6年 管理棟増築完成
- 11年 別科洋裁科新設
- 12年 実習棟増築完成
- 13年 一関学院高等学校と改称
- 15年 通信制課程新設、電子科廃止
- 16年 別科洋裁科廃止
- 19年 情報処理科生徒募集停止、制服改定
- 20年 創立70周年記念式典
- 21年 情報処理科廃止
- 25年 第3校舎建替

教育目標

〈本校の教育ビジョン〉

文武両道において全国レベルで活躍し東北の私学の雄として地域に貢献できる人材育成を目指す。

〈4つの指導目標〉

- (1) 学力向上（徹底した学習指導で基礎基本の定着）
- (2) 進路指導の充実
- (3) 生徒指導の充実（豊かな人間形成のために）
- (4) 基本的生活習慣の確立（自己制御力の養成と健康教育）

〈本校の目指す生徒像〉

- (1) 明るく挨拶をかわし、時間を守る生徒（第一印象と信頼性）
- (2) 思いやりの心を持ち、責任感の強い生徒（誠実さ）
- (3) 常に自己を意欲的に切り拓く生徒（挑戦と学び）

特色ある教育活動

1. 文武両道を実践している。
 - (1) 進学実績は、合格者60名、うち大学38名（国公立3名）、短大3名、看護3名、専門16名の合格者を出すなど高い実績を誇る。就職については、例年内定100%を実現している。
 - (2) 部活動については、運動部9、文化部6があり、活発な部活動を展開し、各種大会で活躍している。
2. 生徒の進路に応じた学科編成
 - ＜全日制課程＞
 - (1) 普通科 4コース制実施
 - ① 特別進学コース
 - ② 進学コース
 - ③ 総合ビジネスコース
 - ④ 体育コース
 - ＜通信制課程＞
 - (1) 普通科 2コース制実施
 - ① 一般コース
 - ② 在宅コース
3. 進路実現のための課外補習

学校法人 健康科学大学 一関修紅高等学校 URL : http://www.shuko.ed.jp	〒021-0807 一関市宇東花王町6番地の1 TEL : 23-3096 FAX : 23-3095 E-mail : shuko@shuko.ed.jp	校長：菅原 清 副校長：齋藤 成一 教職員数：34名 生徒数：401名 学級数：15
--	---	---

2017年(H29年度)4月より 2018年(H30年度)より
 新コース誕生
 「看護進学コース」 「ライフデザインコース」



沿革

明治32年 5月	小梨こま裁縫塾を開塾。
昭和23年 4月	学制改革により、一関修紅高等学校(被服科)開校。
36年 4月	普通科を設置。(普通科、家庭科、別科となる。)
37年 4月	普通科に男子入学、男女共学とする。(普通科、家庭科、別科(2年制)、専攻科(1年制)となる。)
60年 4月	「学校法人修紅学院」を「学校法人第一麻生学園」に名称変更。これにより、「一関修紅高等学校」を「麻生一関高等学校」に名称変更。
63年 4月	情報システム科を設置。「家政科」を「生活教養科」に学科名変更。(普通科、情報システム科、商業科、生活教養科となる。)
平成 9年 4月	普通科に特別進学コースと一般・進学コースのコース制を導入する。
13年 4月	「学校法人第一麻生学園」を「学校法人第一藍野学院」に名称変更。これにより、「麻生一関高等学校」を「一関修紅高等学校」に名称変更。
21年 5月	創立110周年 記念式典挙行並びに記念講演会実施。
22年 4月	「学校法人第一藍野学院」を「学校法人富士修紅学院」に名称変更。
23年 4月	普通科の一般コースを総合コースに名称変更。(2年次よりビジネスコースと進学教養コースに分かれる。特別教室棟完成。)
24年 9月	「修紅歴史資料館」を開塾。
26年12月	「修紅短期大学学術研究所」を「一関修紅高等学校第2特別教室棟」へ所管替え。
27年 3月	「修紅短期大学学術研究所」を「一関修紅高等学校第2特別教室棟」へ所管替え。
28年12月	体育館を新設。
29年 4月	「学校法人富士修紅学院」を「学校法人健康科学大学」に名称変更。
29年 4月	普通科に看護進学コースを設置。

教育目標 校訓 「至心」・「自立」・「友愛」

- ① 「至心(ししん)すなわち、「まごころ」をつくす人間を育てる。
- ② 己を自覚し、自立する人間を育てる。
- ③ 視野の広い慈愛に満ちた人間を育てる。
- ④ 勤勉で感謝と奉仕のできる人間を育てる。

学校経営・指導の重点

教職員と生徒・保護者が一体となり進路の実現を図ります。生徒の適性や多様性を理解し、それぞれの特長を生かしつつ人間力の伸長を目指していきます。これらが調和した活気ある安全な学校経営を進めていきます。そのためにも目標や夢、理想をもたせる教育にこだわり、徹底して生徒の面倒をみることに固い信頼関係を築いていきます。基礎・基本を大切に学習活動は着実な成長を支える要となり教育目標の達成を図っていきます。これからもあらゆる教育活動のねらいと意義を明確にし組織的な取り組みと一体感を伴う指導体制を構築していきます。

特色ある教育活動

2017年(H29年度)より、看護師をめざすためのコースを設置し生徒の進路目標を実現していきます。看護師として適性を研ぎつつ確かな学力を養い、将来の資格取得に向け総合力を高めていきます。H30年4月より募集開始した「ライフデザインコース」は、「暮らし」全般に関わるキャリアプランニングの力を伸ばします。生活教養科が発展し社会のニーズに対応した新しいコースです。

県内初となる電子黒板の導入やICT教育そしてアクティブラーニングなど先進的教育を取り入れ、これからの地域社会のニーズに応えた、特色ある教育活動を展開していきたいと考えています。

(4) 高等専門学校・短期大学

独立行政法人 国立高等専門学校機構 一関工業高等専門学校 URL : http://www.ichinoseki.ac.jp/	〒021-8511 一関市萩荘字高梨 TEL : 24-4700 FAX : 24-2146 E-mail : s-soumu@ichinoseki.ac.jp	校長：吉田 正道 副校長：明石尚之・白井仁人 二本柳環治・戸谷一英 教職員数：101名 学生数：865名 学級数：24
--	---	---



沿革

昭和139. 4. 1...	一関工業高等専門学校設置 機械工学科2学級、電気工学科1学級2学級で発足
44. 3.19...	第1回卒業証書授与式挙行
44. 4. 1...	化学工学科1学級1学科設置
59.10.23...	創立20周年記念式典挙行
平成元. 4. 1...	機械工学科2学級のうち1学級を制御情報工学科に改組
6. 10. 7...	創立30周年記念式典挙行
7. 4. 1...	化学工学科を物質化学工学科に改組
13. 4. 1...	専攻科(生産工学専攻、物質化学工学専攻)設置
15. 4. 1...	電気工学科を電気情報工学科に名称変更
16. 4. 1...	独立行政法人国立高等専門学校機構一関工業高等専門学校に移行
16.10. 1...	創立40周年記念式典挙行
17. 5.12...	「生産技術情報システム工学」教育プログラムが日本技術者教育認定機構(JABEE)の認定を受ける
19. 3.28...	独立行政法人大学評価・学位授与機構が実施する平成18年度「高等専門学校機関別認証評価」において、評価規準を満たしていると認定された
26. 4.19...	創立50周年記念式典挙行
27. 3.30...	学生寮新棟(東寮)竣工
29. 4. 1...	機械工学科、電気情報工学科、制御情報工学科及び物質化学工学科を未来創造工学科に改組

教育目標

本校では、次のような素養と能力を身につけた技術者の育成を目標とする。

- ・国際社会の一員として活動できる技術者
- ・誠実で豊かな人間性と広い視野をもつ技術者
- ・広い分野の基礎知識と優れた想像力・開発力をもつ技術者
- ・継続的に努力する姿勢と盛んな研究心をもつ技術者
- ・協調性と積極性をもち信頼される技術者
- ・技術と社会や自然との係わりを理解し社会的責任を自覚できる技術者

研究活動

国立の高等教育機関として、教員は機械・知能、電気・電子、情報・ソフトウェア、化学・バイオ、総合化学(人文社会及び自然科学)の分野における学術的な研究を行っています。また、学生も教員の指導を受けながら、本科の卒業研究、専攻科の特別研究として研究活動に取り組んでいます。

産学官交流の拠点及び学内共同教育研究施設として地域共同テクノセンターがあります。これは、教員等の研究活動を支援し学生の教育に還元するとともに、技術相談、共同研究、公開講座等を通じて産業界との交流を図っています。

特色ある教育活動

創造性豊かで実践的な開発型技術者を育成しています。

本科では幅広い教養を身につける一般科目と高度な専門性を身につける専門科目をくさび形に配置した5年間の一貫教育により、効果的な教育を行っています。

また、本科の教育の上に、より高度な専門と広範な基礎知識や技術の習得を目的とする2年間の専攻科があり、大学学部卒業生と同じ学士(工学)の学位を取得することができます。

本科卒業生の進路は、進学と就職がほぼ半数であり、進学先は専攻科及び国立大学等(3年次編入学)となっています。

専攻科修了生の進路は、大学院進学または就職であり、多様な進路が開かれています。

なお、毎年数名の外国人留学生を受け入れているほか、遠方からの入学生に配慮し、女子学生を含め約370名を収容できる教育寮があります。

学校法人 健康科学大学
修紅短期大学
URL : <http://www.shuko.ac.jp>

〒021-0902
一関市萩荘字竹際49-1
TEL : 24-2211 FAX : 24-2213
E-mail : tandai@shuko.ac.jp

学 長：牧 野 順四郎
教職員数：25名
学 生 数：155名 学級数：6



沿革

- 明32. 5. 小梨こまが裁縫学校を創立
- 昭28. 3.23 修紅短期大学設置許可あり、岩手県唯一の私立短期大学として家政科を設置
- 33. 1.10 短期大学に保育科増設
- 33. 4. 1 修紅短期大学(保育科)が幼稚園教諭免許状「幼稚園2級」課程の認定
- 47. 3.23 保育科を保育養成所として指定
- 49. 4. 1 家政科を家政学科、保育科を幼児教育学科に改称
- 60. 4. 1 法人名称を学校法人第一麻生学園に、短期大学の名称を麻生東北短期大学に改称
- 平13. 4. 1 法人名称を学校法人第一藍野学院と改め、短期大学の名称を修紅短期大学と改称
- 13.12.27 修紅短期大学生活文化学科に栄養士養成施設指定の認定(平成14年度入学生より適用)
- 15. 4. 1 修紅短期大学生活文化学科を食物栄養学科に名称変更
- 15.11. 7 修紅短期大学創立50周年記念式典及び祝賀会を挙行
- 16. 2.17 オーストラリア、マーティン大学・エンバシーCESとの間で学術交流及び姉妹校協定の締結
- 17. 4. 1 修紅短期大学(食物栄養学科)栄養教諭2種免許課程の認定
- 22. 3.31 法人名称を富士修紅学院に改称
- 25.11.12 修紅短期大学創立60周年記念式典挙行
- 29. 4. 1 法人名称を学校法人健康科学大学に改称

教育目標

本学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、建学の精神「信愛」・「健康」・「報恩」をふまえながら、旺盛な自主の精神と強い責任感を養うとともに、幼児教育学並びに食物栄養学に係る高度な専門知識と技能を習得させることにより、心身の健康に関する豊かな感性を備えつつ実践力が強い、広く社会に貢献できる人材を育成する。

研究主題

〈幼児教育学科〉

- 乳幼児の心身の発達に関する研究
- 乳児のための表現に関する研究
- 様々なニーズをもつ子どもや、家庭の支援に関する研究

〈食物栄養学科〉

- 食物に含まれる栄養素および食品の構造に関する研究
- 食品の安全性の大切さと食品の衛生管理に関する研究
- 年齢や健康状態の違いによる栄養素のとり方、病気にかからない食事法および病気をいやす食事に関する研究

特色ある教育活動

- ① 乳幼児のための音楽的身体表現、実践的な表現活動の充実
- ② 地域住民の食に関する栄養と健康の知識の充実

(5) 特別支援学校

県立
一関清明支援学校
URL : <http://www2.iwate-ed.jp/ich-r/>
E-mail : ich-r@iwate-ed.jp

(本校舎) 〒021-0041 一関市赤教学上台96番5
TEL : 33-1600 FAX : 33-1601
(山目校舎、あすなろ分教室) 〒021-0056 一関市山目字泥田山下48-12
TEL : 25-3210 FAX : 25-2770
(千厩分教室小学部) ※千厩小学校内
〒029-0803 一関市千厩町千厩字上駒場10-2
TEL : 53-2275 FAX : 34-4121
(千厩分教室中学部) ※千厩中学校内
〒029-0803 一関市千厩町千厩字上駒場195-5
TEL : 53-3181 FAX : 53-3181

校 長：稲 邊 宣 彦
副 校 長：中 塚 真、北 島 亨
及 川 康
教職員数：138名
幼児児童生徒数：192名 学級数：53
(本校舎：126名29学級)
(山目校舎：31名10学級)
(あすなろ分教室：19名 6学級)
(千厩分教室：小学部11名 5学級
中学部 5名 3学級)



沿革

- 平成19年4月1日 一関市立千厩小学校内に千厩分教室小学部を開設
- 平成20年4月1日 岩手県立一関養護学校と岩手県立一関養護学校を統合し、岩手県立一関清明支援学校として開校
- 平成21年4月1日 一関市立千厩中学校内に千厩分教室中学部を開設
- 平成24年2月18日 本校舎を新築の新校舎に移転
- 平成24年4月6日 新校舎落成式

校訓

「清く 明るく たくましく」

教育目標 (めざす幼児児童生徒像)

- 自分のよさに気づき、自己実現のための向上心をもちつづける人
- ほかの人を思いやるやさしい気持をもつ人
- 心と身体の健康を大切に人

研究主題

「4障がいに対応する学校としての授業づくり
～学部課題への取り組みを通して」

特色ある教育活動

- 4障がい対応の特別支援学校 (聴覚、病弱、肢体不自由、知的)
- 2校舎3分教室の学校 (本校舎、山目校舎、あすなろ分教室、千厩分教室小学部、千厩分教室中学部)
- 共生社会の担い手にふさわしい人を育てる教育
 - ・ 地域、居住地の学校との交流及び共同学習
 - ・ 地域の教育資源を活用した教育の推進
- 外部専門家活用 (言語聴覚士、作業療法士、茶道講師、音楽療法士等) の活用による専門性の向上
- 地域への特別支援教育に係わる専門性の提供

(6) 幼稚園・こども園

<p>市立 舞川幼稚園</p>	<p>〒021-0221 一関市舞川字館ノ越22-12 TEL・FAX：28-2112 E-mail：maiyo@city.ichinoseki.iwate.jp</p>	<p>園長：千代川 晶 則 教職員数：5名 園児数：22名 学級数：3</p>
	<p>教育目標 園児の実態に即し、幼児期にふさわしい豊かな生活経験を通して、心身ともに健康で心の豊かな意欲ある子どもの育成に努める。 ・明るくたくましい子 ・友だちとなかよく遊べる子 ・よく聞き、考え、工夫する子</p>	
<p>沿革 昭和54年 4月 一関市立舞川幼稚園創立 6月 園章制定・園門設置 57年 2月 園歌制定 62年 1月 遊戯室拡張 平成元年 6月 創立10周年記念式典挙行「ログハウス設置」 12月 園庭拡張 9年 4月 三年保育開始 11年11月 創立20周年記念式典挙行 17年 8月 教育課程研究協議会発表 11月 「おはごあことば標識」設置 20年 8月 園扉の設置 10月 創立30周年記念式典挙行「園名パネル設置」 21年10月 市教委・一関公立幼稚園研究協議会指定保育園 22年 1月 岩手県公立幼稚園教育研究大会研究発表 岩手県教育委員会学校安全優良校表彰 7月 全国公立幼稚園教育研究協議会岩手大会研究 24年 7月 全国公立幼稚園教育研究会福井大会ポスターセッション発表 25年 3月 園舎耐震改修工事完了</p>	<p>研究主題 主題 「幼児が遊び込む力を目指して」 ～友達の違いを受けられる力を育む保育～</p>	
<p>特色ある教育活動 ○豊かな遊びを育てる ・幼児自ら働きかけ、遊びが展開できるよう、環境を工夫する。 ・自然とのふれあい等、五感を使った直接体験を大切にする。 ・友達の違いを受けながら遊べるような姿を目指して、研究を推進する。 ○幼少中及び地域、PTAの連携推進を図る ・小中の交流活動を計画的に行い、相互理解を深める。 ・幼少中及び地域、PTAと連携した統一活動に取り組み、中学卒業までの12年間を見通した取り組みを行う。</p>		

<p>市立 真滝幼稚園</p>	<p>〒021-0132 一関市滝沢字水口103-103 TEL・FAX：21-2156 E-mail：matayo@city.ichinoseki.iwate.jp</p>	<p>園長：奈須川 江江子 教職員数：5名 園児数：32名 学級数：3</p>
	<p>教育目標 みんなあつまれ げんきいっぱい たくましく 一心豊かなたくましい幼児の育成— ・まごころあふれる子 …なかよく遊び思いやりのある子 ・たくましい子 …じょうぶでたくましい子 ・きがつきかながえる子 …よく考え進んで行動する子</p>	
<p>沿革 昭和55年 4月 一関市真滝幼稚園創立 二年保育 56年11月 園歌発表披露 平成元年11月 創立10周年記念式典挙行 「ジャブジャブ池」「なかよしハウス」設置 9年 4月 三年保育開始 12年10月 創立20周年記念式典挙行 「園門」「園名プレート」設置 18年 3月 ガス管改修 廊下床板張り替え 19年 9月 園舎内壁紙張り替え 10月 市教委・両磐公立幼稚園教育研究大会研究発表 21年 5月 プール更新設置 22年 3月 園庭南側花壇の整備及び駐車場の整備 10月 創立30周年記念事業の実施 23年 9月 屋根全面塗装塗り替え 25年11月 園舎耐震工事完了 29年 4月 預かり保育開始</p>	<p>研究主題 ① 研究主題 「共に育ちあう家庭・地域・幼稚園」 ～保育でつながる家庭・地域・幼稚園～ ② 研究内容 様々な人とのかかわりを通して、幼稚園・家庭・地域とつながり、豊かな心をはぐくむための保育の手立てを探る。</p>	
<p>特色ある教育活動 ・豊かな自然環境を生かした保育活動（動植物にふれる） ・健康づくりの促進（園内外様々な地形を活用した健康な体づくり） ・開かれた幼稚園（PTA・小・中学校生・市民センター等と連携し、幼稚園行事の積極的な参加を通して幼稚園教育を理解してもらおう）</p>		

市立 巖美幼稚園

〒021-0101
一関市巖美町字鴻ノ巣161-1
TEL・FAX：29-2622
E-mail：genyo@city.ichinoseki.iwate.jp

園長：小山 範 輝
教職員数：7名
園児数：30名 学級数：3



沿革

- ・昭和58年4月1日に創立。同59年11月園歌・園章を制定。
- ・昭和61年・平成2年・12年両磐公立幼稚園協議会指定・一関市教育委員会指定の公開保育研究会を開催。
- ・平成7年日本体育・学校保健センター・岩手県教育委員会指定の公開保育研究会を開催。
- ・平成11年より毎年一関市花いっぱいコンクールに参加。奨励賞・優秀賞を受賞。平成27・28年度最優秀賞受賞。
- ・平成14・15年度岩手県教育委員会指定「幼・小連携に関する総合的調査研究」、15年度6月・11月に公開保育研究会を開催。
- ・平成18年度幼稚園教育課程理解推進事業（中央協議会）の県代表として12月に東京で発表。
- ・平成20年、県教育功労者表彰（PTA）
- ・平成21年、優良PTA文部科学大臣表彰
- ・平成23年、一関公立幼稚園研究協議会指定・一関市教育委員会指定の公開保育研究会を開催
- ・平成24年、創立30周年記念式典
- ・平成28年度 一関市「ことばの時間」モデル園指定
- ・平成29年度 預かり保育開始

教育目標

美しい郷土に誇りをもち、心身ともに健康で、実践力に富む人間性の育成を目指す。

- 自分のことは自分でできる子ども
- 元気よく遊ぶ子ども
- 友だちと仲良くできる子ども
- よく工夫しのびのび表現する子ども

園内研究

1. 研究主題

自ら遊び出す保育を目指して
～記録を通して教師の援助や環境の在り方を探る～

2. 研究の仮説

幼児の遊びの様子を発達段階や何を学んでいるかを捉えて記録し、教師間で振り返り、援助や環境の構成を見直すことで幼児の主體的な遊びにつながるのではないかと。

特色ある教育活動

- 充実した幼児教育を目指した創意ある保育
 - ・ 学びに向かう力（意欲・集中力・持久力）を育て、言葉の感覚を豊かにする「ことばの時間」の実践
 - ・ 巖美小学校と幼小連携教育をすすめて16年目、幼稚園から小学校へ滑らかな移行を目指した教育の実践
 - ・ 巖美中学校の生徒やグループホームのお年寄り、地域の方々と交流を通じて、人とかかわることの楽しさや思いやりの心を育む保育
 - ・ 景勝地という美しい自然との触れ合いや、花や野菜を育てる活動を通じて豊かな心を育む保育

市立 赤荻幼稚園

〒021-0041
一関市赤荻字桜町237-2
TEL・FAX：25-4188
E-mail：akoyo@city.ichinoseki.iwate.jp

園長：千葉 敏 之
教職員数：6名
園児数：48名 学級数：3



沿革

- 昭和59年 4月 1日 一関市赤荻幼稚園創立
- 11月27日 一関地区公幼研指定保育公開
- 60年 2月 5日 園歌制定
- 62年 2月18日 水洗トイレの改築
- 63年10月21日 岩手県教委指定保育公開
- 平成 4年10月16日 市教委・両磐研指定保育公開
- 54年 6月13日 創立10周年記念式典
- 6年 8月18-19日 教育課程県研究会発表
- 7年 4月 7日 幼稚園バス運行開始
- 10年 4月 1日 3歳児保育開始
- 7月29日 教育課程県研究会発表
- 14年10月11日 市教委・両磐研指定保育公開
- 15年11月 1日 創立20周年記念式典、風の子ハウスの設置
- 19年 7月27～28日 全国公立幼稚園研究大会（奈良大会）ポスターセッション発表
- 21年 5月 プール更新
- 22年 1月 幼稚園専用バス更新
- 22年 8月 平成22年度岩手県幼稚園教育研究協議会発表
- 22年10月 第48回東北特別支援教育研究大会発表
- 23年 3月 東日本大震災により被災（浄化槽等）
- 25年 3月 園庭門扉の改修
- 26年11月 創立30周年記念式典
- 28年 2月 ホームページ開設
- 29年 4月 預かり保育開始

教育目標

- ・ 自分のことは 自分でできる子
- ・ みんなと 仲良しになれる子
- ・ 明るく 元気に遊ぶ子
- ・ 話をよく聞き はっきり話す子

研究主題

「健やかな心と体を育むための援助の工夫」
～体を動かして遊ぶことを通して～

ねらい

遊びを通して、体を動かして楽しさを感じるような環境と教師の援助を探る。

研究の方法

1. 文献研究
2. 研究保育
3. 教材研究

特色ある教育活動

1. 様々な人との交流：赤荻小・赤荻保・清明支援との交流、ちやごみ招待、交流館祭りへの参加、勤労感謝訪問、サッカー教室等、様々な人々とのふれあい活動。
2. 直接体験を重視した活動：土や砂、水、草花等へ直接働きかけて遊ぶ活動。
3. 食育：行事での会食や苦手な食材を親が料理で工夫し弁当に入れるチャレンジ弁当、栄養士による訪問指導等の活動。
4. 幼稚園サポートボランティア：安全確保のための散歩や健康診断時の手伝い、教育環境のための花壇の整備や園庭の草取り、保護者や地域の連携によるお話会やお茶会の活動。

市立萩荘幼稚園

〒021-0902
一関市萩荘字境ノ神237-1
TEL・FAX：24-2340
E-mail：hagiyo@city.ichinoseki.iwate.jp

園長：松岡 康夫
教職員数：5名
園児数：22名 学級数：3



沿革

- 昭和62. 4. 1 一関市立萩荘幼稚園創立
- 平成 1.11.29 園歌制定
- 4.11.29 園章制定
- 7. 4. 1 通園バス運行開始
- 8. 6. 9 創立10周年記念式典挙行
- 8. 6.10 創立10周年記念事業実行委員会より
ログハウス寄付
- 10. 3.16 園舎増築竣工
- 4. 1 3歳児保育開始
- 11.10.27 両磐公立幼稚園研究協議会指定研究公開
- 13. 4. 1 「豊かな心をはぐくむ教育」推進事業指定
- 18.10.10 園舎前取付道路並びに園門の設置
- 18.10.28 創立20周年記念式典挙行
創立20周年記念植樹・芝生の植栽
- 22. 7.30 全国公立幼稚園研究協議会岩手大会
～ 7.31 発表「協同性をはぐくむ保育」
- 28.11.30 創立30周年記念式典挙行
創立30周年記念ログハウス改修 菜園拡張
預かり保育開始
- 29. 4.11

教育目標

地域と幼児の実態に即した教育をすすめ、心身ともに健全で人間性豊かな意欲に満ちた幼児を育成する。

- みんなと 仲よく 遊ぶ子 (体)
- よく聞き よく考え 工夫する子 (徳)
- 強い体と心でやり抜く子 (知)

研究主題

教育力を高める評価

～幼児理解や指導の中で重要な役割を担う「記録」の改善を図り、園でのより良い記録の様式の作成・簡素化を目指すことで、日々の保育実践の質を高める。～

特色ある教育活動

1. 花や野菜などを育てる活動や虫や小動物との触れ合いなどを通し豊かな自然体験の重視。
2. 小学生・中学生との交流や地域の方々を招いての園行事、施設訪問など様々な人とかわる社会体験を通し豊かな心の育成。
3. 誕生会給食や栄養士による訪問指導・食育通信などの食育指導、毎日の全園児マラソンなどを通し丈夫な体作りの促進。
4. 絵本の読みきかせや貸し出し、観劇やコンサート鑑賞などを通し豊かな感性の育成。

市立狐禅寺幼稚園

〒029-0131
一関市狐禅寺字小倉沢100-1
TEL・FAX：21-2177
E-mail：kozenyo@city.ichinoseki.iwate.jp

園長：藤村 実千代
教職員数：4名
園児数：20名 学級数：2



沿革

- 平成 4. 4. 1 一関市立狐禅寺幼稚園創立
- 4.10 開園式挙行
- 5. 6. 6 こんこん山造成
- 6. 3. 1 園章、園歌制定
- 10.28 両磐公立幼稚園指定公開研究会
- 8. 3.14 園庭遊具等増設設置
- 4. 1 3歳児保育開始
- 10. 3.10 安全標識設置
- 13. 5.20 10周年花壇増設
- 12. 5 教育課程中央大会発表(東京)
- 16. 4. 1 4・5歳児混合保育開始
- 10. 1 両磐公立幼稚園指定公開研究会
- 17. 3.31 幼稚園、公民館通路完成
- 23. 3.11 東日本大震災により地盤沈下による建物被災
- 23. 5.25 園舎、テラスの傾き補修
- 24.11 創立20周年誌発行
- 25.11 園舎の地盤沈下補修工事
- 12. 6 幼稚園教育理解推進事業(中央協議会)発表
- 26. 3 プール沈下補修工事
- 27.10 一関市教育委員会指定公開保育研究会
- 29. 9 屋根塗装工事

教育目標

幼児期にふさわしい豊かな生活体験を通し、基本的な生活習慣・態度を育て、生きる力の基礎となる心情と意欲を育てる。

基本目標—元気でなかよく

- 具体目標—
- ・自分のことは自分でできる子
 - ・友だちとなかよく遊べる子
 - ・明るくたくましい子
 - ・よく聞き、考え、工夫する子

研究主題

「共に育ち合う保育をめざして」

～幼児教育において育みたい資質・能力と照らし合わせて～

特色ある教育活動

1. 平成4年開園、旧狐禅寺小学校跡地にあり、緑豊かな自然に恵まれた環境にある。
園の周辺にこんこん山と称する小山があり、一年中遊び場として活用している。
2. 4歳児と5歳児の異年齢混合学級である。生活の場は一緒であるが、年齢の発達に即した教育課程による保育を行い、互いにより影響を受け合えるよう工夫しながら保育を進めている。
3. 体を動かして遊ぶ楽しさを味わわせ、子どもの活動性を高める保育に努めている。
4. 市民センター体育館が隣接し、多様な遊びと折々の行事に工夫をこらし、使用している。
5. 地域の方々とのふれあいを通し、体験の機会を設けている。

市立 弥栄幼稚園

〒029-0211
 一関市弥栄字茄子沢236-24
 TEL : 43-3128 · FAX : 43-3128
 E-mail : yasayo@city.ichinoseki.iwate.jp

園長：岩本 智子
 教職員数：4名
 園児数：16名 学級数：2



沿革

- 平成 5. 4. 1 旧弥栄小学校跡地に幼稚園舎新築
一関市立弥栄幼稚園として創立
- 4. 9 開園式並びに第1回入園式挙行
- 4.24 一関市立弥栄幼稚園PTA結成
- 6.14 園章制定
- 7. 2.14 園歌制定
- 10.13 両磐公立幼稚園研究協議会指定研究公開
- 8. 4. 8 3歳児保育、4・5歳児混合保育開始
- 13. 3. 1 園門前道路整備完了
- 4.24 園門にどうだんつつじ50本植樹
- 14. 8. 6 教育課程研究協議会発表
- 8.25 園舎裏坂改修工事完了
- 9.21 創立10周年記念式典挙行、なかよし広場の設置
- 17. 3.31 園門側花壇の整備
- 19. 5.23 子育て支援「ちびっ子広場」開設
- 22. 4.26 地震の被災（園庭・配水管）修理完了
- 23. 8.17 岩手県教育研究協議会発表
- 24.10.16 遊具大改修設置
- 25. 4. 1 きめ細かな指導 支援員の配置（3歳児）
- 25.10. 5 創立20周年記念事業、記念式典、記念誌発行、PTA手作り遊具設置
平成25年度学校安全優良校表彰
- 25.11.22 幼稚園総合訪問
- 27. 5.28 一関地区公立幼稚園研究協議会指定研究公開
- 28.10.12 岩手県国公立幼稚園研究協議会発表
- 29. 1.12 預かり保育開始
- 29. 4.11

教育目標

幼児期にふさわしい生活経験と充実した環境を与え、心身ともに健やかで、豊かな心情を持つ幼児の育成を図る。

- 明るくたくましい子
- 友達と仲良く遊べる子
- のびのびと表現できる子
- よく聞きよく話せる子

研究主題

一人一人を大切に保育をめざして
 ～新幼稚園教育要領への理解を深める～

特色ある教育活動

1. 教育に対する関心の高い地域での開園より26年。保護者・地域との連携を基本にした園経営を目指している。
2. 地域の小学校や幼稚園との交流やデイサービス訪問等を行い、人とかかわることの楽しさ等を味わうことができるよう努めている。
3. 絵本やおはなしとの出会いを大切にし、市立図書館における「絵本のひろば」の開催や、市民センターと連携した読み聞かせや観劇、園や家庭での読み聞かせを実施し豊かな感性を養うよう努めている。
4. 身近な花や野菜等の栽培・散歩等を通して、自然に親しみ、感動体験を味わうことができるよう努めている。

市立 いずみの森幼稚園

〒029-3205
 一関市花泉町涌津字悪法師38-312
 TEL : 82-1001 · FAX : 82-5601
 E-mail : izumiyo@city.ichinoseki.iwate.jp

園長：菅原 悦夫
 教職員数：5名
 園児数：24名 学級数：3



沿革

- 平成11年 4月 花泉町立いずみの森幼稚園として開園
- 10月 幼年消防クラブ結団
- 12年 4月 幼小連携開始
- 15・16年 県教委・町教委指定「ジョイント・スクール推進事業」
- 16年10月 県教委・町教委指定幼小連携公開保育
- 17年 2月 幼年消防クラブ表彰
- 17年 9月 市町村合併により「一関市立いずみの森幼稚園」となる
- 18年 7月 市教委・両磐公立幼稚園研究協議会指定公開保育研究会
- 20年11月 創立10周年記念式典挙行
- 21年 1月 岩手県教育研究発表会
幼児教育部会発表 主題「人とかかわる力を育てる保育」
- 25年 4月 携帯電話メール連絡システム運用開始
- 28年 4月 「ことばの時間」のモデル園となり1年間試行
- 29年 4月 新しい「ことばの時間」の活動を開始
- 29年 4月 預かり保育事業の開始
- 29年10月 市教委・一関地区公立幼稚園研究協議会指定公開保育研究会 主題「保育でつながる家庭、地域、幼稚園」
- 30年 1月 岩手県国公立幼稚園・こども園教育研究大会で発表
- 30年 4月 開園に向けた諸事業開始

教育目標

- 1 よく聴き よく考え 工夫する子ども → 知
- 2 仲良く遊び 思いやりのある子ども → 徳
- 3 じょうぶで たくましい子ども → 体

研究主題

保育でつながる家庭、地域、幼稚園
 ～心弾む出会いやかかわりを通して～

特色ある教育活動

- 1 広々とした芝生の園庭、1周80mトラックがあるグラウンド、自然探検ができるミニ雑木林、ロング滑り台など12種に及ぶ様々な遊具、栽培活動もできる畑など、恵まれた活動環境の中で、質の高い遊びや活動を展開していきます。
- 2 小学校以降の生活や学習の基盤づくりのため幼小の連携を進めるとともに、隣接する介護老人保健施設との交流を通して思いやりと共に生きることの大切さを学んでいきます。
- 3 保護者の皆さんや市民センターなど関係機関の協力・連携を得て、保育参加・保育サポート型の活動を推進していきます。
- 4 語彙の豊かさ、ことばの感性、心の豊かさを育むことを目指し、「ことばの時間」の活動に取り組みます。はじめにより姿勢作りをして気持ちを落ち着け集中力を高めます。次に諺や俳句を声に出して読み、ことばの響きを味わったりリズムに親しんだりします。最後にことば遊び（カルタや百人一首、しりとりなど）を通して友だちや先生と楽しみます。
- 5 預かり保育を実施しています。保育のある日は降園後から午後6時まで、夏休みなどの長期休業中は午前8時30分から午後6時までです。常時預かり（月単位や年単位）と随時預かり（1日単位）の2つがあります。

市立 摺沢幼稚園	〒029-0523 一関市大東町摺沢字観音堂82-2 TEL・FAX：75-2238 E-mail：suriyo@city.ichinoseki.iwate.jp	園長：佐藤政則 教職員数：5名 園児数：34名 学級数：3
	教育目標 互いに人格を認め合い、明朗で創造性に富み、いたわり合い、健康でたくましい人間性の育成を目指す。 1 よく聞きよく話す子 2 よく考え工夫する子 3 心も体もたくましい子 4 みんなと遊べる子 研究主題 より楽しい保育にするために ～言葉で伝え合いができるようになるために～	
沿革 昭和40年 4月 1日 私立幼稚園を創立 43年 2月 11日 園舎を摺沢字沼田に移転 50年 8月 17日 幼稚園教育課程岩手県研究大会研究発表 50年 9月 1日 大東町立摺沢幼稚園と改称 53年 10月 6日 岩手県学校図書館研究大会公開保育幼稚園教育課程岩手県研究大会研究発表 59年 8月 17日 新園舎竣工落成 平成 4年 3月 6日 教室増築完成 11年 10月 18日 3歳児保育開始 12年 4月 1日 一関市立摺沢幼稚園と改称 17年 9月 20日 文部科学省指定「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり」推進事業 23・24年度 一関地区公立幼稚園協議会・一関市教育委員会指定公開保育研究会開催 24年 10月 18日 岩手県国立公立幼稚園県大会にて研究発表 25年 1月 10日	研究のねらい 幼児が自ら“やってみよう”と感じ、遊びを楽しめる環境の構成や教師の援助を探る。 特色ある教育活動 1 ふれあい活動 ・園活動の中で、父母とのふれ合いや異年齢層の人々のふれ合いによって、交流の輪を広げていく。 (1) 園活動：親子遠足・バケツ田んぼ・畑・運動会・発表会・餅つき大会等 (2) 他機関との提携：敬老会等出演、老人クラブ運動会出演 2 園外活動 ・日常の園内活動で経験できないことを実際に体験したり、見聞したりして経験領域を広げる。 ・野外観察・保育園児との交流活動等	

市立 けいび幼稚園	〒029-0302 一関市東山町長坂字西本町136-4 TEL・FAX：47-2147 E-mail：geibiyo@city.ichinoseki.iwate.jp	園長：高橋雅弘 教職員数：5名 園児数：14名 学級数：3
	教育目標 「豊かな心をもち、たくましく生きる、子どもの育成」 ○ 元気に遊ぶ子 ○ なかよくする子 ○ 最後までがんばる子 研究主題 「運動的な遊びを楽しむ子どもの育成」 ～体を動かす喜びを引き出すための環境の構成や援助の工夫～	
沿革 昭和42年 4月 「けいび学園」として設立 43年 2月 学校教育法第4条の規定により認可 4月 「けいび幼稚園」と称する 48年 4月 「東山町立けいび幼稚園」発足 平成 5年 2月 新園舎落成記念式、落成祝賀会開催 11年 10月 岩手県教育委員会指定公開保育研究会開催 14年 7月 台風6号により園舎等大被害(床上浸水9cm) 16年 1月 岩手県国立公立幼稚園教育研究大会発表 17年 9月 合併により「一関市立けいび幼稚園」となる 20年 4月 3歳児保育開始 23年 8月 岩手県幼稚園教育研究協議会発表 26年 10月 一関市教育委員会、一関地区公立幼稚園研究協議会指定公開保育研究会開催 29年 4月 預かり保育開始	特色ある教育活動 ○ 人や自然とのかかわりを大切にした感性を育む体験活動 登龍門祭・ディサービス訪問・親子遠足・畑の栽培 唐梅館公園散策・七五三参り・りんご狩り・シルバー運動会 ○ 隣接する保育園及び町内の4園での交流(年長児) 唐梅館絵巻参加・交流運動会・いちご狩り ○ 小学校・中学校との交流 幼保小交流会・保育体験・職場体験 ○ 園児の身体づくり活動の充実 季節に応じた運動的な遊びの継続	

市立 藤沢こども園	〒029-3405 一関市藤沢町藤沢字仁郷41番地2 TEL: 63-2124 FAX: 63-2427 E-mail: fujicho@city.ichinoseki.iwate.jp	園長: 山口由美 教職員数: 12名 園児数: 112名(10) 学級数: 7(1) () 内幼稚園分
	教育目標 「自ら進んで生活し、心も体も健康な子ども」 ○ 友だちと、やさしくなかよく遊ぶ子ども ○ 様々なことに興味関心を持って、取り組む子ども ○ 「早寝・早起き・しっかりご飯」で元気な子ども 研究主題 園児が主体的に遊ぶための保育を求めて ～発達に沿った遊びを促す環境構成をとおして～	
沿革 昭和34年 4月 藤沢保育園開園(定員60名) 51年 2月 園舎新築移転(柳平118番地) 55年 4月 藤沢幼稚園開園(定員40名) 藤沢保育園開園(定員90名) 57年 4月 幼稚園増築(定員80名に改正) 59年 4月 西口保育所統合 61年 4月 本郷児童館統合 平成13年 4月 幼稚園定員70名に改正 21年 4月 藤沢・徳田・保呂羽・大籠4園統合 23年 9月 一関市立藤沢幼稚園・保育園に改称 24年 4月 一関市立藤沢こども園に改称 25年 4月 園舎新築移転(仁郷41番地2)	特色ある教育活動 1 地域にある施設を活用した保育として、図書館による絵本の読み聞かせや絵本の貸し出し、通年の温水プール体験。 2 福祉施設の訪問や病院待合室への作品展示、行事を通して地域の方々と交流し、ふれあいを深めている。 3 地域の伝統や文化に触れる機会として、野焼き祭り、防火パレード、マーチングフェスティバルへの参加。 4 子ども達を取り巻く生活環境の課題をさぐり、家庭と連携し、生活習慣の確立を図る。いちのせきの家庭教育10か条の活用。	

市立 黄海こども園	〒029-3311 一関市藤沢町黄海字天堤11-1 TEL: 63-4262 FAX: 63-2125 E-mail: kinoho@city.ichinoseki.iwate.jp	園長: 佐藤静子 教職員数: 12名 園児数: 50名(7) 学級数: 5(3) () 内幼稚園分
	目標 人と人のかかわりを大切に、 心豊かな子どもの育成を目指す 【心ゆたかな たくましい きのみっこ】 ○自然と仲良し やさしい子 ○よく考え 工夫する かしこい子 ○早ね 早おき 元気な子 研究主題 ○研究主題 主体的に活動する環境づくりを目指して ～園児理解に基づく実践と評価～	
沿革 昭和28年 4月 黄海小学校に幼児教室開設 29年 4月 福祉協議会による幼児教室開設 37年 4月 藤沢町立黄海保育園創立 56年 4月 町立黄海幼稚園設立 57年 2月 現在地に園舎新築移転 平成23年 9月 一関市立黄海幼稚園・保育園に改称 24年 2月 岩手県教育研究発表会研究発表 24年 4月 一関市立黄海こども園となる 27年 4月 定員 1号認定50名 2号認定27名・3号認定18名	特色ある教育活動 ○子どもを取り巻く生活課題を探り、一人一人の発達を捉えた保育に努める。 ○生活習慣の確立と健康な体づくり ・「早寝・早起き・しっかりごはん」の推進 ・正しい姿勢・薄着保育・裸足保育・温水プール ○いろいろな人との出会いと体験の中で、豊かな心と意欲、態度、生きる力の基礎を培う。 ・園開放・幼小日常交流・老人クラブとの交流 ・施設訪問・JA 青年部との農園活動・自然探検	

市立 室根こども園	〒029-1201 一関市室根町折壁字八幡沖373-1 TEL: 64-3219 FAX: 61-2077 E-mail: murokod@city.ichinoseki.iwate.jp	園長: 熊谷 玲子 教職員数: 14名 園児数: 93名(2) 学級数: 6(3) () 内幼稚園分
	教育目標 豊かな保育環境の中で教育と保育が一体となり、豊かな人間性を育てることを目標とします。 ○心も体も健康で 明るい子ども ○友達と仲良く遊び 思いやりのある子ども ○人間や自然を愛し、心豊かな子ども ○よく聞き、よく話し、ことば豊かな子ども ○意欲的に活動し、創造性豊かな子ども	
沿革 昭和40年 4月 折壁保育所開園 (定員60名) 50年 4月 折壁保育所ポニークラブ結成 57年 2月 折壁幼年消防クラブ結成 63年 3月 財団法人日本名火協会より表彰 平成 2年 9月 東北管区警察局長表彰 3年 9月 社会福祉協力所指定 13年 3月 新築移転 (定員90名) 子育て支援センター開設 17年 9月 一関市立折壁保育園と改称 27年 6月 園舎増改築開始 27年 9月 岩手県幼少年婦人防火委員長表彰 28年 3月 室根地域5 保育施設閉園 28年 4月 室根こども園開園 (定員110名)	研究主題 「自信を持って生き生きと活動できる子どもを育てる」 ～園庭の環境整備をとおして～ 特色ある教育活動 ○健康でたくましい心と身体づくりのため、積極的な戸外活動をする。 ○豊かな自然や地域の教育力を活用した保育を進める。 ○家庭との連携を密にし、園教育と家庭教育との融合に努める。 ○一人ひとりの発達段階をとらえた保育を行う。	

学校法人 里中山学園 認定龍澤寺こども園 URL: http://rityuzan.ac.jp/	〒021-0011 一関市山目町三丁目2-19 TEL: 26-4821 FAX: 21-5600 E-mail: kodomoen@rityuzan.ac.jp	園長: 塩 竈 素 明 教職員数: 39名 園児数: 158名(75) 学級数: 9(6) () 内幼稚園分
	教育目標 知育・徳育・体育を鑑み、のびのびと心豊かな自己表現ができ、思いやりと思考力が豊富で、丈夫で元気にたくさん遊んで楽しく毎日が過ごせるような子どもとなるような教育を目指し実践する。 研究主題 保育の質・保育者の専門性考える ～保育者の同僚性を高めるための園内研修の在り方を考える～	
沿革 昭和23年 6月 6日 県知事により龍澤寺幼稚園認可 23年 9月 1日 龍澤寺幼稚園開園 29年12月 1日 新園舎移転建築 山目町220-2 30年 4月10日 新園舎開園 51年 7月27日 (学) 里中山学園へ設置者変更 平成10年 8月 7日 園舎改築工事着手 10年12月12日 新園舎落成並びに創立50周年記念式典挙行 14年12月 1日 「なかさと保育園」開園 18年 6月 1日 「なかさと保育園分園」開園 20年 9月 1日 創立60周年記念式典挙行 25年 5月31日 遊戯室改築工事竣工 25年 9月 1日 幼保連携型 認定 龍澤寺こども園認定 25年 4月 1日 子ども・子育て支援制度に移行	特色ある教育活動 ・仏教保育を行っています。 ・あたたかい人間関係を育む保育を行っています。 ・丁寧できめ細かい保育を行っています。 ・「お話を聞く」ということを大切にしています。 ・自ら考え、行動する力を育てる保育を行っています。 ・食事を楽しめる雰囲気作りをし、自分の力で食事を勧めようとする力を見守り、援助しています。 ・家庭との連携を大切にしています。 ・働くお父さん・お母さんが安心して預けられる保育を行っています。	

学校法人東北カトリック学園 愛心幼稚園	〒021-0884 一関市大手町7-5 TEL : 23-5431 FAX : 23-7166 E-mail : aishin@tohoku-catholic.ac.jp	園長：小坂 恵子 教職員数：10名 園児数：106名 学級数：7
	教育目標 本学園の教育は、幼児が神の愛に生かされていることを喜び、神から与えられた心身の能力を伸ばし、個性を認め、主体的に行動できる人間となるようになるための基礎の育成を目指します。	
研究主題 チーム保育活動の中で、異年齢児との関わりを通して思いやりの心情を育む		
沿革 1953年 5月 オスカー・エグロフ師（スイス人宣教師）により定員120名で設立 1957年 2月 設置者をベトレヘム外国宣教会に変更 1959年 1月 新園舎落成、定員240名6学級に変更 1959年 7月 スクールバスによる通園開始 1964年 4月 ヨゼフ・フーゲントブレレル師第二代園長 1967年 3月 園舎増築、木造モルタル103㎡ 1967年 4月 設置者を宗教法人ベトレヘム外国宣教会からカトリック仙台司教区に移管 1978年 12月 定員265名8学級に変更 1982年 10月 新園舎落成、鉄筋コンクリート2階建て1,272㎡ 1986年 4月 宗教法人立から学校法人「東北カトリック学園立」となった。 学園は29園、青森県に12園、岩手県に6園、宮城県に8園、福島県に3園を擁する。 2002年 4月 佐藤守也師第九代園長	特色ある教育活動 ・自分から意欲的に行動するように励まし一人一人と向き合って保育します。 ・自分の思う事を言葉で伝えられるよう、また自分のことは自分でできるように援助します。 ・友達と夢中になって遊ぶことができるように環境を整えます。 ・子供の中にある興味や関心をよびさますように喜んで取り組める活動を支援します。 （体操教室、楽器演奏、英語教室、書道教室、水泳教室、田植え、クッキング、等）	

学校法人 健康科学大学 修紅短期大学附属認定こども園 URL : http://www.shuko.ac.jp/kg/	〒021-0902 一関市萩荘字竹際71-2 TEL : 24-5005 FAX : 24-5006 E-mail : youchien@shuko.ac.jp	園長：蜂谷 隆博 副園長：黒澤 由佳 教職員数：35名 園児数：233名(76) 学級数：9(6) () 内幼稚園分
	教育目標 「にこにこ ぴんぴん みんななかよく なにかでひとより」 1. 未分化時代の幼児の夢の世界を大切に育てる。 2. 心身の発達段階に応じた基礎能力を養う。 3. 情緒の安定した創造力のある明るい元気な子どもを育てる。	
研究主題 幼児一人ひとりの主体性を育む環境の構成と教師の援助の在り方を探る。		
沿革 昭和32年 1月 修紅短期大学附属幼稚園の設立許可を受ける<2学級> 32年 4月 修紅短期大学附属幼稚園小梨良園長に就任 52年 8月 定員180名を270名に変更<7学級> 60年 4月 麻生東北短期大学附属幼稚園に名称変更 平成12年12月 満3歳児学級ひよこ組開設 13年 4月 修紅短期大学附属幼稚園に名称変更 21年 4月 新園舎完成（所在地を東花王町から修紅短期大学校地に移す） 25年 3月 満3歳児学級ひよこ組終了 25年 4月 修紅短期大学附属認定こども園の認定取得	特色ある教育活動 遊びを中心とした生活を展開し、友達との関わりの中で一人一人の幼児が生きていくための基礎となる力や生活の規律を身につけるために自然体験、社会体験など様々な体験活動を重視している。 ・水と砂をふんだんに使った遊びを豊富に体験する。 ・小動物の飼育や、花や野菜を育て収穫の喜びを味わわせるなど、四季折々の自然を身近に体得する。 ・外国人英語教師を招き、遊びを通して異文化に触れ、国際理解の素地を育成する。 ・未就園児教室や、おもちゃ図書館を開設し、子育て支援の一助としている。 ・体育講師による幼児体育は、身体を動かす楽しさや、情緒の安定をはかり、子どもらしさ、自分らしさを表現する喜びへとつながります。	

学校法人 願成寺学園 認定こども園一関幼稚園 URL : http://www.at-ml.jp/57703	〒021-0874 一関市字釣山31-4 TEL : 23-5153 FAX : 23-5259 E-mail : ichi-you@samba.ocn.ne.jp	園長 : 佐々木 泰子 副園長 : 村上 静江 教職員数 : 37名 園児数 : 197名(113)学級数 : 9(6) () 内幼稚園分
	基本理念 『慈悲心と菩薩道』 人の喜び、悲しみを自分も共感し、自分のこととして感ずることのできる、そして人に対する思いやりを重んじることです。 教育目標 1. 健康で明るい子供 2. 力を合わせて仲良く遊ぶ子供 3. 優しい思いやりがあつて素直な子供 4. 自分の事は自分で出来る子供 5. のびのびと表現し創造性豊かな子供 研究主題 人と人のかかわりは積み重ねの中で、響きあう楽しさや喜び、葛藤を実感しながら「共に生きる」ことを育むための保育のあり方を探る。 特色ある教育活動 《遊びを通しての学び》 幼児期は、知識を教えられて身に付けていく時期ではなく、園生活の中で友達との関わりや遊びの中での経験を大事にする。 《リズム遊び》 心身共に健康で伸び伸びとした子供に育ててほしいという願いを込めて、音楽に合わせて這うこと、歩くこと、走ることを主とした、リズム遊びに取り組んでいる。 《読み聞かせは心のスキンシップ》 絵本を見ながら先生のお話を聞き、子供達はイメージを膨らませ、物語を通して言葉や絵、音の世界が心を豊かにし、感性や想像力を育みます。 《坐禅》 坐禅を通して自分と向き合い、心を整えることを学ぶ。 《英語で遊ぼう》 カナダ人講師を迎え、遊びや生きた英語を通して異文化に触れ、国際性を学ぶ。	
沿革 昭和32. 4. 1 一関学院幼稚園開園 32. 9. 1 学校法人 一関学院に編入 46.12.17 放火により園舎全焼 47. 8.20 新園舎完成 52. 8.10 一関学院幼稚園設置者変更により願成寺学園一関幼稚園となる。 54. 4. 1 「リズム遊び」に取り組む 61. 4. 7 預かり保育開始 平成10. 1. 1 理事長芳川顕一氏死去 10.12.28 竹内一信理事長就任 17. 8.24 芳川春彦理事長就任 18. 4 園舎外装の整備 19.11 創立50周年記念式典 21. 4 満3歳児学級たんぽぽ組開設 26.12 新園舎完成 27. 4 幼保連携型認定こども園に移行		

学校法人 華泉学園 幼保連携認定こども園 花泉こども園	〒029-3103 一関市花泉町老松字水沢9番 TEL : 82-4248 FAX : 82-4415 E-mail : hanaizumiyoutien@muc.biglobe.ne.jp	園長 : 高橋 仁 省 教職員数 : 21名 園児数 : 85名(10)学級数 : 6(3) () 内幼稚園分
	教育目標 1. げんきで、あかるく、すなおなこどもになろう。 2. よくみ、よくきき、よくかんがえるこどもになろう。 3. 決まりをまもり、いたわりのきもちをもつこどもになろう。 研究主題 異年齢児との関わりを通し、相手の気持ちに気づき、やさしさや思いやりの育ちに繋がるよう、教師が行うべき援助の仕方を探る。 特色ある教育活動 ◇恵まれた自然環境を生かし心ゆたかに、かしこく、たくましい子どもになるように、幅広い領域に渡って保育を行っています。 ◇一人ひとりを尊重し個性に合わせて保育を行っています。 ◇教育は家庭と園の一体が大切なことから、連携を図り保育を行っています。 ◇子どもの個性と創造性のある遊びを通して育てる知能教育（知能教材：めんたるぶれい）や専任教師との関わりを楽しみながら行う英語教室、体育教室など幼児期における学ぶ楽しさや、体を動かす楽しさに触れ、様々な活動を行っています。	
沿革 昭和27年 7月 開園 30年 4月 花泉幼稚園として知事認可 50年 4月 学校法人華泉学園 花泉幼稚園として法人認可取得 10月 新園舎完成 60年 4月 定員120名を170名に変更 園舎増築(3クラス → 5クラスへ) 平成11年 3月 園舎内外改修工事 26年 4月 移転改築(花泉地区から老松地区へ) 幼保連携型 認定こども園認可取得 花と泉の保育園 開所 27年 4月 新幼保連携施設へ移行し 認定花泉こども園へ名称変更		

学校法人東北カトリック学園 カトリック清心幼稚園	〒029-0803 一関市千厩町千厩字町浦47-1 TEL : 52-2485 FAX : 52-2911 E-mail : s-seishin@tohoku-catholic.ac.jp	園長：菅原裕子 教職員数：5名 園児数：37名 学級数：3
	教育目標 当園の教育は、幼児たちがキリストの愛に生かされ、神から与えられた心身の能力を最大限に生かしながら、個性を豊かにし、主体的に行動できる人間となることを願い、その基礎育成を目指します。 人間には素晴らしい能力、素晴らしい自然が与えられていることを踏まえ、価値ある人生を送ることができるために、神を、隣人を、自分を、そして自然界を大切に愛の心を育てる事が当園の教育目標です。	
沿革 昭和30年 2月 設立認可を受ける 設立母体（宗法）ベトレヘム外国宣教会 定員120名4学級 30年 4月 第1回入園式挙行 初年度110名入園 45年 4月 園名を「カトリック清心幼稚園」と改称 50年 4月 設置者変更「宗教法人的カトリック仙台司教区」と変更 61年 4月 学校法人東北カトリック学園設立に伴い移管（岩手7園、青森12園、宮城8園、福島3園を擁す） 平成 7年 3月 新園舎落成	研究主題 愛されて育つ子ども 「子どもの健康な心と体を育む食育を考える」 特色ある教育活動 1. 剣道と茶道を取り入れている ・心も体も健康で明るい子どもを育てるために、剣道と茶道の活動を行っている。立ち居振る舞いを身につけ、品格ある人間形成をめざしている。 2. 食育に取り組んでいる ・野菜の栽培やクッキングなどの活動を通して、食事の楽しさや大切さを伝えている。 ・親子体験学習として、さつまいもの栽培を行い、身近な自然にふれている。	

学校法人愛泉学園認定こども園 千厩小羊幼稚園 千厩こひつじ園 URL : http://www.kohituji-kk.com/	〒029-0803 一関市千厩町千厩字北方130-2 TEL : 52-5244 FAX : 52-5841	園長：堀 秀子 教職員数：15名 児童数：90名(9) 学級数：7(3) () 内幼稚園分
	園教育目標 幼児の与えられている可能性は計りしれないものがあり、その人格形成は、一朝一夕でなるものではありませんが、私どもは、その基礎を作り、その充実発展を期待しながら心身ともに健康で心豊かなたくましい人間づくりを目指し、次の幼児像を設定して、園・地域ぐるみでこれに取り組むようにしています。 1. 神を愛し人々を愛する子ども 2. 自分のことは自分でする子ども 3. 友だちと仲良く遊べる子ども 4. 物を創り出す子ども	
沿革 昭和30年 4月 日本基督教団千厩教会「週間教会学校幼児科」開設 31年 4月 保育室と牧師館を併設した会堂を建設。「ことつじ園」として幼児を募集 36年 3月 堀 友三郎牧師着任、こひつじ園園長に就任 42年 3月 「こひつじ幼稚園」の認可を得る 51年 9月 堀 友三郎牧師・園長急逝 52年 堀 秀子氏こひつじ幼稚園園長に就任 56年12月 「学校法人愛泉学園」寄附行為及び千厩小羊幼稚園が認可される。 平成20年 9月 「認可こども園」幼稚園型（認可外保育施設併設）認定 22年 5月 保育園設置認可を取得する（千厩こひつじ園） 22年 6月 認定こども園「幼保連携型」に変更する。 27年 4月 「子ども・子育て支援新制度」に移行。認定こども園 千厩小羊幼稚園・千厩こひつじ園とする。	研究主題 特別な支援を必要とする幼児の状態等に応じた計画的・組織的な指導のあり方について考える。 特色ある教育活動 ① 礼拝を守る 一日の中で友達と一緒に祈りをしながら私たちの気持ちをやさしい神様に向け、心から感謝や望み、そして願いを語りかける平和な落ち着いたひとときを持つようにしている。 ② 積極的な体力づくり イ、長期にわたるプール遊び 5月～10月 ロ、皮フ鍛錬（乾布摩擦、園内裸足運動） ③ 地域交流 イ、地域との触れ合いを求めて職場慰問（花の日・収穫労働感謝） ロ、高校生との共同作業（さつまいも苗植え～収穫） ④ 乳幼児と学童児の交流 おやつ作り体験や季節の行事を通して交流を深めている。 ⑤ 食育 農園作りと食育への関連を深める。	

V 学 校 保 健

1 児 童 ・ 生 徒 の 健 康

◆平成29年度身長・体重（男女別平均値）

学年		区分	身 長 (cm)			体 重 (kg)		
			全 国	岩手県	一関市	全 国	岩手県	一関市
小 学 校	1 年	男	116.5	117.0	116.4	21.4	21.9	21.8
		女	115.6	116.1	115.5	20.9	21.9	21.6
	2 年	男	122.5	123.4	123.1	24.0	25.0	24.9
		女	121.5	122.7	121.9	23.5	24.6	24.3
	3 年	男	128.1	128.6	128.7	27.2	28.2	28.3
		女	127.2	127.8	128.1	26.4	27.2	27.8
	4 年	男	133.6	133.7	133.4	30.6	31.0	31.2
		女	133.4	134.0	133.5	29.8	30.8	31.1
	5 年	男	138.8	139.1	139.7	34.0	35.3	36.5
		女	140.2	141.0	140.4	34.0	35.2	35.2
	6 年	男	145.2	145.5	145.7	38.4	39.0	39.7
		女	146.8	147.3	146.4	39.0	40.4	40.6
中 学 校	1 年	男	152.7	153.4	153.7	44.0	45.5	46.2
		女	151.9	152.5	151.4	43.7	45.3	44.7
	2 年	男	159.9	161.2	161.6	48.8	51.5	51.3
		女	154.8	154.5	154.8	47.2	47.9	48.9
	3 年	男	165.2	165.8	165.9	53.9	55.6	56.1
		女	156.5	156.0	156.2	50.0	50.5	50.5

2 学校保健団体等

(1) 平成30年度一関市立学校医・学校歯科医・学校薬剤師

【小学校】

H30.7.1現在

地域	学校名	内科	眼科	耳鼻科	歯科	薬剤師
一関	一関小学校	中野 淳平 佐藤 円 木村 義人	二宮 修也	宍戸 潔	山本 露子 佐藤 敏明 小野寺 大	千田 敬
	山目小学校	加藤 卓 小野寺 威夫 寺崎 公二	小原 啓之	菊池 淳	根本 昌幸 千田 隆一 本田 徹	小野寺佳美
	赤荻小学校	伊藤 久雄 阿部 俊也	桑島 研一	小岩 哲夫	根本 昌幸 明石 雅江	新妻 龍之
	中里小学校	佐藤 伸孝	桑島 研一	笠原 正明	佐々木 博	下田はる美
	滝沢小学校	及川 登	小原 啓之	宍戸 潔	小岩竜太郎	小野佐由美
	南小学校	佐藤 重雄 水野 生一 桂島 忠俊	小原 啓之	宍戸 潔	千田 隆一 中川 善浩 久保田宗次	小笠原妃恵子
	弥栄小学校	佐藤 重雄	小原 啓之	宍戸 潔	橋本 和彦	星 牧子
	萩荘小学校	氷室 一彦 中野 淳平	二宮 修也	笠原 正明	梁川 輝行 近江 健司	小財 直子
	巖美小学校	山田 昌彦	桑島 研一	笠原 正明	村上 哲	畠山 歩
花泉	舞川小学校	西城 寛	小原 啓之	笠原 正明	伊藤 廣明	小野 泰孝
	永井小学校	菅原 忠興	二宮 修也	小岩 哲夫	佐藤 奨	阿部 義博
	涌津小学校	菅原 忠興	二宮 修也	小岩 哲夫	吉原 睦	昆野 洋平
	油島小学校	本多 聡	二宮 修也	小岩 哲夫	吉原 睦	阿部 淳子
	花泉小学校	佐藤 誠之	二宮 修也	小岩 哲夫	千葉 清明	高橋浩太郎
	老松小学校	蓬田 邦彦	二宮 修也	小岩 哲夫	吉原 睦	阿部 義博
大東	金沢小学校	小野寺哲朗	二宮 修也	小岩 哲夫	千葉 清明	阿部 淳子
	大原小学校	吉田 浩昭	桑島 研一	笠原 正明	本多 洋之	今野 拓哉
	大東小学校	小原美樹夫	桑島 研一	笠原 正明	熊谷 博伸	梅森 康裕
	興田小学校	菊池 幸	二宮 修也	笠原 正明	佐藤 博幸	鈴木 里沙
千厩	猿沢小学校	薄田 徹 (猿沢診療所)	二宮 修也	笠原 正明	道又 俊 (猿沢診療所)	佐藤 千香
千厩	千厩小学校	角田 健也 岩本 浩之 菅原 正磨	小原 啓之	宍戸 潔	小原 健 (千厩歯科診療所) 畠山 康人 吉田 文和	白石 恵一
東山	東山小学校	齋藤 勝彦 阿部 昭弘	桑島 研一	笠原 正明	三浦 康弘 伊藤 伸也	宇田川康平
室根	室根東小学校	古澤 健一 (室根診療所)	二宮 修也	笠原 正明	古川 良俊 (室根歯科診療所)	白石 恵一
	室根西小学校	古澤 健一 (室根診療所)	二宮 修也	笠原 正明	古川 良俊 (室根歯科診療所)	白石 恵一
川崎	川崎小学校	千田 貴之	二宮 修也	小岩 哲夫	佐藤 正孝	皆川 登
藤沢	藤沢小学校	佐藤 元美 (藤沢病院)	木澤 純也 (岩手医科大学)	宍戸 潔	千葉 康	佐藤 一朗
	黄海小学校	佐藤 元美 (藤沢病院)	木澤 純也 (岩手医科大学)	宍戸 潔	菊池 光博	佐藤 一朗
	新沼小学校	佐藤 元美 (藤沢病院)	木澤 純也 (岩手医科大学)	宍戸 潔	千葉 康	佐藤 一朗

【中 学 校】

地域	学 校 名	内 科	眼 科	耳 鼻 科	歯 科	薬 剤 師
一 関	一 関 中 学 校	長澤 茂 佐藤 文夫	小原 啓之	宍戸 潔	久保田文吾 本田 徹	小笠原慈夫
	磐 井 中 学 校	小野寺威夫 寺崎 公二 木村 義人	桑島 研一	小岩 哲夫	中村 仁 梁川 輝行 加藤 史仁	伊藤 和恵
	一 関 東 中 学 校	寺崎 公二	小原 啓之	宍戸 潔	村上 哲	守屋 彰子
	桜 町 中 学 校	及川 登 鈴木 徹郎	二宮 修也	宍戸 潔	近江 健司 橋本 和彦	高橋 論
	萩 荘 中 学 校	氷室 一彦	二宮 修也	笠原 正明	細井 隆夫	佐藤 渉
	巖 美 中 学 校	山田 昌彦	桑島 研一	笠原 正明	清野 精仁	岩井 確司
	舞 川 中 学 校	桂島 忠俊	小原 啓之	笠原 正明	小岩竜太郎	小野寺左岐子
花 泉	花 泉 中 学 校 (内科・歯科は 学年毎)	佐藤 誠之 菅原 忠興 小野寺哲朗	二宮 修也	小岩 哲夫	千葉 清明 吉原 睦 佐藤 奨	阿部 淳子
大 東	大 原 中 学 校	薄田 徹 (猿沢診療所)	桑島 研一	笠原 正明	亀卦川一郎	今野 拓哉
	大 東 中 学 校	菅野 孝	桑島 研一	笠原 正明	道又 俊 (猿沢診療所)	宇田川康平
	興 田 中 学 校	菊池 幸	二宮 修也	笠原 正明	佐藤 博幸	鈴木 里沙
千 厩	千 厩 中 学 校	谷藤 正人 遠藤 威	小原 啓之	宍戸 潔	佐藤 晴耕	千葉 直子
東 山	東 山 中 学 校	齋藤 勝彦	桑島 研一	笠原 正明	三浦 康弘	伊藤 文子
室 根	室 根 中 学 校	古澤 健一 (室根診療所)	二宮 修也	笠原 正明	古川 良俊 (室根歯科診療所)	白石 恵一
川 崎	川 崎 中 学 校	千田 貴之	二宮 修也	小岩 哲夫	佐藤 正孝	皆川 登
藤 沢	藤 沢 中 学 校	佐藤 元美 (藤沢病院)	木澤 純也 (岩手医科大学)	宍戸 潔	千葉 康	佐藤 一朗

【幼 稚 園】

地域	学 校 名	内 科	眼 科	耳 鼻 科	歯 科	薬 剤 師
一 関	舞 川 幼 稚 園	佐藤 重雄	小原 啓之	笠原 正明	加藤 文明	阿部 清美
	真 滝 幼 稚 園	桂島 忠俊	小原 啓之	宍戸 潔	山本 露子	千田友紀子
	巖 美 幼 稚 園	加藤 卓	桑島 研一	笠原 正明	橋本 和彦	畠山 歩
	赤 萩 幼 稚 園	加藤 卓	桑島 研一	小岩 哲夫	小家 雅子	中村ちあき
	萩 荘 幼 稚 園	鈴木 徹郎	二宮 修也	笠原 正明	清野 精仁	昆野 洋平
	狐 禅 寺 幼 稚 園	及川 登	小原 啓之	笠原 正明	梁川 浩	菅原 敦子
	弥 栄 幼 稚 園	佐藤 重雄	小原 啓之	宍戸 潔	久保田智雄	小財 直子
花 泉	いずみの森幼稚園	本多 聡	二宮 修也	小岩 哲夫	吉原 睦	阿部 義博
大 東	摺 沢 幼 稚 園	菅野 孝	桑島 研一	笠原 正明	熊谷 博伸	宇田川康平
東 山	げいび幼稚園	阿部 昭弘	桑島 研一	笠原 正明	伊藤 伸也	伊藤 文子

(2) 一関市学校保健会役員

役職名	氏名	職業等	勤務先・所属先等
顧問	中野 淳平	医師	一関市医師会 会長
〃	金沢 純一	歯科医師	一関歯科医師会 会長
〃	小笠原 慈夫	薬剤師	一関薬剤師会 会長
〃	杉江 琢美	保健所長	一関保健所
〃	小菅 正晴	教育長	一関市教育委員会
会長	谷村 晴子	校長	中里小学校(市校長会)
副会長	寺崎 公二	医師	寺崎内科胃腸科医院 (医師会)
〃	徳永 規幸	市P連会長	厳美小学校PTA会長 (市P連)
理事	齊藤 純也	医師	斉藤産婦人科医院 (医師会)
〃	小岩 哲夫	〃	こいわ耳鼻咽喉科・アレルギー科クリニック(医師会)
〃	木村 義人	〃	木村消化器内科医院 (医師会)
〃	小家 雅幸	歯科医師	小家歯科医院 (歯科医師会)
〃	田村 満博	薬剤師	かりん薬局 (薬剤師会)
〃	藤野 清貴	校長	川崎小学校(市校長会)
〃	樋口 厚子	養護教諭	大原小学校
〃	菅原 照子	養護教諭	厳美中学校
〃	佐藤 智子	栄養教諭	萩荘小学校・西部学校給食センター
〃	佐々木 亜喜子	栄養教諭	一関東中学校・真滝学校給食センター
〃	小山 祐二	教育次長	一関市教育委員会
監事	門間 健一	校長	厳美小学校(市校長会)
〃	金野 幸永	市P連監事	大原小学校PTA会長

(3) 一関市学校保健会評議員

番号	氏名	職業等	勤務先・所属先等
1	土屋 輝夫	院長	岩手県立南光病院 (医師会)
2	二宮 修也	医師	二宮眼科医院 (医師会)
3	菅原 康二	医師	菅原整形外科クリニック (医師会)
4	細井 隆夫	歯科医師	細井歯科医院 (歯科医師会)
5	阿部 淳子	薬剤師	あさひ調剤薬局 (薬剤師会)

番号	氏名	所属校等	番号	氏名	所属校等
6	高久 健一	一関北地域PTA	32	千葉 いずみ	千厩小
7	阿部 和宏	一関東地域PTA	33	村上 麗子	東山小
8	加藤 佑弥	花泉地域PTA	34	佐々木 文子	藤沢小
9	武田 祐一	大東地域PTA	35	高橋 せつ子	黄海小
10	三浦 毅	千厩・室根地域PTA	36	及川 美根子	新沼小
11	西 洋知	東山・川崎・藤沢地域PTA	37	及川 久美	室根東小
12	千葉 比佐子	一関小	38	吉田 和枝	室根西小
13	高橋 真由美	山目小	39	千葉 朋子	川崎小
14	及川 恵子	赤荻小	40	氏家 英子	一関中
15	菅原 智香子	中里小	41	大友 久美子	磐井中
16	須藤 智織	滝沢小	42	佐々木 久美	一関東中
17	和賀 康子	南小	43	大山 修子	桜町中
18	菅原 久美	弥栄小	44	岩田 真由美	萩荘中
19	佐藤 聖子	萩荘小	45	菅原 照子	厳美中
20	小野寺 雅子	厳美小	46	西山 恵子	舞川中
21	小澤 ちさと	舞川小	47	吉川 美奈子	花泉中
22	中村 加代子	永井小	48	皆上 裕美子	大原中
23	内田 理利子	涌津小	49	山田 理恵	大東中
24	千葉 伸江	油島小	50	高橋 紀子	興田中
25	千葉 友子	花泉小	51	千葉 トヨ子	千厩中
26	菅原 佳織	老松小	52	山形 知美	東山中
27	渡邊 幸子	金沢小	53	小山 ゆかり	藤沢中
28	樋口 厚子	大原小	54	高橋 節子	室根中
29	尾形 千春	大東小	55	中田 幸子	川崎中
30	山根 明日美	興田小	56	千葉 百合子	一関一附中
31	千葉 初代	猿沢小			

事務局：一関市立中里小学校内 TEL 23-2231

事務局長：小山 恵義

事務局員：伊藤 賢治（市教委） 西山亜希恵 大内真理子

3 学校給食

平成30年5月1日現在

(1) 学校給食の現状

① 年間予定回数（28年度から統一）

小学校 170回

中学校 164回

② 給食費（28年度から統一）

小学校 単価 260円 年額 44,200円

中学校 単価 308.53円 年額 50,600円

③ その他

米飯給食は、週4日実施。

食物アレルギーを有する児童生徒に対しては、個別に対応。

④ 学校給食センター配食状況等

施設名	喫食者数 (教職員含む)	調理場の職員構成等	
		栄養教諭・学校栄養職員等	調理員
西部学校給食センター 所長：千葉 稔	20	栄養教諭 2名	委託
山目小学校	574	〒021-0902	
萩荘小学校	400	萩荘字境ノ神173	
厳美小学校	147	電話 32-2220 FAX 32-1115	
磐井中学校	529	開設：平成17年4月	
厳美中学校	109		
(小3中2 計5校 小計	1779)	
西部第二学校給食センター 所長：千葉憲明	16	栄養教諭 1名	委託
		〒021-0902	
赤萩小学校	333	萩荘字境ノ神170-1	
中里小学校	219	電話 32-1600 FAX 32-1601	
萩荘中学校	209	開設：平成28年4月	
(他 平泉中学校 ※給食事務委託	214		
(小2中2 計4校 小計	991)	
真滝学校給食センター 所長：佐藤敬悦	20	栄養教諭 1名	17
一関小学校	680	〒029-0132	
南小学校	474	滝沢字水口103-63	
舞川小学校	113	電話 21-1320 FAX 21-1321	
滝沢小学校	164	開設：平成22年4月	
弥栄小学校	51		
一関東中学校	105		
舞川中学校	56		
(小5中2 計7校 小計	1663)	

施設名	喫食者数 (教職員含む)	調理場の職員構成等	
		栄養教諭・学校栄養職員等	調理員
花泉学校給食センター 所長：阿部恵悦	26	学校栄養職員 2名	委託
永井小学校	122	〒029-3205	
涌津小学校	138	花泉町涌津字松子沢21	
油島小学校	68	電話 82-3615 FAX 82-3357	
花泉小学校	164	開設：昭和48年4月	
老松小学校	110	改築：平成13年4月	
金沢小学校	123		
黄海小学校	105		
花泉中学校	342		
一関中学校	266		
桜町中学校	326		
(小7中3 計10校 小計	1,790)	
大東学校給食センター 所長：菊池 覚	21	栄養教諭 1名	18
大原小学校	147	〒029-0523	
大東小学校	282	大東町摺沢字上塚ノ沢37-1	
猿沢小学校	79	電話 75-2774 FAX 75-2789	
興田小学校	116	開設：平成20年4月	
東山小学校	292		
大原中学校	89		
大東中学校	191		
興田中学校	79		
東山中学校	177		
(他 摺沢幼稚園	41	※補食給食	
(小5中4園1 計10施設 小計	1,514)	
千厩学校給食センター 所長：小野寺 篤	24	栄養教諭 1名 学校栄養職員 1名	委託
千厩小学校	517		
清明支援学校千厩分教室小学部	19	〒029-0803	
室根東小学校	92	千厩町千厩字上駒場290-1	
室根西小学校	121	電話 51-3066 FAX 51-3067	
川崎小学校	133	開設：平成25年4月	
藤沢小学校	213		
新沼小学校	36		
千厩中学校	315		
清明支援学校千厩分教室中学部	9		
室根中学校	118		
川崎中学校	99		
藤沢中学校	195		
(小7中5 計12校 小計	1,891)	
全体	合計	人	人
6施設	9,628	9	35

(2) 学校給食センター

<h2>西部学校給食センター</h2>	〒021-0902 一関市萩荘字境ノ神173 TEL : 32-2220 FAX : 32-1115 E-mail : seikyu@city.ichinoseki.iwate.jp	所長：千葉 稔 職員等：職員4人、委託15人 配食校数：5校 調理能力：2,100食
	<p>魅力ある食事の工夫</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地元食材を積極的に使用している。 ② 目で楽しむことを念頭に彩り良い食材を選択している。 ③ 季節に合ったメニューと合わせ、季節行事にこだわった食事やデザートを提供することになっている。 ④ その日のメニューの意味やいわれを説明したものを学校に提供し、昼時間に放送するなど給食に興味が出るよう工夫している。 <p>食材の確保 4つの産直代表等で組織する「食材供給連絡協議会」の協力により、地元中心の食材の確保に努めている。</p> <p>学校との連携</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 6月の食育月間には、春の交流給食として、地域の食材生産者等や食材取扱い業者の団体（一関市給食センター協力）の代表が、希望のあった学校の子供たちと一緒に給食を食べる機会を作っている。 ② 秋には隣接小学校の学習発表会に合わせ、給食ができあがるまでの資料展示や試食会を開催し、150食分（主菜、副菜、汁物）を無料で地元の方々に提供するなど、給食への関心を高めてもらう活動をしている。 ③ 1月には全国学校給食週間に合わせ、いろいろな地方の郷土料理や様々な国の料理などを提供するとともに、実際に給食を作っている調理員全員による、萩荘小学校での交流給食を実施している。 <p>施設の概要</p> <p>【構造】 鉄骨造平屋建 【床面積】 1002.62㎡ 【敷地面積】 40,062.75㎡ 【厨房方式】 ドライシステム方式</p>	
<p>沿革</p> <p>平成17年4月 旧一関市初の給食センターとして、萩荘小学校の隣接地に開設。達古袋小学校、厳美小学校、厳美中学校、中里中学校、山目中学校、萩荘小学校、萩荘中学校の7校へ供給。 調理能力 2,100食</p> <p>平成22年4月 山目小学校へ供給を開始し、8校へ供給。</p> <p>平成25年4月 達古袋小学校が厳美小学校に統合し、7校へ供給。</p> <p>平成27年4月 中里中学校と山目中学校の統合と、本寺小中学校の共同調理場の廃止に伴う本寺小中学校への供給開始により、8校に供給。</p> <p>平成28年4月 調理業務を民間委託。萩荘中学校が西部第二給食センターからの供給となり、7校に供給。</p> <p>平成30年4月 本寺小学校と厳美小学校、本寺中学校と厳美中学校の統合により、5校に供給。</p>		

<h2>西部第二学校給食センター</h2>	〒021-0902 一関市萩荘字境ノ神170-1 TEL : 32-1600 FAX : 32-1601 E-mail : seikyuni@city.ichinoseki.iwate.jp	所長：千葉 憲明 職員等：職員3人、委託12人 配食校数：4校 調理能力：1,000食
	<p>魅力ある食事の工夫</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地元食材を積極的に使用している。 ② 目で楽しむことを念頭に彩り良い食材を選択している。 ③ 季節に合ったメニューと合わせ、季節行事にこだわった食事やデザートを提供することになっている。 ④ その日のメニューの意味やいわれを説明したものを学校に提供し、昼時間に放送するなど給食に興味が出るよう工夫している。 <p>食材の確保 4つの産直代表等で組織する「食材供給連絡協議会」の協力により、地元中心の食材の確保に努めている。</p> <p>施設の特徴</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 調理場の床を常に乾いた状態にして菌の繁殖や水はねによる二次汚染を防止するドライシステムを採用。 ② 食材検収前室を2ヶ所とし、魚肉卵類と野菜果物類を分けて搬入し、食材の交差による汚染防止や作業の安全性を確保。 ③ アレルギー児童生徒に対応するため、アレルギー調理室を完全個室として設置。 ④ 食育に配慮するため、下処理室・調理室内を広く見学できるよう2階に研修室を配置。 <p>施設の概要</p> <p>【構造】 鉄骨造一部2階建 【床面積】 749.98㎡ 【敷地面積】 5,385.44㎡ 【厨房方式】 ドライシステム方式</p>	
<p>沿革</p> <p>平成28年4月 一関市内の小中学校全給食センター化を実現するため、西部学校給食センターの隣接地に開設。赤萩小学校、中里小学校、萩荘中学校、平泉中学校の4校へ供給を開始。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理は業者委託とし、調理能力は1日1,000食。 ・熱源は電気とガスの併用。 ・配送はコンテナ車3台による業務委託。 		

<h2>真滝学校給食センター</h2>	〒029-0132 一関市滝沢字水口103-63 TEL : 21-1320 FAX : 21-1321 E-mail : matakikyu@city.ichinoseki.iwate.jp	所長：佐藤敬悦 職員等：職員19人、委託5人 配食校数：7校 調理能力：1,600食
	現在の供給校 一関小学校・南小学校・滝沢小学校・弥栄小学校・舞川小学校・ 一関東中学校・舞川中学校	
沿革 平成22年 4月19日 一関地域の滝沢小学校、弥栄小学校、一関中学校、桜町中学校、舞川中学校、川崎地域の薄衣小学校、門崎小学校、川崎中学校の9つの小中学校に学校給食を開始（約1,600食）。 平成24年 4月 平泉町からの要望により、平泉町立平泉中学校に学校給食を供給開始 平成27年 4月 平成26年度までの自校給食校の一関小学校、中里小学校、舞川小学校に供給を開始。 川崎小学校、川崎中学校が千厩学校給食センターからの供給に変更。 一関中学校、桜町中学校が花泉学校給食センターからの供給に変更。 中里小学校、平泉中学校が西部第二学校給食センターからの供給に変更。 平成28年 4月 平成27年度まで自校給食校の南小学校に供給を開始。	魅力ある食事の工夫 ① 栄養バランスのとれた食事内容とし、健康の保持増進を図る。 ② 地場産品を取り入れた献立の実施。 ③ 郷土食・行事食の実施（年間を通じた行事に合わせて提供します）。 ④ リクエスト給食の実施（学校ごと及び小学6年生・中学3年生のリクエスト）。	
施設の特徴 ① 施設内の厨房機器や空調はオール電化方式を採用。 ② より衛生的で安全性が高い調理システムを導入し、働く人にとっても快適で作業効率の良い環境を整備。		
施設の概要 【構造】 2階建オール電化施設 【敷地面積】 4,374.82㎡ 【床面積】 993.85㎡ 【厨房方式】 ドライシステム方式		

<h2>花泉学校給食センター</h2>	〒029-3205 一関市花泉町涌津字松子沢21 TEL : 82-3615 FAX : 82-3357 E-mail : hanakyu@city.ichinoseki.iwate.jp	所長：阿部恵悦 職員等：職員4人、委託24人 配食校数：10校 調理能力：1,950食
	現在の供給校 永井小学校、涌津小学校、油島小学校、花泉小学校、老松小学校 金沢小学校、黄海小学校、花泉中学校、一関中学校、桜町中学校	
沿革 昭和48年 4月 花泉町老松地内に「花泉町立学校給食センター」を開設し、町内の小中学校に給食を配食（直営）。給食輸送車3台配車。調理業務を民間会社（株式会社メフォス）に委託。 平成2年 4月 花泉町涌津字松子沢地内に完全ドライ方式の「花泉町立学校給食センター」を移転新築。 13年 3月 給食会計を「公会計」から「私会計」に移行。 20年 4月 給食配食校を花泉町内の小中学校（8校）と藤沢町内の小中学校（4校）を加え、1,908食を供給。 24年 4月 給食配食校が花泉町内の小中学校と藤沢町黄海小学校に変更になり、1,300食を供給。調理業務委託先の変更（一富士フードサービス株式会社） 25年 4月 厨房内の空調設備・ボイラー・配管の更新工事を行う。 26年 4月 給食配食校に新たに一関中学校・桜町中学校が加わり、1,853食を供給。新たに給食配送車2台を増車し、5台を保有。 27年 4月	表彰履歴 平成28年 1月 8日 岩手県学校給食センター協議会長表彰（調理コンクール） 平成28年 10月 15日 全国学校給食甲子園実行委員会表彰（第11回全国給食甲子園） 平成30年 7月 28日 厚生労働大臣表彰（栄養関係功労者表彰）	
魅力ある食事の工夫 ① 地元食材を積極的に使用しています。 ② 希望献立&バイキング給食：希望献立は、献立作成の留意点を押さえた後、各学校で考案した献立を給食で提供している。また、「バイキング給食」は卒業祝いの意味を込め6年生を対象に実施している。 ③ アンコール給食（中学校） 中学校3年生を対象に「卒業おめでとう。」の気持ちを込めて、もう一度食べたい献立を募り、3月に取り入れている。その際、給食の思い出なども記録してもらい情操教育の一助としている。 ④ 学校給食試食会（市民）：給食センター2階研修室を会場に、学校給食の試食体験 給食に関する講話を行っている。 ⑤ 給食まつりの開催：花泉中学校の文化祭に合わせて、中学校調理室を会場に「給食まつり」を開催し、地域、家庭、学校が健康への関心を深める機会としている。		
施設の概要 【構造】 鉄骨造一部2階建 【敷地面積】 3,256.66㎡ 【建築面積】 871.90㎡ 【床面積】 841.50㎡ 【厨房方式】 ドライシステム方式		

大東学校給食センター

〒029-0523
一関市大東町摺沢字上塚ノ沢37-1
TEL : 75-2774 FAX : 75-2789
E-mail : daikyu@city.ichinoseki.iwate.jp

所長：菊池 覚
職員等：職員21人、委託4人
配食校数：9校 1施設
調理能力：2,000食



沿革

平成20年4月1日 従来の大原、摺沢、興田及び東山学校給食センターを一本化し、合併後の一関市で初めて旧町村枠を超えた施設として開設。
当初は大原小、内野小、摺沢小、興田小、猿沢小、浜民小、曾慶小、長坂小、田河津小、松川小、大原中、大東中、興田中、猿沢中、東山中、内野保育園、摺沢幼稚園、丑石児童館の15校、3施設に供給。
平成26年4月 学校統合等により、大原小、大東小、興田小、猿沢小、東山小、大原中、大東中、興田中、東山中、摺沢幼稚園の9校、1施設に供給。

魅力ある食事の工夫

- ① 地元食材を積極的に取り入れる。
- ② 郷土料理や行事食を積極的に取り入れ、地域性のある献立にしている。
- ③ 様々な食材や料理を取り入れ、多くの食体験をできるようにしている。

学校との連携

- ① 栄養教諭と調理員が学校を訪問し、子ども達と一緒に給食を食べながら交流する「ふれあい給食」を実施している。作り手の顔が見えることで、子ども達の感謝の心を育てる。
- ② 学級担任や給食担当者と連携し、児童生徒の実態に合わせた食に関する指導を行っている。
- ③ 生産者が学校を訪問し、子ども達と一緒に給食を食べる「生産者交流会」を実施している。食材を育てる大変さや生産者の思いを知ることで、生産者や給食への感謝と理解が深まる。
- ④ 子ども達が給食センターを訪問し、調理作業の見学を行っている。
- ⑤ 試食会を実施し、保護者の給食に対する理解を深める。

施設の特徴

- ① ドライシステム、交差のない動線を採用し衛生的な環境。
- ② 施設内の厨房機器や空調などはオール電化方式を採用することにより衛生的で安全性が高く、働く人にも快適な環境。
- ③ 夜間電力利用の氷蓄熱式空調システムと大型電気温水器を利用し経費削減を図っている。

施設の概要

【構造】 鉄骨造一部2階建 【延床面積】 991.58㎡
【敷地面積】 6,159㎡ 【厨房方式】 ドライシステム方式

千厩学校給食センター

〒029-0803
一関市千厩町千厩字上駒場290-1
TEL : 51-3066 FAX : 51-3067
E-mail : senkyu@city.ichinoseki.iwate.jp

所長：小野寺 篤
職員等：職員4人、委託27人
配食校数：12校
調理能力：2,200食



沿革

平成25年4月1日 従来の千厩及び室根学校給食センターを一本化し、新たに千厩学校給食センターとして開設。
千厩小学校、小梨小学校、清田小学校、奥玉小学校、磐清水小学校、岩手県立一関清明支援学校千厩分教室小学部、室根東小学校、室根西小学校、藤沢小学校、新沼小学校、千厩中学校、岩手県立一関清明支援学校千厩分教室中学部、室根中学校、藤沢中学校の14校に供給。
川崎小学校、川崎中学校を加えた16校に供給。
平成30年4月 千厩小学校、小梨小学校、清田小学校、奥玉小学校、磐清水小学校が統合した新千厩小学校の開校により、12校に供給。

魅力ある食事の工夫

- ① 地元食材を積極的に使用している。
- ② 季節にあったメニューと合わせ、季節行事にこだわった食事やデザートを提供している。
- ③ 多様な食材を使用し、栄養価を高め、いろいろな味にふれ、味覚の幅を広げるとともに、児童生徒の食べやすさを考慮した調理方法や味付けをしている。

学校との連携

- ① 栄養教諭と学校栄養職員が希望のあった学校の子も達と一緒に給食を食べながら、食事の重要性や学校給食の献立の考え方などを学習する「ふれあい給食」を実施している。
- ② 児童生徒の食への興味関心を深め、知識や自分で選択する力を高めるため、学級担任と連携した食の授業を行っている。

施設の特徴

- ① ドライシステムを採用した衛生的な環境。
- ② 施設内の厨房機器や空調などはオール電化方式を採用、衛生的で安全性が高く、働く人にも快適な環境。

施設の概要

【構造】 鉄骨造一部2階建 【延床面積】 1,104.33㎡
【敷地面積】 5,944㎡ 【厨房方式】 ドライシステム方式

VI 各種委員会

1 「中学生の社会体験学習」実行委員会

氏名	所属	職名
船山賢治	一関商工会議所	業務課長
菅原義則	一関商工会議所東山支所	支所長
菊地秀壽	一関商工会議所藤沢支所	支所長
藤倉忠光	一関市商業観光課	課長
佐藤和子	一関市労働政策課	課長
樽石敬一	一関市労働政策課	労働政策係長
金野馨	ジョブカフェ一関	センター長
小山久美	ジョブカフェ一関	キャリア教育担当
阿部英恵	ジョブカフェ一関	キャリア教育担当
福井信夫	一関中学校	校長
皆川啓	磐井中学校	校長
藤原良治	大東中学校	校長
舞石実穂	一関中学校	P T A 代表
阿部友紀	磐井中学校	P T A 代表
伊藤玉男	大東中学校	P T A 代表
小菅正晴	一関市教育委員会	教育長

<事務局>

小山祐二	一関市教育委員会	教育部次長兼学校教育課長
八木浩司	一関市教育委員会	主幹
佐藤宣裕	一関市教育委員会	課長補佐兼学校教育係長
及川仁	一関市教育委員会	指導主事
菊池千佳	一関市教育委員会	指導主事
山本克哉	一関市教育委員会	指導主事
柳原和歌子	一関市教育委員会	指導主事
伊藤彰子	一関市教育委員会	指導主事
高橋美友紀	一関市教育委員会	指導主事
中村隆一	一関市教育委員会	指導主事(担当)

<実行委員会役員>

委員長	一関中学校	校長
副委員長	磐井中学校	校長
	大東中学校	校長

2 一関市就学支援委員会

(1) 目的

特別な教育的支援を必要とする就学予定者、児童、生徒（以下「要支援児等」という）について適切な教育的対応を行うため。

(2) 業務

① 要支援児等の障がいの程度について専門的な検査診断を行い、特別支援学校又は特別支援学級への就学または入級に係る適正な判断を行うこと。

② 要支援児等に対する教育的対応について、適切な相談、助言及び支援を行うこと。

(3) 委員

分類	所属	職名	氏名	備考
1	病院	医師	平野 貞夫	委員
2		院長	土屋 輝夫	委員
3	特別支援学校	副校長	及川 康	委員
4		教諭	千葉 育子	委員・調査員
5		教諭	檜山 祐子	委員・調査員
6	関係機関【市】	一関子育て支援センター 主査	及川 愛	委員
7		一関子育て支援センター 療育指導員	佐藤 千萩	調査員
8		一関子育て支援センター 療育指導員	小野寺 久美	調査員
9		一関子育て支援課 保健師	阿部 愛	委員・調査員
10		一関子育て支援センター 特別支援コーディネーター	細川 彩子	委員・調査員
11		一関子育て支援センター 特別支援コーディネーター	館澤 暁美	委員・調査員
12		花泉支所保健福祉課 保健主査	藤島 和江	調査員
13		大東支所保健福祉課 保健師	佐藤 智里	調査員
14		千厩支所保健福祉課 主任保健師	三浦 真理	調査員
15		東山支所保健福祉課 主任保健師	合口 奈津子	調査員
16	室根支所保健福祉課 保健主査	伊東 幸子	調査員	
17	川崎支所保健福祉課 主任保健師	熊谷 聡美	調査員	
18	藤沢支所保健福祉課 主任保健師	熊谷 美鈴	調査員	
19	幼稚園	弥栄幼稚園 園長	岩本 智子	委員
20	小中学校 (校長)	山目小学校 校長	千田 智明	委員長
21		萩荘小学校 校長	佐藤 毅	副委員長
22		室根東小学校 校長	高橋 澄夫	副委員長
23		藤沢小学校 校長	須藤 壽弘	委員
24		花泉中学校 校長	横田 一平	委員
29	小中学校 (教諭)	山目小学校 教諭	大石 良子	調査員
30		山目小学校 教諭	佐藤 貴子	調査員
31		萩荘小学校 教諭	吉田 涼子	調査員
32		赤萩小学校 教諭	杉山 千恵	調査員
33		赤萩小学校 教諭	千葉 貴和子	調査員
34		涌津小学校 教諭	伊藤 さゆり	調査員
35		千厩小学校 教諭	及川 美智子	調査員
36		東山小学校 教諭	葛西 孝子	調査員
37		東山小学校 教諭	植村 美栄子	調査員
38		大東小学校 教諭	金野 佳代子	調査員
39		藤沢小学校 教諭	加藤 覚子	調査員
40		室根東小学校 教諭	千葉 紀江	調査員
41		一関東中学校 教諭	千葉 志緒里	調査員
42		萩荘中学校 教諭	福井 真幸	調査員

事務局	一関市教育委員会	教育部次長兼学校教育課長	小山 祐二	
		指導主事	及川 仁	一関地域担当
		指導主事	菊池 千佳	大東地域担当
		指導主事	中村 隆一	室根・千厩地域担当
		指導主事	伊藤 彰子	川崎・東山地域担当
		指導主事	高橋 美友紀	藤沢地域担当
		指導主事	柳原 和歌子	花泉地域担当
		指導主事	山本 克哉	一関地域担当
		特別支援コーディネーター	菊地 恵子	西地区担当
		特別支援コーディネーター	佐野 容子	東地区担当

3 一関市生徒指導推進連絡協議会

(1) 目的

児童生徒の健全育成と非行防止の強化を図ることを目的とする。

(2) 事業

- ① 児童生徒の健全育成と非行防止に関する情報交換、研究協議、研修及び推進体制の整備等を行う。
- ② 健全育成対策と非行防止の調査研究に関すること。
- ③ その他目的達成のために必要な事業に関すること。

(3) 構成員

【顧問】

一関市教育委員会	教育長	小菅正晴
一関警察署	署長	菅崎文雄
千厩警察署	署長	大沼淳司

【委員】

組 織 名	役 職	所 属	職 名	氏 名
一関地域学校警察連絡協議会	会長	舞川中学校	校長	佐藤学
花泉地域生徒指導連絡協議会	会長	花泉中学校	校長	横田一平
大東地域生徒指導連絡協議会	会長	大原中学校	校長	及川賢一
千厩地域生徒指導連絡協議会	会長	千厩中学校	校長	鈴木秀行
東山地域生徒指導・学校警察連絡協議会	会長	東山中学校	校長	鈴木俊行
室根地域学校警察等連絡協議会	会長	室根中学校	校長	熊谷佳美
川崎地域生徒指導連絡協議会	会長	川崎中学校	校長	中嶋真理
藤沢地域生徒指導連絡協議会	会長	藤沢中学校	校長	瀧野澤 徹
県南生徒指導連合会	会長	花泉高等学校	校長	千葉治
所 属		職 名 ・ 氏 名		
一 関 警 察 署		生活安全課長	獅子内智和	
千 厩 警 察 署		生活安全課長	菅波進	
一 関 市 教 育 委 員 会		教育部次長兼学校教育課長	小山祐二	

【事務局】

組 織 名	役 職	所 属	職 名	氏 名
一関地域学校警察連絡協議会	事務局長	舞川中学校	副校長	和賀達也
花泉地域生徒指導連絡協議会	事務局長	花泉中学校	教諭	千葉秀樹
大東地域生徒指導連絡協議会	事務局長	大原中学校	副校長	佐々木匡人
千厩地域生徒指導連絡協議会	事務局長	千厩中学校	副校長	吉田均
東山地域生徒指導・学校警察連絡協議会	事務局長	東山中学校	副校長	平野純一
室根地域学校警察等連絡協議会	事務局長	室根中学校	副校長	菅原正浩
川崎地域生徒指導連絡協議会	事務局長	川崎中学校	副校長	宮川琢夫
藤沢地域生徒指導連絡協議会	事務局長	藤沢中学校	副校長	後藤康
県南生徒指導連合会	事務局長	花泉高等学校	教諭	藤枝覚
所 属		職 ・ 氏 名		
一 関 市 教 育 委 員 会		学校教育課長補佐兼主幹	八木浩司	
		学校教育課長補佐兼学校教育係長	佐藤宣裕	
		学校教育課学校教育係主査	長坂明比古	
		学校教育課指導主事	及川仁	
		学校教育課指導主事	山本克哉	

4 一関市いじめ問題対策連絡協議会

(1) 目的

いじめの防止等（いじめ防止、いじめの早期発見及びいじめの対処）に関する関係機関の連携推進を図るため、一関市いじめ問題対策連絡協議会を設置する。

(2) 所掌事務

- ① いじめの防止等に係る情報共有に関すること。
- ② いじめの防止等に係る関係機関等の連携の推進に関すること。
- ③ その他いじめの防止等に関し必要と認める事項に関すること。

(3) 委員

所 属	職 名	氏 名	備 考
一関児童相談所	上席児童福祉司	加藤 秀樹	
盛岡法務局水沢局	総務課長	一戸 貢	
一関警察署	生活安全課長	獅子内 智和	
千厩警察署	生活安全課長	菅波 進	
南小学校	校長	小島 正明	
舞川中学校	校長	佐藤 学	
県南教育事務所	指導主事	松本 孝嗣	
県南教育事務所	在学青少年指導員	加藤 清	
一関市保健福祉部	次長兼子育て支援課長	黒井 直子	
一関市教育委員会	教育長	小菅 正晴	
一関市教育研究所	教育相談員	浅沼 卓	
一関市教育研究所	教育相談員	戸田 良一	

【事務局】

所 属	職 名	氏 名	備 考
一関市教育委員会	教育部次長兼学校教育課長	小山 祐二	
	学校教育課長補佐兼主幹	八木 浩司	
	指導主事	及川 仁	
	指導主事	菊池 千佳	
	指導主事	中村 隆一	
	指導主事	伊藤 彰子	
	指導主事	高橋 美友紀	
	指導主事	柳原 和歌子	
	指導主事	山本 克哉	

5 一関市学校給食センター運営委員会

市内学校給食センターを適正かつ円滑に運営するため、保護者代表・学校長・学識経験者を委員として委嘱し、学校給食に係る運営全般、衛生管理、食育、産地地消などの諸問題について情報交換を行い、各地域との相互連携を図りながら、望ましい学校給食のあり方を協議する。

一関市学校給食センター運営委員名簿（平成30～31年度）

（順不同・敬称略）

No.	氏名	所属	区分
1	門 間 健 一	巖美小学校長	西部給七 校長代表
2	佐 藤 伸 哉	赤荻小学校長	西部第二給七 校長代表
3	及 川 美香子	滝沢小学校長	真滝給七 校長代表
4	庄 司 善 行	老松小学校長	花泉給七 校長代表
5	石 橋 多賀子	興田小学校長	大東給七 校長代表
6	鈴 木 秀 行	千厩中学校長	千厩給七 校長代表
7	斎 藤 禎 弘	萩荘小学校PTA会長	西部給七 保護者代表
8	岩 淵 良 久	平泉中学校PTA会長	西部第二給七 保護者代表
9	狩 原 幸 典	南小学校PTA会長	真滝給七 保護者代表
10	加 藤 佑 弥	金沢小学校PTA会長	花泉給七 保護者代表
11	菊 地 昌 斉	猿沢小学校PTA会長	大東給七 保護者代表
12	小野寺 新 吾	室根東小学校PTA会長	千厩給七 保護者代表
13	渡 邊 美紀子	修紅短期大学 食物栄養学科講師	学識経験者
14	小野寺 久美子	一関市食生活改善推進員協議会 理事	学識経験者
15	佐 藤 徳 行	一関保健所 環境衛生課長	学識経験者
16	米 倉 正 志	県南教育事務所 指導主事	学識経験者
17	阿 部 繁 樹	一関市農林部農政課 課長補佐兼農産物流通係長	学識経験者

※1 任 期：2年

※2 委嘱期間：平成30年8月1日～平成32年3月31日

6 一関市幼・小・中・高・特・高専・大 学校運営推進協議会

(1) 目 的

一関市の幼稚園の園長、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、工業高等専門学校の校長、及び大学の学長等が、それぞれの教育の諸問題について情報を交換するとともに、共通の課題を明らかにし、その解決の方策を協議することにより、地域における一貫した教育の推進体制の充実に資する。

(2) 所掌事項

推進協議会は、学校教育に関する情報交換、研究協議、研修及び推進体制の整備等を行う。

- ① 豊かな心を育成する道徳教育の充実にすること。
- ② 健全な個性の育成を図る生徒指導の改善にすること。
- ③ 学力向上を図る学習指導の改善にすること。
- ④ 体位・体力の向上及び健康教育の推進にすること。
- ⑤ その他学校教育にすること。

(3) 役員・運営委員

役 職	氏 名	職 名
会 長	芦 宏	大東小学校長
副 会 長	小野寺 孝	桜町中学校長
副 会 長	遠 藤 可奈子	一関第一高等学校長
運営委員	小 坂 恵 子	愛心幼稚園長
運営委員	松 岡 康 夫	菽荘幼稚園長
運営委員	吉 田 正 道	一関工業高等専門学校長
運営委員	牧 野 順四郎	修紅短期大学長

7 一関市奨学生選考委員会

一関市奨学金は、一関市に住所を有する者の子女であって、高等学校以上の学校に在学し、経済的な理由により就学が困難な者に対し一関市奨学金を貸与し、人材を育成することを目的とする。

- (1) 奨学金の額
- | | |
|--------------|-------------|
| 高等学校等に在学する者 | 月額 12,000 円 |
| 高等専門学校に在学する者 | 月額 20,000 円 |
| 大学等に在学する者 | 月額 45,000 円 |

- (2) 平成30年度の貸与の状況（平成30年7月1日現在）

区 分	高校生等	高 専 生	大学生等	計
新 規	15	1	62	78
継 続	23	4	97	124
計	38	5	159	202

- (3) 奨学生選考委員会委員

委 員 長	今 野 利 昭	委 員	佐 藤 親 幸
委員長職務代理者	小野寺 孝	委 員	伊 師 みゆき
委 員	遠 藤 可奈子	委 員	下 村 透
委 員	佐 伯 幸 雄		

Ⅶ 平成30年度一関市教育研究所事業

I 運営方針

- 1 本市における教育課題に対応した調査研究や、教員の資質向上、学力向上の取り組みへの指導・助言などの学力向上推進事業を行うことにより、本市の学力の向上に努める。
- 2 児童生徒の学校適応を図るための教育実践や教育相談事業、各園・各校と連携した指導・援助などの教育相談事業を行うことにより児童生徒の健全育成に努める。
- 3 教育の今日的課題や授業の改善に対応した研究・研修を行うことにより、教員の資質向上と指導力の育成に努める。
- 4 教育に関する資料の収集・整備・保存や教育情報発行等の充実を図り、研究・研修活動に対する資料提供に努める。

Ⅱ 運営の重点

- 1 平成30年度からの「ことばの時間」全園・全小学校実施に係る研究・実践の推進
- 2 夏期研修講座における教科の授業改善研修講座の実施
- 3 教員の資質向上と校内研修の活性化のための拡大校内研の継続と改善
- 4 教員の働き方等に関する研修会（教育講演会）の実施
- 5 わかる授業づくり「構造的板書とテンポよい授業」の推進

Ⅲ 運営組織

1 運営委員会

- (1) 運営委員は、9名とし、教育委員会がこれを委嘱する。
- (2) 運営委員会は、必要に応じ開催し、所長より提案された事項について協議し、運営委員会の意見を集約して具申する。

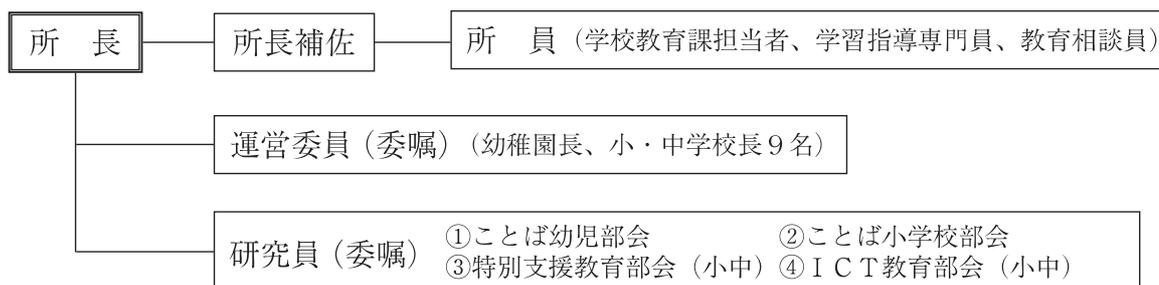
2 研究所員

- (1) 研究所員は以下の担当者で構成する。
 - ① 所長：学校教育課長
 - ② 所長補佐：学習専門員または教育相談員から1名
 - ③ 所員：学校教育課担当者、学習指導専門員、教育相談員
- (2) 研究所担当指導主事が研究所の主務にあたる。

3 研究員

- (1) 部会を設定し、研究員による研究活動を行う。（平成30年度4部会）
- (2) 研究員は、部会に必要な人数を募集し、教育委員会がこれを委嘱する。
- (3) 研究員は、所長の命を受け、教育に関する専門的・技術的事項の研究に従事する。
- (4) 研究員は、各園、各学校の教育実践に役立てるため、必要に応じて実証的研究を行い、その結果を研究授業や研究報告書等をもって提示する。

4 組織・機構図



IV 運営の方針及び重点に基づく各事業内容

1 調査研究の推進と学力向上・指導力向上に関する指導助言【学習指導専門員担当事業】

- (1) 全国学力・学習状況調査、岩手県学習状況調査、C R T等により児童生徒の学習の定着状況を的確に把握するとともに、児童生徒の学習の定着状況に応じた指導方法の工夫改善に取り組む。
 - ・知能検査、C R Tの実施
 - ・学力向上に関する資料作成
- (2) 各学校を訪問し、授業参観を通しての指導・助言や各学校の学力向上の取り組みへの指導・助言を行う。
 - ・学力向上推進事業

2 学校適応と教育相談等の充実【教育相談員担当事業】

- (1) 児童生徒の不登校等学校不適応に関する実態を把握し、その解決に向けた教育実践に取り組む。
- (2) 不登校等学校不適応に関する教育相談事業の充実を図る。
 - ・子ども悩みごと教育相談
 - ・学校適応教育相談
 - ・自然体験活動
 - ・適応支援教室「T A N P O P O広場」の開設
 - ・学校配置相談員会議の開催
- (3) 児童相談所、特別支援学校、警察等関係機関との連携を図る。

3 教員の資質向上と指導力育成【研究所事務局担当事業】

- (1) 本市における教育課題及び教育の今日的課題に対応した研究員研究を行う。
 - ① ことば幼児部会（幼小）
 - ② ことば小学校部会（小）
 - ③ 特別支援教育部会
 - ④ ICT 教育部会（小中）
- (2) 研究員研究等の教育実践を交流するために研究発表大会を実施する。
- (3) 教育の今日的課題に対する見識を高めるために教育講演会を実施する。
- (4) 教員の指導力向上・学習指導の改善に関する、より実践的な研修講座（3講座）を実施する。（夏期研修講座）
 - ① 保育実技研修講座
 - ② 国語科授業改善研修講座
 - ③ 社会科授業改善研修講座
- (5) 教員の資質向上と指導力向上のための拡大校内研究会を推進、継続する。

4 教育情報の提供、資料の整備

- (1) 教育実践「いちのせき」、研究報告書等を作成し、研究の成果を広めることに努める。
- (2) 日常の教育実践及び学校における教育研究推進に役立つよう研究資料の収集、整備、提供等のサービスに努める。

V 平成30年度事業計画

月	運営委員会(予定)	講演会・研修会・発表会	研究員研究	学力向上推進事業	教育相談事業	諸検査	その他
4	第1回 運営委員会(4/26)			学力向上資料配布 学校訪問開始	TANPOPO広場開設 悩みごと教育相談 学校訪問開始	知能検査	
5			研究員会議	各校の学力向上対策 提出			研究所 連盟総会
6				学びの相談会	学校適応教育相談 学校配置相談員会議		
7		夏期研修講座		学びの相談会	夏季自然体験活動		
8		教育講演会					
9					秋季自然体験活動		
10	第2回 運営委員会(10/17)		研究部会 (随時)		学校適応教育相談		研究所連 盟研修会
11					学校配置相談員会議		
12						CRT	
1	第3回 運営委員会(1/31)	研究発表大会		教育実践 いちのせき13号			
2			研究報告書		学校配置相談員会議	(リペロ)	県発表 大会

VI 各事業計画

1 研究員研究

(1) 本市における教育課題に関する研究

- ① 目的 ・平成30年度からの全園・全小学校実施を受け「ことばの時間」を充実させるための方法や工夫を研究し、それを公開することにより、活動の充実に資する。
- ② 構成 **ことば幼児部会、ことば小学校部会**

(2) 教育の今日的課題に関する研究

- ① 目的 ・小・中学校において、「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」について適切に作成・活用ができるようにするための実践例等を示す。
・コンピュータ等の教育機器の活用による指導の充実に向けて、児童生徒の基礎基本の定着や興味・関心・意欲の向上に向けた指導方法を示す。
- ② 構成 **特別支援教育部会、ICT教育部会**

(3) 授業実践の公開

- ・ことば幼児部会、ことば小学校部会、ICT教育部会の実践の公開を行う。公開回数及び日程は、各部会の提案による。
- ・公開の日程を各校に知らせ、参加者を募り公開を実施する。実践研究会・交流会についても、各部会の提案のもと実施する。

(4) 研究部員数

- ① ことば幼児部会 (幼3・こ2)
- ② ことば小学校部会 (小6)
- ③ 特別支援教育部会 (5)
- ④ ICT教育部会 (小3・中3)

2 研究発表大会

- (1) 目的 研究員研究や市内の各園、各校の実践を広く紹介し、研究協議により教員の資質の向上を図るとともに今後の教育研究ならびに学習指導改善に資する。
- (2) 期日 平成31年1月8日（火）
- (3) 会場 藤沢縄文ホール
- (4) 対象 各幼稚園・こども園・小学校・中学校は教職員1／3以上の参加
- (5) 内容 ・学力向上に関する講演会
・各部会の研究発表

3 教育講演会

- (1) 目的 市内幼稚園・こども園・小学校・中学校の教職員を対象に、教育の今日的課題に対する見識を高める立場から講演を実施し、教職員の資質の向上に資する。
- (2) 期日 平成30年8月7日（火）
- (3) 会場 一関文化センター
- (4) 対象 市立幼稚園・こども園・保育園等・小学校・中学校教職員
- (5) 内容 ・教育長講話 ・講演

4 夏期研修講座

- (1) 目的 幼稚園・こども園・小学校・中学校の教職員を対象に、教育の今日的課題に応じた講座を実施し、教職員の資質の向上に資する。
- (2) 期日 平成30年7月26日（木）
- (3) 会場 一関市役所
- (4) 対象 一関市、平泉町の幼稚園の教諭、こども園の保育教諭、公立保育園保育士、小・中学校の教諭等で受講を希望する者
- (5) 内容 ・保育技術研修講座 ・国語科授業改善研修講座 ・社会科授業改善研修講座

5 拡大校内研究会の推進継続

- (1) 拡大校内研の概要
 - ① 目的
校内のみならず他校の教員に広く授業公開することで、校内研修を活性化させるとともに、市内の教員の資質向上と指導力向上を図る。
 - ② 拡大校内研究会の位置付けと開催の決定について
・各校における指導主事派遣事業をすべて拡大校内研として位置付ける。
・指導主事派遣事業と一括して行う。

6 学力向上推進事業（学習指導専門員）

- (1) 各学校の「学力向上推進対策」並びに授業参観を通して「構造的板書とテンポよい授業」等に関する各担任・教科担任等への助言・指導
- (2) 学力向上に関する資料並びに調査・研究に関する資料作成
- (3) 学びの相談会

7 教育相談事業（教育相談員）

- (1) 子ども悩みごと教育相談
 - 窓口相談（「悩みごと相談電話」の設置、電話・来所・訪問による相談）
 - 訪問相談（各小中学校に年間4回訪問、支援を必要とする小中学校に随時）
- (2) 学校適応教育相談（年2回相談会を開催、会場2ヶ所）
- (3) 自然体験活動（年2回実施）
- (4) 適応支援教室「TANPOPO広場」の開設（週2日、火・木 9：00～12：00）
- (5) 学校配置相談員会議（年3回実施）

8 諸検査

- (1) 知能検査
 - ① 期 日 4月（4/9～4/20の期間で実施）
 - ② 対 象 小学校第2学年・第5学年、中学校第1学年
- (2) CRT
 - ① 期 日 12月（12/3～12/14の期間で実施）
 - ② 対 象 小学校第1学年～第6学年、中学校第1学年・第2学年
 - ③ 教 科 小学校 国語・算数 中学校 国語・数学・英語
 - ④ その他 ・採点処理は、業者に委託する。
・各学校では、検査結果を分析し、年度内の指導に生かすとともに、「学力向上に関する計画」を作成し、次年度の指導に生かす。
- (3) リベロ（活用型学力調査問題）3学期に希望する学校で実施する。

9 研究刊行物

- (1) 教育実践「いちのせき」13号
- (2) 研究報告書（No.13）（研究紀要）